

◆八千代市第5次総合計画前期基本計画(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
1	総論 第1章第2節 土地利用	「第1章 計画の基本指標」に関する意見 本市のこれからの総合計画策定にあたり、人口や税収の的確な推計に基づくEBPM(根拠に基づく政策立案)による計画策定が必要です。その点から第1節の人口については「人口ビジョン」が策定されているので、そこに紐づけられよいと思いますが、第2節の土地利用については、50—50の考え方はいとして、現状の実態を明確にして、これからの開発をどの方向性で行っていくのか、そのあたりの指標を明記頂きたいと思ひます。	土地利用につきましては、総合計画の土地利用の基本的な方針に基づき、次期都市マスタープランの中で具体的な方向性を示してまいりたいと考えております。	
2	総論 第1章第3節 財政	第3節の財政については市税収入をふくめた歳入・歳出の将来的な推計となる「財政ビジョン」の策定が必要ではないでしょうか。少なくとも第4次の時のような計画期間中を累計したのではなく、「財政運営の基本的計画」と中長期財政収支見通しと整合性のとれた見通しを掲載するべきと思ひます。そしてしっかり「財政ビジョン」として行政計画策定にあたってのエビデンスとして活用できるように見直しを進めて頂くように提案します。	基本計画は今後4年間におけるまちづくりの基本的な施策を体系的に示したものであることから、財政収支見通しについても、4年間の財政フレームとして掲載することとしております。 なお、将来的な歳入・歳出の推計としては、「八千代市財政運営の基本的計画」において中長期財政収支見通しを作成しており、財政運営の指針として予算編成の際に活用してまいります。	
3	リーディング プロジェクト	リーディングプロジェクトの記載内容は、第4次と同じ表現と記載内容が若干変更した内容と削除した内容があるが、考え方を分かり易く(削除内容があればその理由等)記載して頂きたい。例えば、第4次の「公共施設等の全体最適化に向けた取組の推進」は少子高齢化に向かう社会に取って重要なテーマであり、考え方(少子高齢化と財政との問題を含めて)を記載して頂きたい。	基本計画は今後4年間におけるまちづくりの基本的な施策を体系的に示したものであり、第4次総合計画後期基本計画との差異までは計画には記載しないものとしております。	
4	リーディング プロジェクト	主な事業について 作成中とはいつできるのか、完成時期を入れて頂きたい。	令和3年3月末の総合計画策定時に記載いたします。	
5	リーディング プロジェクト	地域の魅力づくりについて、チーム八千代で約4年前から取組んでいる京成八千代台駅の高架線計画の進捗状況も入れて頂きたい。 又、上記と同じように取り組んでいた東葉高速鉄道の運賃値下げ状況についても記載して頂きたい。本市は東葉高速鉄道に補助金を出資しており運賃は、京成鉄道≒東葉高速鉄道が望ましいと考えるが実現に向けての考え方を記載して頂きたい。	京成線の高架化については、整備手法等を総合的に検討した結果、別の方策で京成本線沿線の活性化を図っていくとしたことから、高架化については記載していません。 また、東葉高速鉄道の運賃値下げについては、東葉高速鉄道株式会社は、依然として多額の有利子負債を抱えており、このことは経営上の大きな課題となっていることから、まずは有利子負債の縮減を図り、経営の安定化を目指すことが必要と考えております。	
6	リーディング プロジェクト	感染症対策(市民の最大の関心事項) 八千代市も新型コロナウイルス感染者が300人を超え、国や県にお任せするのではなく、市の果たすべき役割が重要となっております。 リーディングプロジェクト・最適な公共サービスの提供として、「新型コロナウイルスに対する感染拡大防止対策を講じつつ、「新たな日常」の構築に向けてデジタル変革の推進に努めます。」とされていますが、計画には、具体的な感染拡大防止対策等が明記されておらず、今後新たな感染症が発生した場合も含め、保健・医療体制の整備等の対策方針(感染症が発生した場合に速やかに移行できるような医師会等と協力した保健・医療体制整備等)をまず策定しておくべきではないか。(プロジェクト3の中でも良いと思ひますが)	新型コロナウイルス感染症の対策として、国は感染症法及び新型インフルエンザ等対策特別措置法(以下、「特措法」)に則り、「基本的対処方針」を定め、地方公共団体の責務及び事務を規定しております。特措法に基づき、県は新型インフルエンザ等対策の中心的役割を担い、地域医療体制の確保や感染対策の抑制に対し主体的な判断と対応を行います。市は特措法に基づいた行動計画を策定し、県や近隣の市町村と緊密な連携を図り、市民に対する情報提供や地域の実情に応じた必要な対策を推進することとされています。 本市は平成26年に策定いたしました八千代市新型インフルエンザ等対策行動計画に則り、令和2年2月に八千代市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、医師会を始めとする関係機関との連絡調整や市の取り組みに関する検討を行っております。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、千葉県からの情報に基づいた感染者情報の提供や感染対策の周知啓発、発熱時の受診・相談体制の整備等を進めてまいりました。 今後も新たな感染症の発生期に備えて県が行う、二次医療圏の圏域または健康福祉センター(保健所)を単位とする医療体制の整備等、国・県の方針、対策を注視し、市として必要な支援や市民への情報提供等の取り組みを検討してまいります。	
7	リーディング プロジェクト	Project1.子育てしやすい環境づくりに向けた取組の推進 少子高齢化社会で見落とされがちなのはその中間層の中年世代かと思ひます。また少子化対策と子育て対策は少し違います。それが八千代市はいまいち理解されていないかと思ひます。 少子化対策はいくら待機児童を解消しても、学費をいくら免除しても解消しません。それは全て子育て対策だからです。子育て対策として国がもし学費を大学まで全て免除しても子供の数はそんなに増えないでしょう。なぜなら子供一人育てるのに3千万円はかかると思うからです。それは学費÷生活費+食費など合わせた値段で、学費免除で1千万円～1500万円残りの2千万～1千500万円の生活費等は各家庭が出します。つまり少子化というのは子育て施策だけをすればいいという訳ではありません。少子化になるべくしてなっている根本原因を直すしかないかと思ひます。 少子化対策としてまず結婚者数を多くする、つまり出会いが少ない現代での出会いの機会を増やす街コンや市が開催するお見合いパーティーや市で登録できるお見合い制度。他市では市が無料でお見合い登録斡旋しているところもあるくらいです。八千代市は何故何もしないのでしょうか?街コンは街の活性化にもなりますし、結婚しない事には子供は当然できません。結婚適齢期の男女へのアンケートで結婚願望がある%は7割以上です。結婚したいという意識はあるのです。しかしアンケートでは結婚できない理由として出会いがないか1位であとはお金がないなどになっています。地方の企業では婚活を推進する会社もあり、地元の看護師さんや保育士さんなどのお見合いパーティーを企業が開催するパターンがあります。	いただいたご意見は、移住・定住の促進及びシティプロモーションに係る施策を推進していく上で参考とさせていただきます。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
12	リーディングプロジェクト	<p>少子化対策3つ目として安い家賃の家、安い家の販売。通ってもらうには安い家賃の部屋か安い価格の家が条件になります。転出先で何故船橋市や習志野市千葉市が多いのか?それは学生街があり、安い部屋のアパートやマンションが多く、かつ、仕事もあり、電車や車で容易に行き来できるので労働者としてはかなり選びたい放題な地域だからです。出入りの激しい街つまり定住率が低い街には不交付団体や仕事のある街が多いのも特徴の一つです。つまりそれだけ安い家と色々な仕事があるということであり、若者のポジションも豊富にあるということです。</p> <p>田舎の街と同じ会社にずーっと同じ人しかいないので結果高齢化します。若い人用のポジションはなかなか空きません。企業自体が少ないので、よって若者は仕事を求めて都心部へです。田舎だと一次産業が多く、今の若者は嫌いです。スマートな事務職求めて都心部へ出る傾向にあります。よって田舎はどんどん高齢化し、定着率もいいのが特徴です。それは出入りが少ないのでそもそも賃貸マンションが少ないので受け入れる弾力性もかけています。なのでお試し的に住むこともままならず余計に高定着率となり高齢化します。つまり定着率が悪いという事は常に人が動いている環境がそこにはあるという事で、それは街として柔軟性を持っていることになります。若い人の仕事がある街は出入りも激しいですが、いつもある一定数若者がいることを示します。それは田舎が高齢化することに対して若者がいつも一定数いるので街の民間会社としては若者を見込んだ商売がしやすい!!という事です。それだけ流行りのものが流通したり、流行りの店がでたりして街自体が若い部分が常に活性化しているのです。川崎市なんて想像してみてください。工場など事務職含めて若者のポジションが沢山ある街は仕事の定着率こそ低いですがそれは常に若者が入れ代わり立ち代わりいるという事です。なので若者向けの店も少なくないのです。</p> <p>しかし工場ばかり作ると今は肉体労働は嫌われますので若者は逃げる傾向にあります。八千代市の工場を見ればわかりますよね?代わりに外国人が入り場所によっては治安の問題が出てきたりします。これからは若者仕事でも事務職や若者が好む仕事を誘致、紹介できないと定住へはつながらないでしょう。</p>	貴重なお意見として参考とさせていただきます。	
13	リーディングプロジェクト	<p>千葉県のとある田舎町は子育て施策も高齢者施策もしっかりしており、待機児童などもありません。</p> <p>祭りも多く、年間いくつやってくるんだ?というくらいやっています。景色はきれいで食べ物も安くおいしいです。海も近く、近隣他市にも観光スポットがたくさんあり観光的に遊ぶには事欠きません。しかし年々人口減がとまらず、中古の家を購入した人に60万の補助も出しています。そのかわり5年間住まないといけません。つまり八千代市の10年くらい先行っているような街ですが人口は減っています。</p> <p>理由は仕事がないからです。賃貸も少なく高い。この二つがいかに重要か?そして逆に他の施策がほとんど意味をなしていないか?よくわかります。子育て施策ももちろんです。</p> <p>待機児童を解消しても結局仕事がない人は住みません。当たり前ですが八千代市にはそれがあります。後はいかにマッチングさせるか?紹介するか?が大切なのです。</p> <p>八千代市には仕事ないよね?とか安い家なさそうだね?ととらえられたら近隣他市に持っていかれます。おひとり様にくら子育て施策を見ても高齢者対策を見ても来るわけがありません。独身なのに子育て施策みてくる人などいませんから。</p> <p>これから未婚率が高まるのにそこを狙うには仕事と安い家、通勤の良さ、買い物の便利さこれらのアピールがすべてだと思えます。</p> <p>今言った内容はいずれも転入の理由の上位の理由です。子育て施策をみてきた人は4%しかいません。大多数は通勤圏内か?買い物しやすいか?家賃安い家?仕事あるか?で決めます。独身者に限らず現役世代は皆そうです。街のアピールとしてそこを突かない手はないですし、なぜ?減りゆく世代の子育て世代にばかりしかも子供を産んだ後の施策ばかりに力を入れるのでしょうか?そろそろその費用対効果を考えてシフトチェンジすべきです。</p>	貴重なお意見として参考とさせていただきます。	
14	リーディングプロジェクト	<p>八千代市は今まで持ち家、持ちマンションが買える中流層以上をメインに住宅を建て、子育ての街と標榜し、乱開発もしてきました。しかし10年に1度は災害や不況でそのごとにローンが払えず家を売り払い出て行く人が続出します。調整外区域への住宅開発はもうもえぎ野が最後にしとくべきでしょう。緑が豊かというのも八千代市の売りであり、市民意識調査でも上位にきています。中流以上をひたすら呼び続ける施策はそろそろ限界かと思えます。確かに生活や通勤が便利な八千代市なので建てた順から子育て世代が入りますが、そればかりやるのは今後は持続可能なやり方ではないでしょう。そもそもパイも減りますしそもそも稼げる人達自体が減っているのですから。働いても働いても年収横ばいでは誰も住宅どころか結婚すらしませんよ。人は住宅ローンの為に働くという一面が昭和の時代から未だに続いていますが、企業がグローバル社会で負け続け、利益が伸びない昨今ではローン自体組めない人も増加しています。そこでこれからは空き家を耐震化して激安で新婚夫婦に10年貸すというのはどうでしょうか?相場との差額は市や賃貸業者などが負担しては?また、空き家でなくても中古マンションを同じく激安で10年間貸す。家賃が安ければ仕事を不況などで失っても多少はなんとかなります。その間に再就職ができれば。そういう意味でも八千代市は再就職しやすい街として仕事と激安の家セットでどちらもあるよ!!という売り方をしていくのはどうでしょうか?安い家賃と仕事は転入理由の上位です。子育て施策よりはるかに上です。出生率や結婚率が軒並みここ何十年落ち続けている現実から目をそらさずそろそろ方向転換していくべきです。</p>	貴重なお意見として参考とさせていただきます。 なお、空家等対策につきましては、本年度策定を予定しております八千代市空家等対策計画に基づき対策を推進してまいります。	
15	リーディングプロジェクト	<p>Project4.豊かな自然環境の保全と活用</p> <p>新川についてですが農業交流センターでのカヌーは農業とは関係ない。</p> <p>また新川の水はCODが基準値の3倍の汚れであり川底のヘドロは600デシベルの放射性物質を含んでおりここで川遊びは子供への健康への被害が考えられるしやるべきではない。大人の金儲けに子供をだまして使うべきではない。そもそも新川の水質を綺麗にすることを考えることが市民の環境保護精神を呼び起こすものになるでしょう。</p>	<p>新川及びその周辺を一體的に活用し、観光資源として市内外から気軽に訪れることができるよう、道の駅やちよ周辺を水辺拠点として整備するものです。</p> <p>新川の水質については、水質が改善できるよう千葉県等と協力し、市民の意識向上につながる取組を進めて参ります。</p>	
16	リーディングプロジェクト	<p>Project1.子育てしやすい環境づくりに向けた取組の推進</p> <p>まずALTについて小学生より中学生に回すべきかと思えます。今の小学生のALTを中学生にまわしては?予算がない、もしくは人員確保が難しいならそうすべきです。小学生より中学生の方が英語教育が本格化しますので、そこでネイティブな英語は非常に影響が大きいです。</p>	耳で聞いた音を素直に表現できる時期に、ネーティブスピーカーであるALTの発音に触れることが効果的です。また、文化の違いを理解するためにもALTの小学校への派遣は有意義であると考えております。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
17	リーディングプロジェクト	<p>P15 Project5.地域の魅力づくり(京成本線沿線地域) 八千代台南・勝田台線の道路の計画と八千代台駅周辺大規模開発と駅周辺の無料駐車場のセットで交流人口が増えると思います。無料駐車場は駅開発のビルの地下に作ったらどうでしょうか? 八千代台駅や大和田駅付近は車で近寄れないイメージがあります。すべて有料駐車場なので停める気がひけます。自動運転化などで更なるモータリゼーション化が進むと予想される中車で近寄れない駅は衰退するかもしれませんね。 八千代台駅前の大規模開発は高架化が断念された今後でもやるべきです。市民意識調査であった答えで八千代台、勝田台は学生がいる割には遊べる施設がないとの話。八千代台の八千代ボールもつぶれましたし、勝田台駅には学生はいるのに滞留時間が少ないのは村上駅のラウンドワンやイオンモールのフードコートなど滞留しそうな場所がないからです。若者向けの娯楽施設が街に活気を生むかもしれません。八千代台はでっかいフードコートはないですし、なかなか難しいですね。アピオを建て替えるならイオンのような複合施設を作ってほしいです。それを民間に頼むしか市の役目はないでしょう。市で全部はできません。 市民意識調査ではアンデルセン公園のようなテーマパークつくれとかありましたがそれも論外です。八千代市がなんでもかんでも作っていたらそれこそ大赤字です。逆にアンデルセン公園が近くにあるならむしろ紹介してやればいいんです。八千代市の周りの観光スポットなど近隣他市を利用し、でも最後は寝る所は八千代市だよね。普段の生活は便利な八千代だよね。静かに寝れる住宅地八千代だよね。でいいんです。あれもこれも無理です。八千代市は八千代市にしかない魅力を前面にだすべきです。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	
18	リーディングプロジェクト	<p>UR3団地の活性化について まず地域により再生方法が違ってきます。高齢化の進む米本と駅ちかの村上とはちょっと手法が違うような気がします。 しかしいずれにしろやることはあります。 ①UR団地の集約もしくは建て替え。 ②お年寄りだけの棟に集約化し、中高年層などの働き手、子育て世帯それぞれ棟を別ける。 ③4階以上の減築化 ④団地移動に関する法整備、条例整備。(建て替え時の合意の%の数値を下げる) ⑤団地躯体自体への仕掛け。(壁にボルダリングをつけて登れるようにするなど) などが考えられます。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	
19	リーディングプロジェクト	<p>URの建て替えですがなんだかんだいっても古いので壁は薄いです。RCとはいえ。。なので集約化していくのか?それとも村上のような便利なところは建て替えなのか?そのビジョンを早めに示すべきでしょう。建替えと言っても集約化する時点で空いた土地に新たなマンションを建てるという意味で今までの住人が住むだけではないです。建替えれば当然家賃は上がりますので、それは嫌だと言って反対が絶えませんので、なら需要ある所は集約化して空いた場所に普通のエレベーター付きのマンション建てて新たな世帯を呼び込んだらどうでしょうか? あとはこれから増えるのは現役おひとり様世帯です。この人達だけの棟を作ってほしいですね。そして付加価値をつけるなら同じ趣味の人が集まる棟にして売り込む。4階5階は上がるのが大変なのでコミュニティスペースとするのはどうでしょうか? 村上団地は何と言っても外国人問題でしょう。外国人の棟を作り、(できたら国別。)棟の管理者を同じ国の人間がやる。(その場合日本語ができる人で日本のルールをよく知ってる人)そうしてゴミ出しのルールなどを伝えてもらう。市民意識調査では住環境の整備も多くの意見がありました。単に道端拡張、緑化率UPだけでなく、近隣の騒音をなるべく気にしない同じ生活リズム同士の共同住宅もその一環かと思えます。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。 また、外国人と共存するための環境を整備していくことは重要であることから、ご意見等を参考にしつつ問題解決に努めてまいります。</p>	
20	リーディングプロジェクト	<p>Project5.地域の魅力づくり 街づくり関連 よく八千代市は何の街?という話ができます。バラと梨の街なのでしょうか?それを知っている人はどのくらいの%でいるのでしょうか? 八千代市は「伝承文化と歴史の街」であると思います。やっちは文化財のみみずく人形そっくりであり、玉屋の花火、八千代びな、江戸時代由来の醤油、みそ、酒づくりもかつてされており、(味噌は今もありますね)墨書土器の発見数は日本一です。また日本最古の鉄の歴史(いまのところ)もあり、石造物も県内有数です。県が推し進める文化的祭りの2位にあるのは八千代市や周辺市で行われている三山の七年祭です。各時代の遺跡が発見され、歴史文化がこれだけ豊かにあった市は千葉県でも有数です。是非誇りをもって「伝承文化と歴史の街」を推進すべきでしょう。 郷土に誇りが持てる教育を幼少からするのが今後の課題であり、八千代市が誇りに思うひとが増えれば郷土愛から何代にわたり定住もするでしょう。八千代近辺は職には困らない地域なので。</p>	<p>郷土の歴史や文化に対する市民の理解と認識を深めるとともに、文化財の調査・研究に努め、更なる文化財の保護と活用を図ることで郷土の歴史や文化に親しみか持てるまちづくりを推進してまいります。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
21	リーディングプロジェクト	<p>八千代市は交流人口と定住人口増加両方を目指すという珍しい市です。普通どちらかの場合が多いです。地方では仕事の創出が難しいため、定住人口は目指さず今いる人たちが生き残るために観光地として交流人口を増やしてお店にお金を落とさせる事を狙います。しかし八千代市は八千代市の一番いい所に気が付いていないことが残念です。それは市内外に仕事があるという事です。定住人口増が一番必要な条件を持っているという事がじつは八千代市の一番の売りです。習志野市と船橋市と比べややマンション価格などは安く狙い目の土地でもあります。八千代市にきたら仕事見つかるよ!!という売り方をしてはどうでしょうか?習志野市や船橋市より行きやすい範囲で緑が多く、マンション価格はやや安い。車での移動は習志野市や船橋市よりは動きやすく千葉の片田舎にリフレッシュに行きやすい場所位置でもあります。ですので定住人口増の方を推すにはめづうい所でしょう。仕事があるよとアピールできればですが、田舎になかなか定住しないのは仕事がないからです。仕事のない地域に人は住みません。仕事があるこれはもう立派な八千代市の武器かと思えますよ。それを最大限活かしてはどうでしょうか?おひとり様世代を連れてきて勝田台付近に住ませたらどうでしょうか?</p> <p>東葉高速鉄道で学生の割引率は京成より低くなかなか前に進まないのはファミリー層ばかりこの沿線沿いに連れてきているのも要因かもしれませんね。利用する大人が増えて増収しかしその子供も増えたら学生も増えるのでその費用もかさみ割引は見送られがちです。</p> <p>しかし葛西とか日本橋とか東西線で都心部に通ってのおひとり様をつれてきたら子供はいないが利用者は増えるので結果増収になりその分だけでは難しいですが多少の学割率向上にその利益分使えるかもしれませんね。葛西、西葛西あたりは物流拠点でもあり、会社も多いです。そこに通う社員を勝田台駅付近に社宅でも作り連れてきたらどうでしょうか?もちろん都心部の会社さんとの話し合いや八千代市の不動産屋との調整は必要ですが。</p>	<p>いただいたご意見は、移住・定住の促進及びシティプロモーションに係る施策を推進していく上で参考とさせていただきます。</p>	
22	リーディングプロジェクト	<p>勝田台というのは始発なので村上駅付近の人はわざわざ勝田台まで戻り(手段はいろいろ)始発に乗り座って都心部に行く人も少なくないと思います。都心部に通うおひとり様を勝田台に呼ぶというのも回りまわって学生の割引率につながるのかもしれませんがね。</p> <p>市民意識調査で休日はほとんど八千代市にいない、なぜなら遊ぶ場所がないからという声が自身、子育て世代問わず多くありました。しかしよく考えてみてください。埼玉県川口市や浦和市などあのあたりの人らが休日もずっと地域でいるのでしょうか?答えはNOです。間違いなく東京で遊ぶか夏は湘南ラインで湘南へ、秋などはムーミンバレーパークとか色々なところに行つてると思いますよ?八千代市も同じでは?</p> <p>ないものねだりはやめましょう。ないものはなく、あるものねだりしかできません。首都圏のペタタウンなんてどこもそんな感じなのではないのでしょうか?つまり八千代市あたりだとまだ交通の便がいいので結構近隣他市や近県のプレス、ボットに行きやすく、成田空港も電車ですぐなので海外旅行なども行きやすいです。つまりなんでもかんでもなきやいけな訳ではなく、むしろ八千代市からたったこれだけであそこもここも行けるよ!!という風な周りのいい所をむしろ利用するアピールの仕方もあります。勿論普段の生活の合間に市内で手軽な緑や桜が見れるというのも売りでしょう。</p>	<p>いただいたご意見は、移住・定住の促進及びシティプロモーションに係る施策を推進していく上で参考とさせていただきます。</p>	
23	リーディングプロジェクト	<p>前回と同じような構成になっているようですが、初めて読む市民には「リーディングプロジェクト」の意味付けが分かりませんので、はっきりと明記してください。例えば、「リーディングプロジェクトとは、部門を横断して市全体で必ず最優先でやり遂げるプロジェクト」などと書くべきかと思えます。</p> <p>そこが明記されずに出来上がっているのが、第4次総合計画後期基本計画のリーディングプロジェクトの主な事業が目標に達しているのかいないのかがわかりにくくなっているし、そこからのフィードバックがないまま次の総合計画に進んでいます。</p>	<p>リーディングプロジェクトの位置付けがわかるよう、補足内容を記載します。</p>	○
24	リーディングプロジェクト	<p>リーディングプロジェクトについて リーディングプロジェクト名が6つ挙げられていますが、内容を見ていくと述べられていることは背景、課題、施策の方向性だけであり、最も重要な施策や事業について述べられていません。</p> <p>現状は一般的な内容が多く良い概念が述べられている記述であり、具体内容や施策、事業について「作成中」と書かれたものをパブリックコメントにかけても意味がないと思います。</p> <p>また、前回と似たような名称となっているものもいくつかありますが、今回はここまでできたから今回はこれをやる、あるいはここができなかったから今回はこうかえてやるという表現に変えてください。前回の言葉を少しだけ変えた内容ではおかしいと思います。</p> <p>『計画推進のために』『市民にわかりやすいまちづくりの推進』『透明性の高い市政の推進』とか離れた情報公開レベルだと思われまので、きちんと『主な事業』が作成された後にパブリックコメントに付けることを要望します。</p>	<p>基本計画は今後4年間のまちづくりの基本的な施策を体系的に示したものです。 リーディングプロジェクトにおける具体的な事業については、各施策の主な事業と同様、令和3年3月末の総合計画策定時に記載いたしますが、第4次総合計画後期基本計画との差異は記載いたしません。 また、現況と課題、基本方針、施策内容、指標といった基本的な事項について示しておりますことから、今般のパブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえ、必要に応じて案を修正してまいります。</p>	
25	リーディングプロジェクト	<p>地域の魅力づくり 内容的には第4次のプロジェクトの一部を独立したものとっていますが、4次でどこまでできて何ができなかったから、5次ではこのようにすると明記すべき。 地域の一番の不動産オーナー(道路、公共施設、公園等)は市であることを認識し推進すると明記すべきだと思います。 八千代台駅周辺では自治会館跡、交番跡等、市の空き家が放置されている状況です。空き家や空き地は住民側だけではないことを文章に記載し、市としてどうするかを記述すべきです。 地域活性化を進めるために国の補助金等に申し込むことがありますが、八千代市は「立地適正化計画」ができていないために、門戸が狭くなっている場合があります。地域の魅力づくりをはじめとして、この総合計画を進めるためにも「立地適正化計画」を作ることは必須と思われます。ぜひともいつまでに立地適正化計画を策定すると明記し実施してください。 市から『地域コミュニティ推進計画期間完了に伴う今後の考え方』で示されている様に、現状なかなか進まない状況があります。ぜひとも横断的なワンストップ対応する責任部署を設置し、権限を与えて推進すると明記すべきです。</p>	<p>基本計画は4年間におけるまちづくりの基本的な施策を体系的に示したものであり、第4次総合計画後期基本計画との差異は記載いたしません。 リーディングプロジェクトは、将来都市像の実現に向けた先導的な役割を担うべき事業として意識を共有し、全庁横断的に取り組んでまいります。 立地適正化計画は、市街化調整区域において、市街化区域編入を目指す区域があることなどから、土地利用の実態を把握しながら、策定を検討してまいりたいと考えております。 なお、ワンストップ対応は、今後の行政運営に当たっての参考とさせていただきます。</p>	
26	リーディングプロジェクト	<p>最適な公共サービスの提供 文章から読み取れるのは「真に必要なとされる公共サービスの提供を維持・確保を図ります」とあり、「向上する、向上させる」とは読み取れません。公共サービスの満足度が上がっていない現状では、「維持・確保」ではなく「向上」させるに変更すべきです。</p>	<p>公共サービスへの需要の変化を捉え、真に必要なとされる公共サービスを提供してまいりたいと考えております。 なお、当該部分に係る記載内容は、以下のとおり修正します。 「公共サービス・施設等の規模の適正化、公共施設等の効率的な施設管理及び有効活用による公共施設等の全体最適化を図ることで、真に必要なとされる公共サービスを提供します。」</p>	○

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
27	リーディングプロジェクト	リーディングプロジェクトと部門別計画前期基本計画施策体系の関係がよくわかりません。	リーディングプロジェクトは、将来都市像を実現するため、先導的な役割を担うべき事業として整理したもので、横断的な取組があります。 一方、部門別計画は、将来都市像を実現するための5つの柱に沿って具体的な取組を体系的に整理したものです。	
28	リーディングプロジェクト	<p>◆人口減少・超高齢社会、コロナ危機、気候危機の現実に向かうのか、SDGsや脱炭素社会の実現に向けて、「ゼロカーボンシティ」や「SDGs未来都市」を八千代の未来ビジョンとしてリーディングプロジェクトに設定、施策体系の策定を◆</p> <p>日本では既に「人口減少・少子超高齢化」がはじまっています。2008年の1億2808万人をピークに、本年は1億2427万人で12年間で約380万人減少、昨年1年間で50万人以上人口が減少しており、社会の転換点に突入しつつあります。昨年3月に人口20万人を超え、今なお増加が見込まれていますが、人口ピークは5年前の推計では2027年でしたが、本年3月の推計では2025年と2年前倒しになりました。確実に人口減少局面が近づきつつあり、5次総合計画期間の途中で減少フェーズに入ることが見込まれています。だからこそ、この問題に最大限向き合う、これまでの基本計画から転換するリーディングプロジェクトや施策を掲げることが必要です。</p> <p>また今、世界は「コロナ危機」と「気候危機」の只中にあります。新型コロナウイルス感染症による感染者は世界で1600万人を超え今なお増え続けています。そして同時に、多発する気象災害も世界各地で猛威をふるいその被害は大変深刻です。いずれも人々の暮らしや命を脅かし、そして経済や社会にも大きな影響を与えています。</p> <p>しかし、そんな中でも世界では「持続可能な社会」を目指し、ウィズ&ポストコロナとしてテレワークやリモート会議、オンライン教育など新しいライフスタイルへの転換に向かい、脱炭素社会へ再生可能エネルギーを軸とした社会経済活動への変革に動き出しています。</p> <p>今年はコロナ禍によって世界全体のCO2排出量は8%減と見込まれていますが、これだけ世界が活動を自粛しても8%しか減らない現実。活動自粛や省エネの取組みだけではとても足りないことが明らかとなり、CO2を排出しない自然エネルギーへの転換・拡大が急務となっています。</p> <p>そして、こういった世界規模の課題に対して、2015年国連にて17の世界の共通目標「SDGs」が掲げられ、2030年に向けてこの目標を実現すべく全世界のあらゆる主体が動き出しています。</p> <p>これら「地球規模の持続可能性」に向けた取組は、今やあらゆる主体に求められる社会経済活動のメインテーマになりつつあります。日本も千葉も八千代も例外なく社会の要請となりつつあります。取り組むことがその自治体の持続可能性に繋がります。</p> <p>脱炭素や自然エネルギー社会へ向けた施策は省エネルギー・再生可能エネルギーの推進はもとより、調達電力のRE100電気やCO2ゼロ電気への切替えや、電力切替をさらに促進する「自治体新電力」設立など、既に地方から先進自治体を中心に具体的な取組が行われつつあります。</p> <p>これらの取組は気候危機への対策のみならず、地産地消のエネルギー循環を生み出すことによる地域経済循環を作り出し、人口減少・少子超高齢化が進む未来に向けての地域活性化、まちづくりの切り札に間違いなく繋がると考えます。</p> <p>これら課題への取組は一朝一夕で進むものではありません。未来を見据えたビジョンを掲げ、そこに紐づく市政横断的なプロジェクトを立上げ、必要な施策を今から1歩ずつ進めることで、10年、20年後の私たちの街「八千代の「明るい未来」は拓けると確信しています。</p> <p>本市でも、2020年12月に「ゼロカーボンシティ」を宣言したわけですから、「ゼロカーボンシティ」を目指すためのリーディングプロジェクトを設定するように提案します。第4次計画では「地球環境にやさしい暮らしの推進」がありましたが、これからの時代にこそ必要なプロジェクトです。そして、このプロジェクトを環境政策としてのみならず、産業・経済政策、防災政策、財政施策、教育施策として掲げるべきだと考えます。自治体新電力立上げ、エコスクールへの取組、公共施設の屋根貸し、RE100(再生可能エネルギー100%)への取組み等で、多様な政策に紐づけていくことが出来るはずで。</p> <p>また、これら取組はSDGs実現への施策ともなります。こういった意欲的な取組と共に、これまで八千代が行ってきた取組を総合的に結びつけることで、「SDGs未来都市」に繋げることが出来ると考えます。ここまで至れば大きなシティプロモーションにもつながっていくと思われれます。その点から、「SDGs未来都市」を目指すためのリーディングプロジェクトを設定することも提案致します。</p>	<p>「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた具体的な取組については、現在策定中の「八千代市第3次環境保全計画」に位置づけ、推進してまいります。</p> <p>また、第5次総合計画における各施策とSDGsを関連させ、SDGsを意識しながら取り組んでまいりたいと考えております。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
29	リーディングプロジェクト	<p>◆八千代ならではの強みや特性を活かす点から「新川及びその周辺の一体的な活用」「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりの推進」をリーディングプロジェクトに設定、施策体系の策定を◆</p> <p>基本計画における「リーディングプロジェクト」は今後の本市のまちづくりの重点施策となるもので、「八千代の未来ビジョン」の柱ともいえ、大変重要なものと考えています。</p> <p>「リーディングプロジェクト」には本市の強みや特性を活かし、これまでの取組みや歴史、認識、課題も踏まえながら、これからの目指すべき八千代の施策を明確に掲げる必要があると考えます。</p> <p>本市ならではの強みや特性といえば、「都市と自然の優れたバランス」、「活発な市民活動、市民協働の取組み」、「新川、バラ、千本桜などの緑豊かな自然の地域資源」、「自然を活かした体験型教育」などと考えます。</p> <p>これから目指すべきまちの姿としては、そういった強みや特性をより有効に活用し、八千代ならではの「キラリと光る」ものに磨き上げ、市民の誰もが未来への希望を感じ、生涯にわたり誇りや愛着をもって、このまちに住んでいたいと思える「未来へつづきふるさと八千代」なのではないでしょうか。</p> <p>そういったまちづくりを進めることで、現在の大きな課題でもある定住率の低い若年世代の流出を抑え、仮に一時的に市外に出てもまたライフサイクルに合わせて市内に戻ってくるような「ふるさと八千代」を目指すことで、人口減少や超高齢化に向かうことができるのではないのでしょうか。</p> <p>「新川及びその周辺の一体的な活用」については第4次計画では掲げられていましたが、正直十分には進まなかったと思います。しかし、八千代の最大の可能性がある場所であり、周辺には八千代ならではの自然環境、貴重な生植物が棲息しており、原風景ともいえる谷津田も残されています。この豊かな自然を活用した体験教育も実施してきて、まさに八千代のアイデンティティのような場所だと思っています。</p> <p>そして新川エリアには、道の駅、新川千本桜、ガキ大将の森、やちよ広域公園、総合グラウンド、中央図書館・市民ギャラリー、少年自然の家などが点在し、最近ではかわまちづくり計画、新川ウォーターフロントプロジェクト等、民間の取組みも進みだしており、それぞれに関わる「市民」がいます。これらを結び付ける事で新川エリア全体でのマネジメント、活性化に繋がります。これらにこそ、本当の意味での新川周辺の一体的な活用の可能性が高まっているところだと考えます。</p> <p>その点から、「少年自然の家」の廃止方針の決定はいただけません。リーディングプロジェクトとしてあらためて「新川及び周辺の一体的な活用」を掲げて、少年自然の家はそのエリアマネジメントの拠点施設としての位置づけも含めて、あらたな「みんなの自然の家」として存続するように提案します。</p> <p>そしてこれらの取組は行政だけではできません。これからの時代にこそ「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりの推進」によって進めなければ広がりません。第4次計画では「共生と自立によるまちづくりの推進」がありましたが、それにかわるものとして、「市民と行政のパートナーシップによるまちづくりの推進」をリーディングプロジェクトに設定するように提案します。</p>	<p>「新川及びその周辺の一体的な活用」は、「Project4.豊かな自然環境の保全と活用」として、推進してまいります。</p> <p>また、「少年自然の家」の今後については、保護者等に説明しご意見を伺うことが大切であり、その上で最終判断を行いたいと考えております。</p> <p>「市民と行政とのパートナーシップによるまちづくりの推進」は、「計画の推進のために 2.地域の視点に立ったまちづくりの推進」において、「市民と行政とのパートナーシップの推進」として、地域担当担当職員制度を進めていくことや地域活動に対する知識や関心を高めるための講座を開催するなど、地域住民とのより良い関係を築いていければと考えております。</p>	○
30	リーディングプロジェクト	<p>「リーディングプロジェクト」に関する意見</p> <p>① 人口減少・超高齢社会への準備期間に取組む計画であるにも関わらず、掲げられているプロジェクトがいずれも、歳出増か、歳出カットのものばかりで、人口減少・高齢化で想定される市税や歳入減少に対して「新たな歳入創出」のための産業や経済政策、財政政策の軸となるようなプロジェクトが掲げられておりません。これらの点については、市内にある人材・資源・施設等をこれまで以上に最大限に活用した「地産地消」のプロジェクト「地域資源・公有資産活用」「市民協働」「民間活用」の取組だと考えます。</p> <p>「市民の市内における起業・創業の推進」「市民が市内に住み続けて頂くための居住施策の推進」「地産地消の自然エネルギー事業の創出・推進」「新川エリアマネジメントや地域資源を活用した観光事業の推進」など、「八千代ならではの未来への挑戦」に取り組むことで、新たな税収や歳入創出に繋がる産業・経済・財政政策の軸となり、環境、教育、防災などまちづくりの取組にも繋がっていくと考えます。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	
31	リーディングプロジェクト	<p>② ①のプロジェクトにも繋がりますが、冒頭お伝えした「ゼロカーボンシティ」「SDGs未来都市」へのプロジェクトも提案します。</p>	<p>「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた具体的な取組については、現在策定中の「八千代市第3次環境保全計画」に位置づけ、推進してまいります。</p> <p>また、第5次総合計画における各施策とSDGsを関連させ、SDGsを意識しながら取り組んでまいりたいと考えております。</p>	
32	リーディングプロジェクト	<p>③ ①にもつながりますが、これからの時代においてより求められる「市民協働」「市民と行政とのパートナーシップによるまちづくりの推進」に関するリーディングプロジェクトが必要だと考えます。</p>	<p>「市民と行政とのパートナーシップによるまちづくりの推進」は、「計画の推進のために 2.地域の視点に立ったまちづくりの推進」において、「市民と行政とのパートナーシップの推進」として、推進してまいります。</p>	
33	リーディングプロジェクト	<p>令和2年12月7日、令和2年第4回定例会において、服部市長が2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」宣言されました。</p> <p>とても大きな決断であったと思いますが、本計画案には「ゼロカーボンシティ」のキーワードがみあたりません。具体的な取組事業はこれからになるにしても、リーディングプロジェクト - 4. 豊かな自然環境の保全と活用 の中に、ゼロカーボンシティについても追記ください。</p>	<p>「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた具体的な取組については、現在策定中の「八千代市第3次環境保全計画」に位置づけ、推進してまいります。</p> <p>なお、部門別計画の「自然環境」の基本方針に「ゼロカーボンシティ」について追記いたします。</p>	○

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
34	部門別計画(全体)	施策内容の指標について、分かり易き向上の観点から 現状時が〇〇人又は〇〇%に対して目標値(令和6年度末)が0人又は100%になっている項目の考え方(例えば、令和6年度までに毎年何人削減とか△%向上するとか)を記載して頂きたい。 また、上記以外の数値目標が記載されている項目の考え方や根拠があれば、記載して頂きたい。	施策の達成状況をわかりやすく示すため、できる限り具体的な数値を目標値に設定しております。 また、指標については、施策の達成度を測る評価基準として設定しているものであり、設定の考え方や根拠を記載することは考えておりません。	
35	部門別計画 第1章第1節 1 教育・保育環境	子育て支援の拡充(例えば、両親又は母子・父子で利用できる施設には、福祉士・介護士・保健師等を配置)を含めて幼児教育の具体的な考え方を入れる。	具体的な取組については、「第2期八千代市子ども・子育て支援事業計画」に位置づけ、推進しております。	
36	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	「部門別計画」に関連する意見 第1章第1節の「子ども子育て」について、本市の大きな課題の1つは「子どもの居場所不足の問題だと考える。保育や学童保育などの保育環境は充実しつつあるが、全ての子供たちの居場所づくりが必要です。具体的な施策と目標を設定するように要望します。	具体的な取組については、「第2期八千代市子ども・子育て支援事業計画」に位置づけ、推進しております。	
37	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	学童は小学校3年生までとして市の負担を減らす方向へ。「放課後子ども教室」と「学童保育所」は学童保育だけでいいのでは？ そして「放課後子供教室」は今の数を今後計画的に減らし、ゼロへ。学童保育も利用者年齢の制限(小3くらいまで)をつけて今後は少子化に合わせて減らしていくべきでしょう。(※ただし現在以上に共働き化と核家族化が進んだ場合は微減)	学童保育所は、保護者の就労等により、放課後等に保育を受けられない児童に生活の場を提供するものです。一方、放課後子ども教室は、保護者の就労等に関係なく、全ての児童に活動拠点としての居場所を与え、さまざまな体験・交流活動を行うところで、2つの事業の目的や対象は異なります。 今後市の財政状況や将来的な財政負担も考慮した上で、市民ニーズや利用実態、地域の特徴などを踏まえ、学童保育所の必要な量を確保していくとともに、全ての児童に居場所を提供できるよう放課後子ども教室の計画的な整備に努めてまいります。	
38	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	八千代市も少子化に入っているのですから共稼ぎの子供が増える割合より少子化が進む場合これ以上の学童などの施設は増やさない方向にすべきです。国の指針だと小3から小6に居場所の確保が拡張になりましたが、それはおかしいと思います。時には国の指針に市はあわないという見解も示していいのでは？	学童保育所への入所は、児童の安心・安全を図るため、低学年の1年生から3年生を優先して決定しています。高学年につきましては、特に夏休みなどの長期休業中に安心・安全な生活の場として、学童保育所の利用を希望するニーズが多い傾向にあります。今後も児童数や女性就業者数の推移にも注視しつつ、必要な量の確保に努めてまいります。	
39	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	コロナ禍では近所同士の親が協力して過ごさせるなど各地域のコミュニティーの輪が広がったところも多々あります。これを機に近所のコミュニティーを強くする方針を市として出すべきです。そうすれば災害時にも震災時にも、今回のような感染症対策にもなり、災害に強い街づくりにもなるでしょう。 一市の第2期八千代市子ども・子育て支援事業計画(素案)内のアンケートでもまたほとんどの親御さんが放課後過ごさせたい場所が自宅や習い事に多いのに何故放課後子供教室や学童を増やし続けるのでしょうか？作ったら作った分だけ使うものなのでしょうか？作らなきゃ自宅に待機になるのでは？	子どもの減少や核家族化、ひとり親世帯の増加等による地域との関係の希薄化など、子どもや子育て家庭を取り巻く環境が多様化・複雑化する中で、当該事業の推進は、社会的要請であるとともに、自宅以外にも多様な居場所をつくることで、子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としているほか、女性の社会進出の際の支援の一つとしてもなり得ることから、その重要性は年々増しているものと考えています。	
40	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	平成31年の待機数が減ったのは少子化の影響ではないのでしょうか？つまり今後数年間でこの待機児童はほとんど減ると思いますし、八千代市もご多分に漏れず少子化なのですから減っていかないとおかしいかと思えます。今までは人口が増えてるから学童も増やさなくてはと思っていましたが今回の統計にて子供の数は減っている事がわかりましたので、今後はそろそろ学童をひたすら増やすという政策は転換期に来ているかもしれません。学童の計画的な減少も選択肢として考えるべきでしょう。放課後子供教室は論外です。これから計画的に学童と統合し減らしてください。最終的にはゼロへ。 あとはそれでも共稼ぎ世帯が増え、小1～3年生を預けたいという家庭が増えるのなら小4以上の学童以外での過ごし方を考え、学童は小学校低学年用に譲り、かつ、増やすにしても少子化と地域開発等をしっかり見定めた計画をたてるべきでしょう。待機児童問題は主に0歳～3歳が主で、あとは小1の壁が主です。現在のように小6まで全部が全部面倒見で施設を増やしていったら足りないですし、財源も足りません。市が破綻します。どこかで線を引き考えをそろそろ持つべきでしょう。	保育園や学童保育所の待機児童につきましては、当該年度の利用申請者の世帯状況や就労状況、利用希望などによって大きく変動する可能性があります。また、断定的に論じることはできませんが、保育園等のニーズにつきましては、5年から10年程度で見た場合、減少していくと推測される子どもの数に必ずしも比例するものではなく、主に女性の就業者数に影響するところが大きいものと考えています。 市の財政状況も踏まえつつ、効率的かつ効果的な保育園等の整備をはじめ、子育てしやすい環境を整えていくことで、子どもの人口増加を目指し、各種施策に取り組んでまいります。	
41	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	学童増設よりもニーズの高い自宅待機をいかに上手く利用する案を考えるか？が今八千代市が本当にやるべきことなのではないのでしょうか？箱物を市で作るという考えなら論外です。何百億円かかる話です。 しかし市がこれから建て替えがあるかもしれない駅前などの商業施設に呼びかけて緑が丘イオンやフルフルガーデンヨーカドーのような大きなフードコート民間企業に作ってもらう呼びかけ作戦なら賛成です。これはお年寄りの居場所も同じで、八千代台、勝田台、大和田駅前にはショッピングモールはなく、アピアなど建て替える時期に差し掛かっています。建て替えるならその時を見計らい民間に頼み込むのも手です。	いただいたご意見は、今後のまちづくりを推進していく上で参考とさせていただきます。	
42	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	子供医療費助成ですが医療費の全部は無理でしょうし、現在所得制限していないのがおかしいです。医療費全部となると莫大なお金がかかり、最低限所得制限が必要ですし、八千代市の経常収支比率は県内でワースト3位なのですからもう少し身の丈にあった施策をすべきでしょう。財政を考えればせめて小学6年生までにするべきでは？	子ども医療費の助成制度については、国・県に対し、制度を統一するよう要望しているところでございます。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
43	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	八千代市は捻出無しでやるから財政が無制限に借金を重ねる結果となるのではないのでしょうか？きちんと財源を捻出してから初めてやるべきなのでは？赤字市債等ではなくきちんと予算内の削減分による財源の捻出を強く願います。子供向けの補助の類や児童手当など国もいよいよ所得制限をし始めましたので八千代市でもやるべきです。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。	
44	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	「子育て支援サイト」に「ここに☆元氣」閲覧数」を目標に掲げていますが、 ・「子育てに関する情報提供の充実、」が基本方針ならば、支援サイトのコンテンツ数や更新回数が目標となるべきです。方針と目標があっていません。 ・なぜ7400人が目標なのですか、7400とした理由は？ ・単位は何ですか、日、週、月、年？ ・閲覧数がサイトにはありません、第三者が検証できるようにすべきです。	子育てに関する相談窓口や交流事業など充実した情報を分かりやすく提供することで、子育てしている多くの人に見ていただきたいため、その成果を計る指標として閲覧数を設定しました。 目標値につきましては、平成30年度から令和元年度にかけての閲覧数の伸び率と同程度、令和2年度から令和6年度にかけても伸びると仮定し、約7,400人を年間の目標値として設定しました。 今後、定期的に指標の達成状況等を報告してまいります。	
45	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	「子育てしやすいまちと感じている市民の割合」 ・どのように調査しているのですか ・現在半数の方が子育てしやすいと感じていない理由は何ですか ・その理由に対して解決策がこの度の計画に盛り込まれていますか ・なぜ55%が目標なのですか？目標が低すぎると思います。	当該指標につきましては、無作為抽出した市民の方を対象にアンケート調査を実施し、満足度を把握しました。 当該指標は、人によって捉え方が多様であり、子育て施策以外の施策にも影響を受けると推測されますが、子育て施策に限定すれば「子育てに関するサポート」や「子どもの居場所づくり」、「子育てに関する情報提供」などの充実が求められているため、本計画においては、これらの施策の充実を掲げたところです。 また、指標につきましては、第4次総合計画で設定した目標値55%を達成できなかったことから、改めて第5次総合計画の中で達成を目指すため、55%を目標値として設定しました。	
46	部門別計画 第1章第1節 2 子育て環境	「麻しん風しん混合予防接種(第1期・第2期)の接種率」 ・現状維持を目標とする理由は何ですか。	国より「麻しんに関する特定感染症予防指針」及び「風しんに関する特定感染症予防指針」において、接種率95%が目標として示されており、本市におきましては目標値に到達している状況ですが、全国的に見ると、未だに麻しん、風しんの流行が認められる年もあることから、引き続き国の指針に基づいて接種率95%以上を維持するよう目標を設定しました。	
47	部門別計画 第1章第1節 3 子ども・家庭支援	「児童虐待に関する研修・講習会受講者数」 ・400人を目標とした理由は何ですか	これまでの受講者数の実績と、受講を案内すべき対象者・関係機関の数から目標値を設定しました。	
48	部門別計画 第1章第2節 1 地域共生	第1章ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり 第2節地域福祉 1 地域共生 引きこもり対策や生活困窮者対策ですが、引きこもりや生活困窮者になるまでほっておかない事が大切です。引きこもりはいきなりずーっとという人もたまにはいますが、就職していたが、ブラック企業などでひどい扱いをうけてなる人も少なくないです。またいくら就活しても何百社応募しても受からず、あきらめの境地に陥る人色々います。就活する間はまだまだ大丈夫ですが、そこで気持ちが折れる前に助けることが大切です。引きこもりはディープな状態になったら社会復帰はなかなか大変です。SOSサインをどう拾いあげるか？ハローワークに来ている就職氷河期世代にアンケートを取ってはどうでしょうか？ 質問事項として今気持ち的にきついのですか？とか心が折れそうか？助けを求めたい心境であるなど、普段人には言えない事もアンケートや紙媒体などでは言える時もあるのでは？何百社も会社に落ち続けるとさすがにしんどくなりますよ。生活困窮者は生活保護を受けるまで落ちてしまうとまともな判断力はなくなってきます。これも一歩手前で見つけることが大切です。コロナ渦で失業した人などもう少し失業者に焦点を当ててほしいです。	いただいたご意見は、今後のひきこもりや生活困窮者への対策を検討していく上での参考とさせていただきます。 なお、現在、青少年の雇用の促進等に関する法律の規定により、厚生労働省所管の地域若者サポートステーション事業を、県と市の協働で実施しています。 就職氷河期世代(2020年現在で概ね35歳から49歳)の無業者を含む若年無業者の支援することは自立の可能性を広げるだけでなく、将来生活保護等に陥るリスクを未然に防止し、地域の支え手とするとともに、我が国の産業の担い手を育てることもつながりますので、引き続き取り組みを継続してまいります。 就職氷河期世代のSOSサインをどう拾い上げるかといったご意見は、今後の参考にさせていただきます。	
49	部門別計画 第1章第2節 1 地域共生	「ボランティア・地域活動への参加の割合」 ・この目標の分母分子は何ですか？定義が不明 ・指標がボランティアだけというのは、行政の責任転嫁ではないでしょうか。	当該指標の割合は、地域福祉計画の策定にあたり、令和元年に行った市民アンケートより引用しているもので、回答人数に対し ボランティア・地域活動に参加している人数にて算出しています。参加の割合が数的にわかりやすいという点から掲載したもので、市民の皆さんと共に、支え合い助け合えるまちを推進してまいります。	
50	部門別計画 第1章第2節 2 障害者支援	第1章ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり 第2節地域福祉 2 障害者支援 医師免許本当にあるのか？と思いたくなるひどい医者も世の中には存在します。社会保険特に医療保険もばかにならないのでこうした医者は市のほうでもチェックを入れるべきです。判断基準は間違っていないか？など最新の知識や教本に基づいて判断しているのか？など。最近やたらめったら統合失調症が増えている原因はそこにあります。根本からの見直しを望みます。 また精神科の場合何か月も通っている人はそれぞれリモート診察もありとしてほしいです。コロナ渦で通うリスクは大いにあり、感染症以外にも風邪やインフルエンザなど移される時もままあります。	医師免許制度については、市がチェックをできる制度となっておらず、医療に関する患者の相談等は千葉県の開設する「千葉県医療安全相談センター」等でご相談いただけます。 また、精神科におけるリモート診察については、病院で対応できる場合もありますので、病院等にてご相談ください。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
51	部門別計画 第1章第2節 2 障害者支援	就労継続支援A型事業所の許可申請基準をもう少し細分化すべきです。就労継続支援A型事業でも3つに分類すべきです。身体障害者用と知的障害者用と、精神疾患の人用。今の事業所では狭いところは相談ルームもろくになく、簡単な仕切りだけのところも多く、恥ずかしくて相談できないという苦情も多々あります。せめて相談ルームは個室にすべきとか基準を定めるべきでしょう。	いただいたご意見は、今後の障害者支援施策の参考とさせていただきます。	
52	部門別計画 第1章第2節 2 障害者支援	「福祉避難所の協定締結数」 ・目標が11では少ないのではないのでしょうか、健常者より避難するのが大変な方であるので、通常の避難所と同等数確保すべきではないでしょうか。	福祉避難所として運営するための設備や職員を確保できる施設を福祉避難所としており、目標の達成に向け、取り組んでまいります。	
53	部門別計画 第1章第2節 2 障害者支援	「就労移行支援事業所等を利用して一般就労した方の数」「外来児童利用者数」「保育所等訪問支援事業支援児童数」 ・それぞれ、令和6年度末の目標数の設定理由は何でしょうか	「就労移行支援事業所等を利用して一般就労した方の数」につきましては、障害者の一般就労を進める観点から、国が示す基準に基づき令和元年度の一般就労への移行実績の1.27倍を設定しています。 「外来児童利用者数」につきましては、児童発達支援センターの地域支援機能の充実を図るため、外来児童利用者数は、過去5年間の伸び率を鑑み設定したものです。 「保育所等訪問支援事業支援児童数」につきましては、現在は職員1人に対応しておりますが、サービスの利用状況に鑑み今後職員2人体制として実施することを想定し、目標値を設定しました。	
54	部門別計画 第1章第2節 3 高齢者福祉	趣味やボランティア等の地域の会やグループ等に参加している高齢者の割合 第4次後期基本計画では目標値が30%だったものが、今回20%となっている。これは第4次後期基本計画作成時の22.6%よりも低い値である。達成できそうな目標値に下げているだけに感じられる。なぜ目標値を下げたのかの説明を求めます。	第4次総合計画後期基本計画の指標設定に当たっては、八千代市高齢者等の保健福祉・介護保険ニーズ調査における設問「会・グループ等への参加頻度」で掲げられている活動8項目全てにおいて参加した場合の集計結果を使用しております。第5次総合計画前期基本計画においては、自身のライフスタイルに合った社会参加をした場合の集計結果に改め、指標の数値を設定いたします。 また、第5次総合計画前期基本計画においては、国が示す重度化防止に「就労的活動」が加わったことから、就労を集計に含めます。	○
55	部門別計画 第1章第2節 3 高齢者支援	「趣味やボランティア等の地域の会やグループ等に参加している高齢者の割合」 ・どのように調査しているのですか ・8割の方が参加していませんが、その理由は何ですか ・4年間で2.2ポイント増やす目標ですが、増やすことにどのような意味があるのですか？	第4次総合計画後期基本計画の指標設定に当たっては、八千代市高齢者等の保健福祉・介護保険ニーズ調査における設問「会・グループ等への参加頻度」で掲げられている活動8項目全てにおいて参加した場合の集計結果を使用しております。第5次総合計画前期基本計画においては、自身のライフスタイルに合った社会参加をした場合の集計結果に改め、指標の数値を設定いたします。 また、第5次総合計画前期基本計画においては、国が示す重度化防止に「就労的活動」が加わったことから、就労を集計に含めます。	○
56	部門別計画 第1章第2節 3 高齢者支援	「高齢者福祉サービスが充実していると感じる比率」 ・どのように調査しているのですか ・高齢者の3/4の方がサービスが充実していると感じていない理由は何ですか。その理由に対して施策がとられているのですか。 ・目標30%とした理由は何ですか。低すぎると思います。	当該指標につきましては、無作為抽出した市民の方を対象に市民満足度調査を実施し、現況値を把握しました。高齢者福祉サービスに関しましては、利用者以外の認知度が低い傾向にありますが、高齢者を地域で支えよう体制の構築を目指すため、広く周知を図ってまいります。 また、指標の目標値については、市民満足度調査により把握した現況値を考慮した上で設定することから、目標値を改めます。	○

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
57	部門別計画 第1章第2節 4 生活困窮者等支援	「就労支援を受けて就労・増収した生活保護受給者の割合」 ・分母は就労支援を受けている生活保護受給者ですか ・目標値はどこかを基準にした延べ人数で計算ですかあるいは1年ごと ・現況値、目標値の、分母分子の具体的人数を教えてください。	分母は、就労支援を受けている生活保護受給者です。 目標値は、就労自立促進支援事業等の就労支援を受けている生活保護受給者のうち、就労・増収に至った人数を年度ごとに計上した数値です。 現況値は、就労支援事業参加者数85人に対し、就労・増収した者34人、目標値は、就労支援事業参加者数87人に対し、就労・増収した者40人の割合を計上した数値です。	
58	部門別計画 第1章第3節 1 国民健康保険・後期高齢者医療	「国民健康保険料収納率」 ・収納率を向上するのは必要だと思いますが、現況の課題、基本方針からは目標が収納率向上にはつながりません。	「第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり 第3節 社会保険 1 国民健康保険・後期高齢者医療」の施策内容において、収納率向上対策の推進について記載しております。	
59	部門別計画 第1章第4節 1 保健	新型コロナウイルスに感染した人や医療従事者を差別や誹謗中傷からも守るための差別禁止の考え方も記載する。	市では、差別等の人権問題について、法務省が定める啓発活動重点目標及び啓発活動強調事項を踏まえ、千葉地方法務局船橋支局や船橋人権擁護委員協議会等の関係機関と連携して取り組んでいることから、新型コロナウイルスに関連する差別等について本計画に記載することは考えておりません。しかしながら、ご意見でいただいたような差別等は決して許されるものではないと認識しておりますので、今後もホームページや広報やちよ等で積極的に啓発を行ってまいりたいと考えております。	
60	部門別計画 第1章第4節 1 保健	若者の自殺防止のための取組の強化(相談員の増員など)を入れる。	コロナ禍で若者の自殺リスクが高まっていることを受け、市も自殺対策の強化が必要と認識しております。市民から様々な相談を職員が受ける機会も増えてきていることから、子ども関係の部署や教育関係の部署も含め、庁内に広く呼びかけ、職員向け研修(ゲートキーパー養成講座)を実施しました。また、市ホームページには、SNS相談窓口等、若者もアクセスしやすい最新の情報を随時掲載しています。 さらに、今後、教育委員会や子ども関係の部署も含めた庁内関係部署と庁内調整会議を開催し、課題を共有するとともに、今後の自殺対策の新たな取組を検討していきたいと考えております。	
61	部門別計画 第1章第4節 1 保健	第1章ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり 第4節健康 1 保健 コロナなどの感染症対策は、国の指示待ち、法整備待ちではなく、市独自の判断をすることが大切である。 コロナで発熱者外来を設けた診療所も多々あり、車2台分程度の広さでも小さなプレハブやテントが設置できるので、発熱外来が設置できる。コロナ対策でもあるが、アフターコロナの世の中を考えればインフルエンザの季節には発熱者外来で診療できるので、市としても助成金を出すなど対策をしてみてください。	新型コロナウイルス感染症の対策として、国は感染症法及び新型インフルエンザ等対策特別措置法(以下、「特措法」)に則り、「基本的対処方針」を定め、地方公共団体の責務及び事務を規定しております。 特措法の地方公共団体(市町村)が処理する事務は第一号法定受託事務に規定され、国や千葉県の対策方針に基づいた対策を、確実に行うことが法令上義務づけられております。 本市の令和2年度の取り組みとして、千葉県からの情報に基づいた感染者情報の提供や感染対策の周知啓発、発熱時の受診・相談体制の整備等を進めてきました。また、医療体制支援として、令和2年5月医療機関の防護服の配布を行い、同年10月インフルエンザの同時流行に備えた「高齢者インフルエンザ予防接種無償化」、発熱時等の相談・検査体制の支援として、「八千代市PCR検査等実施医療機関助成金」等を実施しました。 今後も新たな感染症の発生に備えた取組の他、発生時の対応など感染症対策に努め、国・県の方針、対策を注視し、市として必要な支援を検討してまいります。	
62	部門別計画 第1章第4節 1 保健	「特定健康診査受診率」 ・現在70%の方が受診されていない理由は？ ・受診率を向上するための具体的な施策が無いように感じます。	未受診者の傾向として40歳代の方が多く、また女性より男性の方が多い状況がみられます。未受診理由として「時間が取れなかった」「面倒だから」「費用が掛かる」ということや、国民健康保険加入者に対して実施している特定健康診査を知らなかったというご意見も把握しております。事業の周知が行き渡っていない可能性も考えられ、場所や曜日など受け方の選択ができることや健診に係る費用の一部の自己負担で受診ができること等の周知や、未受診の方へ電話や文書での受診勧奨を実施しています。 市いたしましたも受診率の向上は重要課題と考えており、目標達成に向けた施策につきましては、関連する個別計画である「第3期八千代市国民健康保険特定健康診査等実施計画」に記載し、取り組んでいるところです。	
63	部門別計画 第1章第4節 1 保健	「65歳平均自立期間」 ・目標の「延伸」の意味が不明	65歳平均自立期間とは、65歳からの日常動作が自立している期間の平均(要介護2～5以外を自立の状態とする)のことで、健康寿命の指標としています。 本計画では、健やかでいきいきと過ごせるまちづくりの土台として、疾病の予防や健康づくりを強化し、健康寿命の延伸を図ることを目指していることから、「延伸」を目標としております。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
64	部門別計画 第1章第4節 1 保健	「ゲートキーパー養成講座修了者数」 ・ゲートキーパーとは何ですか、どこにも出てこず、唐突に目標に出てきます。	注釈として用語説明を記載するようにいたします。 なお、「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守ることができる人のことで、特別な資格はいりません。話をよく聞き、一緒に考えてくれるゲートキーパーが身近にいることは、悩んでいる人の孤立を防ぎ、安心を与えます。市は多くの人がゲートキーパーの視点を持ち、日頃の活動に活かすことができるよう、ゲートキーパーの養成を重点取り組みに位置づけており、今回計画の指標に掲げることといたしました。	
65	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	第2章豊かな心と文化を育むまちづくり 第1節教育 教職員の資質向上と学級経営の充実 ・ICT機器研修を実施し、教職員のICT機器の活用能力を高めます とありますが、忙しい教師に研修は難しいのでは？結局以前のPC授業の失敗になるのでは？なら非常勤講師で民間から詳しい人を連れてきて教えてはどうですか？国のデジタル庁ですら民間人から100人連れてこないだめだと言ってるくらいなので。なんとも知らない教師が教えられるまでの力量には時間がかかりすぎます。また失敗するでしょう。 ・GIGAスクール構想に基づき、児童生徒の情報活用能力を育成します とありますが、無理でしょう。民間講師を呼びましょう。	民間の専門家をGIGAスクールサポーター（ICT技術者）として配置し、教職員ICT研修を実施してまいります。	
66	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	郷土愛を育む教育の充実 これもそもそもの教科書はどうなっていますか？きちんとわかりやすく八千代市の歴史を教えられる人のくらしいるんですか？研修として八千代市郷土歴史研究会に勉強しにくればどうですか？ また非常勤講師としてこの会から派遣というのもありなのでは？子供の頃に八千代市の歴史を知ってもらい、誇りと愛着を持ってもらいたいです。 また給食のメニューも下高野人参ご飯だけでなく、高津のとりめしなど八千代市の郷土料理は多々ありますので出してみても？醤油、味噌も江戸由来のものもあります。給食メニューに使ってみては？きちんとその背景を教えてください。 またPCやスマホからでも見れる歴史講座の動画をUPしておくのもいいでしょう。 また八千代市の歴史は意外と検索しても細かくできません。検索して色々な話が出てくるといけませんし、史談八千代をスキャナーしてネットに載せてみては？もしくは八千代市の歴史（図書館に置いてある分厚い本数冊）も。子供の頃の教育こそ愛着心を生む原動力です。	八千代市の歴史をより深く学ぶため、郷土博物館と連携し、外部人材の協力を求めてまいります。	
67	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	「充実した教育環境」「魅力ある公園・緑地の整備を進め、公園・緑地を恒久的な緑の財産として維持管理し、緑を活かした潤いのあるまち」というキーワードがあります。 しかしながら先日、市内の貴重な自然体験・宿泊学習の拠点である、「少年自然の家」の廃止が決定されました。「少年自然の家」は上の2つのキーワードを充実させる八千代市が誇る重要コンテンツです。「少年自然の家」あるいは別の形での継続を強く要望します。	「少年自然の家」の今後については、保護者等に説明しご意見を伺うことが大切であり、その上で最終判断を行いたいと考えております。	
68	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	体育・健康・安全に関する教育の充実 新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の児童の割合（小学校） 新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の生徒の割合（中学校） の目標値が前述と同様下がっているが、達成できそうな目標値に下げているだけに感じられる。なぜ目標値を下げたのかの説明を求めます。	目標値は、全国平均・県の平均を参考に設定しております。 ここ数年、全国平均・県の平均が少しずつ下がっていることや市（特に小学校）の平均値と目標値が大きく乖離している状況等を踏まえ、目標値を設定いたしました。	
69	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	新川エリアを観光資源として重視、子育てしやすい環境づくりを訴えているのに少年自然の家が廃止方針なのは理解できません。存続し活用するようにしてほしい。	「少年自然の家」の今後については、保護者等に説明しご意見を伺うことが大切であり、その上で最終判断を行いたいと考えております。	
70	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	「タブレット端末を利用した授業の割合」 ・現況値が調査中なのに目標値が設定できる理由は	令和3年度から児童生徒1人に1台のタブレット端末の運用が開始されることから、現在、約3人に1台整備されているタブレット端末の利用率を参考に目標値を設定しました。	
71	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	「新体力テスト総合評価のうち、上位3段階の児童の割合」 ・個に応じた支援の充実、と書いてあるのに全体主義を助長するような目標を設定することは反対です。	児童・生徒一人一人にあった運動に親しむ資質や能力の育成を目指すため、統計的に目標を設定いたしました。	
72	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	第2章第1節の「教育」について、これからの時代における日本における教育の最大のテーマの1つが「主体的・対話的深い学び」の環境をいかに形成できるかだと考える。教育はまちの未来を創る事でもあります。その視点での具体的な施策と目標を設定するように要望します。経産省の進める「STEAM教育」や「未来の教室プロジェクト」を施策として導入することを提案します。	いただいたご意見は、義務教育に係る施策を推進していく上での参考とさせていただきます。	
73	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	「教育」の中の「学校適正配置」についてですが、本市は人口動態が学区によって大きな差があります。将来的な人口減少を考慮するにしても、緑が丘西のような児童生徒が急増している地域に対しては必要な対応は行っていかなければなりません。これらもいずれもしっかりしたEBPMが必要です。学区単位での児童生徒数、人口推計を実施し、そういったデータに基づきどのような学校適正配置が考えられるのかを、各地区の住民と共に考えていく必要があります。 学校と他公共サービスや民間施設との複合化も考えられ、小中一貫校のような学校同士の複合化も考えられます。未来を見据えた学校適正配置を考えて頂くように要望します。	いただいたご意見は、義務教育に係る施策を推進していく上での参考とさせていただきます。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
74	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	①子どもたちの良きや可能性を引き出し伸ばす教育 持続可能な開発のための教育に取り組む。 過去の教育は、基礎基本をつめこむことが多くあったように思います。基礎基本は、しっかりと教育しなければいけません が、しかし子どもたちが興味関心を持ち、のぞむように指導法の改善が必要でしょうね。 ②教職員の資質向上には特に力を注いで下さい。	計画的に研修を実施し、教職員の資質向上に努めてまいります。	
75	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	①豊かな心の教育に心がける 道徳教育の充実は特に大切ですね。 広い心、いたわる心等、いじめがはびこらない様な指導の充実をお願いします。教育の広い心を持ちつづけることが何より 大切ですね。 ②郷土を愛する心の育成は、この他、大切ですね。 小学校の中学年においては、八千代市の歴史をよく教え、特に、過去の人々がいかに八千代を愛し、人々を大切にしていたか、 印旛沼のはんらんによる農民の苦勞、人々が平安時代から地域の人々を愛していたこと(例 高津姫)、地域にある 祭りに心を寄せながら、今の世代に続いていること知り、やさしい心、強い心を養ってほしい。コロナ時代の今は、戦国時代の 殿様と米本の農民武士が、力を合わせ、米本城を作り、土地を他の人々から守ったことを十分に学ばせる、長い歴史を たどることで、人々の郷土を愛する人々が多いたことを子どもたちは学ぶ。 ③ALTIは、小学校低学年から位置づけ、言語のみでなく、広い世界を見つめ、やさしい心の充実がはかられるようにする。	いただいたご意見は、義務教育に係る施策を推進していく上での参考とさせていただきます。	
76	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	①教育は、学校のみで片づけるのではなく、家庭と学校の両立で子どもを育てることが必要であると地域や家庭人の育成 にも力を入れてほしい。 ②子どもの下校時に、地域の人々は、子どもに合ったらく声をかけ挨拶してほしいと学校からも地域の人たちに声をかけ てほしい。 皆で子どもを育てるのだという精神を育成してほしい。	いただいたご意見は、義務教育に係る施策を推進していく上での参考とさせていただきます。	
77	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	①少年自然の家の存続をお願いしたい。 今ある教育施設を生かし子どもたち、家庭人の教育の場にして人々(子ども)を育ててほしい。	「少年自然の家」の今後については、保護者等に説明しご意見を伺うことが大切であり、その上で最終判断を行いたいと 考えております。	
78	部門別計画 第2章第1節 1 義務教育	<追加> ESD(持続可能な開発のための教育)の推進 ①子どもたちのよきや可能性を引き出し伸ばす教育、持続可能な開発のための教育に取り組む、過去の教育には、基礎基 本をつめこむ教育が多々あったようです。最近では全国の教育保護者交流が、パソコン等を通してはかられていることが多 いようです。保護者が関心をもつことが多くなっているように感じます。特に最近では他県の小学校教育者が実践を報告さ れています。(柔らかい感性でしかも高い教育力をお持ちの) 基礎基本は、しっかりと教育しなければいけません、しかし子どもたちが興味関心を持ってのぞむような指導法の改善が 必要でしょうね。 ②教職員の資質向上には、特に力を注いでください。	いただいたご意見は、教職員の研修を推進していく上での参考とさせていただきます。	
79	部門別計画 第2章第1節 3 青少年健全育成	p69青少年による自主活動の推進 青少年育成団体数が指標となっているが、目標値の設定根拠がわかりません。団体数が増えれば推進できると思えな いので、指標を団体数にした理由となぜ前回よりも下げたのかの理由の説明を求めます。	指標につきましては、青少年健全育成の施策内容である青少年健全育成支援体制の整備、青少年の自立支援体制の推 進、青少年による自主活動の推進を進めていく上で、各青少年育成団体の協力や支援が必要であることから青少年育成 団体数といたしました。また、前回より目標値の団体数が下がっていますのは、本計画期間中に団体の統合が見込まれる 地区があるためです。	
80	部門別計画 第2章第2節 1 生涯学習	第2章豊かな心と文化を育むまちづくり 第2節生涯学習 市民の学びの環境整備ですが無料の学習講座の動画をUPしてみても？ 市民意識調査で中高年男性の休日家での過ごし方は家において文化的な事をするが多かったです。その中でも無料の講 座があれば見たい、学びたいという要望は中高年に限らず、学生など若い層や派遣社員など貧乏層に需要がありました。 無料ならぜひ学びたいという低賃金社会を象徴しています。	いただいたご意見は、生涯学習に係る施策を推進していく上での参考とさせていただきます。	
81	部門別計画 第2章第2節 1 生涯学習	情報提供の充実ですが、単純に駅前に目立つように何枚も連続で今度〇〇講座の動画を無料UPしました!!といった感 じでまず周知の方法を大きく変えるべきです。いくら広報やちよでもその手の情報は隅っこの方にちよこっと載ってるだけ なので気が付きにくいです。 「まなびネットやちよ」知ってますか?詳しくはWEBでとかQRコード付きのポスターをショッピングモールのフードコート内 にひたすら数日間だけでもいいのでジャックして貼りますは知ってもらおう。	いただいたご意見は、生涯学習に係る施策を推進していく上での参考とさせていただきます。	
82	部門別計画 第2章第2節 1 生涯学習	生涯学習 公民館祭り来場者数の指標の目標値等が前回現況の数値の半分となっている。このように現況と実績が、簡単にかけ離 れてしまう数値を目標設定としてなぜ設定しているか説明を求めます。	第4次総合計画後期基本計画では、公民館まつりの来館者に、開催者を加えた人数としておりましたが、第5次総合計画 前期基本計画では、来館者の人数を実績とした考え方に変更したことから、目標値が大幅な減となりました。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
83	部門別計画 第2章第3節 1 市民文化	第3節文化 文化芸術団体、グループ等の育成及び支援ですが、とくに感受性が高い小中学生が文化に触れられる団体が必要では？ ジロー基金の活用などとしてみては？	八千代市では全ての年齢を対象とする文化芸術団体、グループ等の育成及び支援として市民文化祭(各団体の発表会や高校等の文化祭)等を開催しており、市民文化祭を通じ、広く市民の方々に作品に触れ合う機会、作品を発表する機会を提供しています。 また小中学生等の低年齢層でも親しめるような機会として市民会館や市民ギャラリー等の指定管理者を通じて、様々な作品体験教室や展示会を開催することにより、今後も文化に触れる機会を提供していきます。 なお、ジロー基金については公益信託制度により民間団体が設立した基金となっておりますので市として基金を活用することは難しいと考えております。	
84	部門別計画 第2章第3節 2 文化財	第2章豊かな心と文化を育むまちづくり 第3節文化 2 文化財 八千代市の日本最古(今のところ)の鉄の遺跡の出土品は今大多喜町に保管されています。八千代市に持ってきて展示してください。 また当時の発掘現場のレプリカの展示もお願いします。もっとシティープロモーション課と組んで数ある歴史上の人物、伝説(黒大蛇)十二神将など漫画などのキャラクターにできるものは100はゆうに超えます。せっかくの宝をもっと利用してプロモートしてほしいです。	各所で文化財を展示することは、文化財を活用する上で大変重要なことですが、文化財を破損する可能性もあるので、展示するに当たってはその可否を慎重に検討し、活用を図っていきたく考えています。 また、歴史上の人物や伝説に限らず、八千代市に眠る貴重な財産を発掘し、八千代市の魅力を伝えてまいります。	
85	部門別計画 第2章第3節 2 文化財	八千代市郷土歴史研究会の例会での講座も是非、映像や音声により記録し、それを無料講座として動画配信してほしいです。	研究会での例会や講座については、研究会の責任において記録し、動画配信すべきものと考えます。	
86	部門別計画 第2章第3節 2 文化財	たたら祭りでは吹奏楽部のコンサートではなく鉄の歴史をモチーフとした演劇を中高生がやるとか脚本演出なども高校生や大学生が挑戦し、その披露の場としてもらいたいです。もしくは製鉄をイメージした踊りの創出創作ダンスなどいいのでは？その音楽を吹奏楽部が担当するとか歴史祭を通して文化的なものの子供らに知ってもらいたいです。勝田の獅子舞はたたら舞とも言われ、現在のタップダンスは鉄の靴で踊る現在のたたらダンスと言ったところでしょうか？そのタップダンスコンテストをする。など若者が歴史に入ってきやすく、情報発信としても祭りを使う手段もありかと思えます。	たたら祭りについては、市として後援はしておりますが民間団体が主催者となっていますので、主催団体に伝達させていただきます。	
87	部門別計画 第2章第3節 2 文化財	八千代市には昔から農村部に伝統芸能が伝わっています。一子相伝の笛や太鼓の音楽の練習を毎日積み重ねて。今も続いています。また昔伝統的な踊りもありました。その踊りを10何年ぶりに体育祭で復活させ踊りました。農村部の方が見に来て泣いて喜んでいました。新聞の地域版でその記事が載っていました。そのくらい当時の地元では誇りと伝統がある踊りでした。八千代市にも以前は誇れる八千代市独自の伝統の踊りがあったんです。今その踊りを奇跡的に踊っているのは八千代高校鼓組だけです。 小中学校では港町でもないのにソーラン節を躍らせる学校が多く、何故？誇りある八千代市の伝統の踊りを踊り伝えないんだらうか？と残念な気持ちにいつもなります。小学生から伝統芸能にふれ自分たちの市にも誇れる文化があるという認識を持ってもらいたいです。 八千代市には歴史も伝統工芸品や文化、江戸由来のお酒、しょうゆ、味噌、踊りなどあるのに。小中学校の先生自体がそれを知らないのかもしれないですね。それが何よりの悲劇です。先生ですら八千代市の歴史をよく知っていなければそりゃあ子供は知る由も教育も上げられませんよね。教師自体がもっと誇りある八千代市の歴史と文化を勉強して子供らに伝えてほしいです。知らないってだけで歴史や文化が消えていくのはさびしいですね。 佐倉市と習志野市は歴史と文化の街ではさまれる八千代市は何もないなどという人がいますが実は一番歴史文化が根付いているんですよ。つじぎりやおとうわしなど未だに風習が残っており、昔の人は皆八千代市は歴史深い街と認識していました。それ故に東葉高速鉄道が通るとき大反対がありました。歴史の史跡を壊すなと死ぬまで抵抗した人もいたほどです。事実、東葉高速沿いや駅近くには史跡だらけで、市内には55基以上の古墳があった程です。それほど昔の八千代市民はこの土地の歴史文化に誇りを持っていたのです。その史跡も開発の為壊され跡形もないです。その昔の八千代市民の誇りと歴史の破壊の上に現在の東葉高速沿いの発展があるわけで、私達後から来た人間は感謝し、過去の誇りを継ぐ責任があると私は思います。その犠牲のもとに八千代市は発展し、恩恵を日々受けているのですから。	小さいころから市内の伝統芸能に触れる機会を増やすという点については、市内の貴重な文化財を次代に継承すべき遺産として周知し、活用を図っていきたく考えております。 また、小学校の社会科で市についての学習を行っており、引き続き郷土愛を育む教育を進めてまいります。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
88	部門別計画 第2章第3節 1 市民文化	<p>八千代市文化芸術の振興に関する基本方針の実現、推進をお願いします。</p> <p>今回の第五次(案内)の文化に関する提言では、市民の自主的な文化芸術活動の推進と文化財に関する意見のみ出されております。</p> <p>2014年にまとめられている「八千代市文化芸術の振興に関する基本方針」を確認しますと文化芸術の意義を、まちの魅力を向上させる「文化力」と伝統と地域に根付いた「伝統文化」に大きく分けて両方の必要性が述べられております。</p> <p>前者の「文化力」について果たして、どの程度が実現されているのか、また未来のビジョンに反映されているのかを確認して欲しいです。</p> <p>今のところ第五次案では、「文化力」に関しましていくつもある項目のうち、市民の自主的な文化芸術活動の高齢化に伴う団体、サークルの維持活動の困難を課題として挙げられています。</p> <p>しかしこの点だけを課題とすることは八千代市の文化芸術の発展を考えるなら片手落ちです。なぜなら文化芸術活動は市民のサークル、団体によるもののみならず、プロの作家達が市内の他の産業と結びついて活動することや若手の芸術家たちの活躍がなくては全体的な活性化は図れないからです。</p> <p>基本方針ではその点を踏まえて以下の事業が望まれるとして、しっかりと提言されております。</p> <p>企業との提携や産業への活用、公共施設での展開そして空き家を活用した発表機会と場の創出など。(基本指針ページ16～19、2～23を特にご参照ください)</p> <p>市が率先して企業と芸術家を出会わせ、発表機会の創出や産業への関わりへの仕掛けに取り組んで欲しいです。</p> <p>そのために課を横断した、アートの活用の展開を希望します。</p> <p>提案として</p> <p>①企業との芸術が画である情報の場(オンラインでもオフラインでも)をつくる</p> <p>②1%forアートの導入をお願いします。</p> <p>①企業メセナは企業による文化芸術活動の支援ですが、近年高まるSDGsの貢献にアートの力は大きな役割を果たします。人間の創造性を高め環境との調和に意識がゆき、アートを活用した問題解決はまちの治安の向上や景観の向上、人の交流の活性化にも良い効果をもたらします。</p> <p>また近年の産業の展開は、ただつくるだけではなく、消費者の心に届く物語やデザイン、見せ方などが求められています。そこにはもちろん、芸術家の力は大きく役に立っていることは間違いありません。</p> <p>しかし個人の芸術家たちが動いても出会いの実現はなかなか難しい現実があります。</p> <p>市が率先して企業メセナ、および産業とアートを結びつけることで八千代市内での文化芸術活動が活性化し、経済的な効果をもたらす、人の心に届く産業を生み出せるならば、本来の市がなすべき役割を果たすこととなります。</p> <p>最終的には八千代市の魅力向上に大きな影響をもたらすことが予想されます。</p> <p>②の1%forアートは1950年代以降、ヨーロッパを中心に展開され、近年では韓国や台湾の国々でも導入されている政策です。</p> <p>具体的には公共事業の1%(実際には予算に応じた3～5%)をアートに充てる政策です。</p> <p>アートといいますが、配分された予算で作品を設置するというだけではありません。</p> <p>イベントの開催や、建造物の一部を作家のデザインしたものにする、パンフレット等に若手作家を起用する、文化財の保存に充てるなどさまざまな活用の方法が行われています。これを導入することで、文化芸術のために一定の予算と仕事を留意でき、作家の経済活動につながりますし、事業の中にアートの要素が入り込むことで単なる平面的な事業ではなく創造性と人間らしさが加わった事業になり市民の文化生活を豊かにするものとなり得ます。</p> <p>八千代市での文化芸術活動がサークルや団体のものだけでなくとまらず更なる展開と発展ができるよう、方針を今一度見直していただき先に提案させていただきました2つの点の推進・導入のご検討をよろしくお願ひします。</p> <p>芸術家が活動を活発にしている街では街の資産価値が30%上がると言われています。</p> <p>またそのような取り組みをしている市に市民は誇りを持ちより愛される八千代市になるはずですよ。</p> <p>ぜひ導入と推進をお願いします！</p>	<p>いただいたご意見は、文化芸術に係る施策を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>	
89	部門別計画 第2章第4節 1 スポーツ・レクリエーション	<p>第2章豊かな心と文化を育むまちづくり 第4節スポーツ 1 スポーツ・レクリエーション</p> <p>現在八千代市には日本代表選手を多く含む女子水球チームがあり、小久保製水ではバスケットチームを作ったとの話です。地域のトップ選手をみて地域のプロチームを応援することはそのスポーツ人口の底辺を広くし、強い選手育成につながります。もし八千代市が水球の街としたいならもっと多くの試合を一般人にみてもらふ機会を増やすべきです。また水球を応援するスポンサー企業を募るべきです。</p>	<p>「八千代市スポーツ推進計画」の中でも、「みるスポーツ」の必要性について記載しており、トップレベルの競技や試合を観戦することは、スポーツを推進するにあたり大切であると考えております。いただいたご意見につきましては、今後のスポーツ推進の参考とさせていただきます。</p>	
90	部門別計画 第2章第4節 1 スポーツ・レクリエーション	<p>スポーツ推進員にかわり、地元の大学生がかわりに教えにくる。大学生何人かで1校だけ面倒見るくらいならチーム方針や生徒の個性はわかるでしょう。何より一緒にプレーしながら指導もでき、高いレベルのものを教えられます。</p> <p>スポーツ推進委員の周知率は5%くらいです。原因は講座の数が問題なのではなく市の周知の問題です。わずさかばかり講座を増やしても周知不足では費用対効果が悪すぎます。駄目なら見切りをつけてやめてはどうですか？</p>	<p>スポーツ推進委員は、子どもから高齢者、障害者まで世代を越えて活動できるスポーツを推進する、スポーツ基本法に規定された非常勤職員となります。</p> <p>スポーツ推進委員が開催する講座は、講座の開催を希望する団体等からの依頼により開催しており、講座数の増加は、スポーツ推進委員及びその活動の市民への周知が不可欠と考えます。今後は、ホームページなどを利用して、スポーツ推進委員の周知に努めたいと考えております。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
91	部門別計画 第2章第4節 1 スポーツ・レクリエーション	スポーツ施設の充実 指標として講座数や利用者数が設定されているが、行政としてやるべきことは ・公園、広場、未利用地などを活用し、地域において市民が気軽に利用できるスポーツ活動の場の確保 ・計画的な施設の改修 等かと思われます。指標に加えてください。	スポーツ活動の場の確保につきましては、多額の整備費用を伴う他、長期にわたる事業となることから、指標とすることは難しいものと考えております。 また、スポーツ施設の改修等につきましては、現在、八千代市公共施設再配置等推進委員会におきまして、老朽化対策の方針決定に向けて協議を進めているところであり、現時点において指標とすることは難しいものと考えております。	
92	部門別計画 第3章第1節 2 消費生活	消費者ニーズの反映について、現状時が作成中にもかかわらずどうして目標値の30%を出したのか。	消費者庁で実施している消費者ホットライン「188」が、全国共通の電話番号で地方公共団体が設置している消費生活相談窓口を案内しており、この「188」の認知度を消費者庁では3割程度を目指していましたので、目標値を30%と設定したところですが、令和2年12月に実施した市民満足度調査の結果において、相談窓口の周知度が30%を上回ったため、目標値を市民の半数である50%とすることとしました。	○
93	部門別計画 第3章第1節 2 消費生活	第3章安心・安全に暮らせるまちづくり 第1節暮らしの安心 2 消費生活について 消費生活センターはよくやっていますが、何故か不動産賃貸に関しての相談はわかりませんとの返答がきます。賃貸での重要事項説明不足による詐欺まがいの部屋を貸す業者や国のガイドラインで退去時の部屋のクリーニング代は大家が払う事になりましたが未だに借主から取ろうとするケースが多いです。しかも不法な値段を請求する事例も多く、何故？取り扱わないのでしょうか？分からないではなく、せめて国土交通省にそういう部署がある事くらい教えてらどうでしょうか？賃貸物件でのトラブルは他に丸投げはないかと思いませんか？国土交通省建設産業第二課にて宅建業法に関する違法行為やトラブルの受付はされています。 また来年度以降は賃貸借住宅管理法にて悪質な賃貸業者は言い逃れできなくなりますのでその点も消費生活センターは勉強し対応すべきでしょう。何かしらの罰則を賃貸業者に課す条例を作り、消費者センターが指導した時点で罰則も与えることができるようにしないとダメです。不動産賃貸だけがなぜか例外なのはおかしいです。	消費生活センターでは、消費生活に関する相談(商品やサービスを購入して不満を感じたり、被害に遭われた場合などの相談)を受け付け、消費生活相談員が解決のための助言やあっせん、情報提供をしています。 事案ごとに消費生活相談員が対応していますが、必要に応じて、当該事案により詳しい窓口等を案内する場合もあります。 不動産の貸借に関することも含め、消費生活相談員としての資質の向上のための研修の機会を設けるとともに、引き続き、県・国等の関係機関・窓口とも連携し、より良い相談業務が行えるよう努めてまいります。	
94	部門別計画 第3章第2節 1 防災・減災	第3章安心・安全に暮らせるまちづくり 第2節暮らしの安全 1 防災・減災 災害対応のスペシャリテをつれてくるなら、八千代市で長年災害と向き合ってきた八千代市を熟知している消防のOB(特にレスキューOB等)を連れてくるべきではないか。八千代市のことをよく知っている人間らが責任者としてやるべきかと思う。 そういった意味では、自衛隊OBでも八千代市出身者ですと習志野自衛隊にいた人なら土地勘もあり覚えは早いかなと思うが、やはり実践で長年培った八千代市消防OBの方が即戦力になると思う。 現在は、災害対策トップが自衛隊の幹部OBであるがパターンをわけ、例えば戦争時みたいな時はトップは自衛隊の幹部OBの方、災害時は消防OBの方とか使い分けられるように、ポジションを2つ用意したらどうか。	危機管理監の登用につきましては、ご意見のとおり消防関係者も災害時には災害現場での人命救助や捜索活動に尽力するなど経験が豊富な人材もいると思いますが、大規模災害時における捜索・救助の組織体制や資機材の確保、また防疫・給水の応援体制や人員・物資の輸送など、自衛隊の持つ機動性を発揮していただくため、自衛隊在職中に培った知識・能力・経験から退職自衛官の方が適任と考えており、また採用条件である地域防災マネージャーの資格取得者の多くが退職自衛官となっていることから今後も同様の方針での登用としてまいりたいと考えております。	
95	部門別計画 第3章第2節 1 防災・減災	八千代市の災害対策マニュアルが分厚すぎて誰も理解していないかと思うのでもう少し簡略化してわかりやすいものにする事をお勧めします。今回の台風でも千葉県多くの市が忙しくて県や国に情報をあげれなかった事で県や国の被害対策が遅れました。誰がこういう時どこのなんの情報を上げるのか？正確に理解していたらこの事態はもう少しやわらげられたかと思えます。各自治体の災害対策マニュアルも国から降りて来たものをほぼそのまま使っているとのことでしたので、八千代市も同じ事かと思えます。明日は我が身です。 また国民保護計画にて市が失業者に職を斡旋とりましたが、実際は直接的にはやってませぬよね？ハローワークに行くかどうか他の市の催しを勧めるというのは斡旋とは程遠いかと思いませんか？ また防災の街を目指している割には市の備蓄にマスクがあまりないのは問題です。	八千代市災害対応マニュアルにつきましては、市の各担当課が災害時に担う業務について、災害発生時に円滑な対応が図れるよう、それぞれマニュアルを作成しており、必要に応じ、見直ししております。 国民保護計画に記載されている「就労状況の把握と雇用の確保」につきましては、武力攻撃事態等が発生した場合、厚生労働省に協力し、市が被災地域の実情に応じた雇用確保等に努めることとしております。 マスクにつきましては、令和2年12月末現在、概ね避難所避難者数の3日分にあたる66,000枚を備蓄しておりますが、全てをまかなうことは不可能であると考えております。したがって、市民の皆様には、避難する際、マスクを持参するようお願いをしているところでございます。	
96	部門別計画 第3章第2節 1 防災・減災	河川の改修及び維持管理 印旛沼が緊急放流した場合、新川は大和田排水機場で排水になるが、まずこの辺りの周知を考慮してはどうか。 また、大和田排水機場から全開で放水を続けることで花見川に流している一号幹線路(高津川)にバックウォーター現象が起こり高津川の水が流せなくなる事態や大和田排水機場のポンプが故障事態も考えるべき。 解決策としては、大和田南小の地下に貯留施設の建設のような施設をコツコツと増やしていくこと、また新川の放流地点を高津川の放流地点と少しずらすこと、大和田排水機場のポンプ以外に水門を開くだけで流れる大きな排水管を花見川のかなり先までもついでいことなどができるのではないかと。	いただいたご意見につきましては、浸水対策事業を実施する際に参考とさせていただきます。 なお、新川及び花見川は一級河川となりますので治水対策については国や千葉県に要請してまいります。また、管理者である千葉県及び独立行政法人水資源機構と連携を図ってまいります。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
97	部門別計画 第3章第2節 1 防災・減災	急傾斜地の対策 千葉県崩落地区指定やらが全国でもワースト1だった事を考えて今一度市内で崩壊危険地域の指定を考えたおしはどうか？ 過去にどこが氾濫したか、谷底なのか、液状化しやすい場所か、がけ崩れが起きてもおかしくない所などを考え直して街づくりを考え直すべき。 台地は災害に強い一方、谷底部分は昔は川か沼地か湿地帯だったので、水害や液状化はつきまとう。崖地に家を建て、崖を支える木々を刈ってはいは土砂崩れは目に見えている。今一度、崩壊危険地域の指定場所の選定を追加すべき。	急傾斜地崩壊危険箇所の指定につきましては、千葉県が行っているところですが、本市としましては、がけ崩れや地滑りの恐れがある区域の把握に努め、新たな危険区域を認識した際には、千葉県へ報告することになっており、また、指定に至るまでに八千代市への意見照会等もあることから、その都度、対応してまいりたいと考えております。	
98	部門別計画 第3章第2節 1 防災・減災	第3章安心・安全に暮らせるまちづくり 第2節暮らしの安全 国土強靱化 八千代市は新川自体の氾濫は想定していないのは何故か。利根川下流の氾濫、印旛沼・桑納川・神崎川の氾濫と最悪の事態の予測という割には新川自体は想定外なのか。 この川を最悪の想定に入れないのは慢心が油断以外の何物でもない。最悪の事態へのいくつかの不安要素はいくらでもある。リスクの洗い出しをもう少しやったほうがいいかと思う。	新川の洪水浸水想定区域につきましては、平成29年度に国土交通省より発表されている利根川洪水浸水想定区域により把握し、想定しております。なお、洪水浸水想定区域は本市北側の市街化調整区域内となっており、住家への直接的な被害は少ないものと考えております。	
99	部門別計画 第3章第2節 1 防災・減災	「災害時においても、治安を確保するため、防犯カメラの設置を促進するとともに停電時にも対応可能な防犯灯の設置などを検討する必要がある。」とあるが、今1万数千円で太陽光で動くWiFi式の監視カメラ売っている。	防犯カメラにつきましては、犯罪の発生抑止、また早期の犯人検挙につなげることを目的として、市内の駅周辺、幹線道路、通学上の安全面を考慮した箇所等、効果の高い場所を選定して設置を行っており、第4次総合計画後期基本計画に防犯施設の整備として位置づけ、令和2年度末までに市内全体で70台を整備することとし、今年度で完了予定です。 また、機種につきましては、様々なものが販売されておりますが、セキュリティ対策が十分なものを選択しており、盗難や破損の恐れがない箇所に取付けを行っております。 なお、新庁舎の設計においては、防災対策の中枢拠点になるよう設計しており、電力途絶時対策としては、メンテナンスフリーで1週間の連続運転が可能な非常用発電設備を設置するとともに、72時間の連続運転が可能な容量のオイルタンクを整備することとしております。また、2回線受電方式を採用することで、電力供給途絶リスクを軽減する計画としております。太陽光発電設備での電力供給も昼間などの条件付きで利用可能ですが、費用の観点から蓄電池は設置しておりません。	
100	部門別計画 第3章第2節 1 防災・減災	・感染症等の大規模発生 避難所における衛生管理として、小中学校トイレの乾式化は適切なのか。洋式トイレではお尻をつけてしまうので、コロナのような感染症対策として和式トイレの見直しが進んでいる。和式タイプのマンホールトイレの拡充などに取り組むべきではないか。 乾式化にしても出入り口できちんと靴底をアルコールの入った箱に靴裏つけて消毒するなどしないと意味がない。乾式化はむしろ汚れが目立たないので人々の意識が遠のくのではないか。	本市では、避難所における感染症対策の徹底を図るため「新型コロナウイルス等感染症を踏まえた避難所開設運営方針」を策定し、同方針に基づく「八千代市避難所運営マニュアル(新型コロナウイルス感染症対応版)」において、感染症禍における避難所運営手順を具体化いたしました。これにより、避難者が避難所となる体育館に入る前に体調チェック、消毒をすることとしており、感染者や感染の疑いがある場合は対象者を隔離した上、専門機関(保健所等)に連絡し、指示を受けるようにしております。 トイレの洋式化、乾式化については、いただいたご意見を参考に、調査・研究するとともに、関係部局とも協議し、避難所環境の整備に努めてまいりたいと考えております。 なお、乾式の床は、湿式の床と比べて湿気が少なく、細菌が繁殖しにくいとの研究結果がございます。また、洋式便器の方が和式よりも尿の飛び散りが少なく、衛生的との研究結果もございます。このことから、学校のトイレを洋式の乾式の床に改修しております。	
101	部門別計画 第3章第2節 1 防災・減災	避難場所の脆弱性を指摘させていただきます。 避難場所とは、一時的に身を守る場所にならないといけません。 避難場所・広域避難所に指定されている場所に夜間照明がないのは近隣にお住まいの方・従事者のかたが不安に思うのは当然のことだと思います。 東北大震災の際、夜間照明のある幼稚園に近隣の方が助けを求めたくさんの方がいらっしゃいました。ただ、停電になると夜間照明は使用できません。近隣の市では、全ての学校に夜間照明があり、有事の際には、すぐに避難できると聞いています。 停電にも耐えられる夜間照明をせめて広域避難所には設置していただけないでしょうか？ 八千代市は、安心で安全なまちづくりをお願いします。	本市では、全ての小中学校に防災倉庫を設置し、災害時に備えて物資や資機材を整備しております。照明機材(発電機、投光器)も整備されておりますので、停電していても使用することが可能です。 いただいたご意見を参考に、今後も避難場所の整備についての検討課題の一つとして考えてまいります。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
102	部門別計画 第3章第2節 3 防犯	<p>第3章安心・安全に暮らせるまちづくり 第2節暮らしの安全 防犯施設の整備 防犯カメラについて</p> <p>防犯カメラはこれからは設置個所の増設が必要でしょう。特に市内のショッピングセンターの駐車場やコインランドリー前の駐車場、公共施設の駐車場、など意外と不特定多数が使う駐車場にカメラが設置されていないことが多々あります。フルガーデンやイオンモール、ユアエルム、ジョイフルホンダなどの駐車場は大丈夫でしょうか？こういった施設に設置義務を課す条例を作ってみたらどうでしょうか？</p> <p>また通学路や通勤路にある自販機内いくつか設置するというのもいいでしょう。設置業者と話し合せて設置することもお勧めします。</p> <p>あとは公園内などもお勧めします。いま小さな防犯カメラはたくさん出てます。WiFi使えるなら太陽光で動くものもあり、1万円くらいです。ある繁華街などで集中して設置してみたらどうですか？</p> <p>問題は小型なので盗まれる可能性があります。相当高い場所が取つてると目立つ場所、他からの監視カメラで映るところなど考えた設置が必要です。小型WiFi防犯カメラはスマホからでも確認ができます。犯人に音声もスマホから送れます。そしてこのカメラが設置できるという事は同時に防災無線の代わりにもなりうるという事も言えます。防災無線は反響して聞こえづらい難点がありますが、近い範囲でいくつも防犯カメラがあるならそこから同じ内容を流すことも可能です。広範囲に1つ防災無線なので何言ってるか聞こえませんが、小範囲に小刻みにあれば商店街のアーケード等で流れる音楽と同じで聞こえはまだまだいいでしょう。</p>	<p>防犯カメラにつきましては、犯罪の発生抑止、また早期の犯人検挙につなげることを目的として、市内の駅周辺、幹線道路、通学上の安全面を考慮した箇所等、効果の高い場所を選定して設置を行っており、第4次総合計画後期基本計画に防犯施設の整備として位置づけ、令和2年度末までに市内全体で70台を整備することとし、今年度で完了予定です。</p> <p>また、設置している機種につきましてもセキュリティ対策がなされたものを選択しており、盗難や破損の恐れがない箇所に取付けを行っております。</p> <p>一方で市が設置するものについては、基本的な考え方から、駅前や幹線道路・交差点・通学路等に設置することとなり、市民の皆様が要望する設置箇所と必ずしも一致していない場合も見受けられる状況となっており、地域の状況を把握している自治会等が、自ら設置する防犯カメラへの補助金要望が多数寄せられております。</p> <p>そうしたことから、第5次総合計画前期基本計画においては、自治会等が行う防犯カメラの設置に要する経費に対して補助金を交付することで、自治会等による自主防犯活動を促進し、市民と行政が連携協力を図り、安心で安全な犯罪のないまちづくりを推進することとしております。</p>	
103	部門別計画 第3章第2節 3 防犯	<p>第3章安心・安全に暮らせるまちづくり 第2節暮らしの安全 3 防犯</p> <p>最近集団ストーカーという犯罪がある。集団で人を付け回し、行く先々に現れる。組織だっているので不特定多数の関係者がおり、数々の犯罪をしかける。嫌がらせや犯罪を付け回して繰り返すそういう集団が集団ストーカーである。まずこういう犯罪が世の中にある事を市は認識すべき。</p>	<p>いただいたご意見にある犯罪について、研究してまいりたいと思います。</p>	
104	部門別計画 第3章第2節 4 交通安全	<p>放置自転車の撤去台数</p> <p>この指標ではなく、放置自転車が減るために駐輪場の整備率などにしないと、撤去することが目標になってしまうので再考が必要だと思います。</p>	<p>当該指標は、放置自転車の撤去することが目標ではなく、放置自転車の減少につながる指標として設定したものです。しかしながら、撤去台数を明示したことにより、撤去台数が目標となってしまうとの解釈もできるため、目標値を1,000台以内に修正いたします。</p>	○
105	部門別計画 第4章第1節 1 市街地の整備・活性化	<p>第4章快適で環境にやさしいまちづくり 第1節市街地・住環境の整備 快適生活都市について</p> <p>八千代市の今後の人口流入について今までは違う考え方を今後はすべきかと思えます。現在はひたすら子育て世代を呼び込んでいる印象はあります。昭和の時代はそうでしたね。しかし一気に呼び過ぎたため高齢化している地区が目立ちます。現在人口増なのは最後の開発地ともいわれる八千代西北部地区開発があるからでしょう。そこが終わればよいよ人口減になります。永久に戸建てなどを開発で呼び続けるのはこれからの時代はそぐわなく、持続的ではありません。今の人口増の背景は開発もありますが、少子化が伴っているのは団塊世代の親の家にその子供ら家族と一緒に住むというパターンと八千代台駅周辺のように意外と若者向けの単身者マンションが乱立し始めているのも要因かと思えます。勿論2人兄弟世帯が一人っ子世帯になったというのもあるでしょう。</p> <p>また子育て世代の子供が巣立って街をでて親だけ残るのもその要因でしょう。子育て世代だけ連れてくる施策は終わりを告げています。永久に田畑を開拓して家を作り続けるのは得策ではないです。これからは二世帯住居に補助金を出すと単身者用のマンションを作るなどして他の世代の取り込みが新たなモデルケースになるでしょう。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後のまちづくりを推進していく上での参考とさせていただきます。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
106	部門別計画 第4章第1節 1 市街地の整備・活性化	<p>事実八千代駅周辺は八千代市のデータによると若者世代の人数が他地区より上がってきています。意外と高齢化の街と思っていたが割合的にはだいたいぶ押し戻しています。老人と若者の間の世代がないので高齢化という数値になっているのだと思います。</p> <p>八千代市は市内外に職があふれています。下手な田舎より高待遇で沢山仕事があるので、働き手世代が移住する要因は十二分にあります。子育て世代は確実に減りますが、生涯未婚者は今後確実に増えます。そうした社会の流れを読み、おひとり様世代に目を付けた人口流入計画も立ててみたらどうでしょうか？</p> <p>田舎が過疎化するのには仕事がないからです。仕事がある八千代市は恵まれています。移住の第一条件である仕事があるのでそのポテンシャルは高いです。</p> <p>船橋市よりはややマンション価格はやすく新川沿いや北部には自然がひろがり、確かに子育て世代はやってきます。しかしあまり高級なマンションや戸建てはもう建てない方がいいと思います。リーズナブルで防音効果の高いマンションや家が必要です。理由は都心部に通うのは働き手の2割強に過ぎないからです。</p> <p>他の八千代市民の働く場所は市内か近隣市であり、お世辞にもエリート層だけではないのも現実です。</p> <p>今までの八千代市はまさに都心に通う一流会社の社員さんや官僚さんが多くいたということで高級な家などが目立ちました。しかしそれをやってしまうと、エリートの子はやはり頭がいい子が多く、結局いい大学に通い、いい会社に入り、結果都心部に住むか、転勤で他県に行くかなど、更に財力もあるので自分の好きな街に家を建てられます。そうして団塊の世代のエリートの子はやはりエリートになってこの市を飛び出します。高級マンションや家を作ると残るのは親だけで結果その地域は高齢化します。千葉都民もいいのかもしれませんがそれ以外の人も圧倒的に多いのですからその価格帯にあった家やマンションを作るべきでしょう。もしくは中古物件リフォームなど。</p> <p>また空き家は激安の賃貸として貸す手段もいいでしょう。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、人口維持につながる市街地の活性化の取組として、地域資源を活かしたエリアマネジメントを促進する上で参考とさせていただきます。</p> <p>また、本年度策定を予定しております八千代市空家等対策計画に基づき、空家等の対策を推進してまいります。</p>	
107	部門別計画 第4章第1節 1 市街地の整備・活性化	<p>地域に人を呼ぶときは一気に同じ世代を呼ばないこと。少しずつ時間をずらして家を建てること。市全体として同じ年に一気に人を流入させないこと、など時間をずらして計画的に流入していかないとまた八千代台のように高齢化地域ができってしまうでしょう。</p> <p>八千代市は建てた先に家が売れる傾向は確かにあります。今後は時間をずらして団塊の世代がいなくなっていくのでそういう意味では開いた土地に新たな家を建てたら新たな世代が来るので街の世代のバランスがとれてくると思います。スクラップアンドビルドが駅ちかの軒家では起きています。高齢化と言って急いで土地開発してまた同じ世代を一気にその地域に呼ぶのはもうやめた方がいいでしょう。高齢化地域を更に生むだけです。街の活性化としては駅ちかはスクラップアンドビルドで虫食いの若い世代がはいりましょう。もしくは高層化して単身者がくるなど。</p> <p>米本団地はどうするのでしょうか？この高齢化も問題です。ただ16号線の音がうるさいので団地を立て替えてエレベーター付きの10階建てのマンションにしてそのかわり今の半分の団地数にするとかとりあえず16号線対策としてもっと大きな防音壁を設置するなどすればまた新たな世代が来る余地はあります。ここは16号線に直にできますので近辺の工業地域等に車通勤する人にとってはとても便利な場所なのでやり方次第では需要はまだあります。</p> <p>あとは自衛隊の飛行機の音がうるさいのでルートを外してほしいのはあります。そうすればこの地域の価値は高まるでしょう。新たな子育て世代がくれば今問題の統廃合問題も少しは変わってくるのではないのでしょうか？</p>	<p>いただいたご意見は、今後のまちづくりを推進していく上での参考とさせていただきます。</p>	
108	部門別計画 第4章第1節 1 市街地の整備・活性化	<p>第4章快速で環境にやさしいまちづくり 第1節市街地・住環境の整備 1 市街地の整備・活性化 地域まちづくりの支援について</p> <p>街づくりは無償のボランティアだと思います。八千代市がいい街づくりになることを切に願います。自然発生的に盛り上がりしてきた団体こそ、市はトントンになるように補助すべきです。街づくりは無償の愛です。ボランティアです。そこに利益や金儲けを絡めてはうまくはいかないかと思うます。無償の心だからこそいいものができるのかも知れませんね。そういう団体を早くに見抜いて補助する。それが大切です。</p>	<p>いただいたご意見は、今後のまちづくりを推進していく上での参考とさせていただきます。</p>	
109	部門別計画 第4章第1節 1 市街地の整備・活性化	<p>市街地の整備・活性化 立地適正化計画作成の必要性を前述しているが、この項目にすら記述がない。どういう計画に則って整備し活性化しようとしているかが全く理解できません。なぜ立地適正化計画の記述がないかの説明を求めます。</p>	<p>立地適正化計画は、市街化調整区域において、市街化区域編入を目指す区域があることなどから、土地利用の実態を把握しながら、策定を検討してまいりたいと考えております。</p>	
110	部門別計画 第4章第1節 1 市街地の整備・活性化	<p>地域まちづくりの推進 目標値に地域まちづくり活動団体の登録件数があり、現況0件であるが、どういう定義づけで現況値が出ているか不明なので説明を求めます。</p>	<p>現在作成中の「(仮称)八千代市地域まちづくり推進要綱」において、地域まちづくり活動団体の定義(基準)を設ける予定としており、指標は、当該要綱に基づく団体登録件数を想定しています。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
111	部門別計画 第4章第1節 2 住宅	<p>第4章快適で環境にやさしいまちづくり 第1節市街地・住環境の整備 2 住宅 空き家対策</p> <p>移住、転入は安い家賃の家と仕事があればどんどん来ます。市としてこの失業時代でもハローワークに丸投げではなく、他の手段も積極的に講じて仕事を安定的に失業者に割り当て、安い家賃の家や部屋を民間などに声をかけて用意すれば人口減は緩めることは可能です。それこそ今回空き家のパブコメ「八千代市空家等対策計画」が出ていますが、空き家バンクや持ち主への運用方法の周知や持ち主をまず探して策を講じていけば安い家賃の家は空き家で代行できます。空き家のパブコメでは残念ながら空き家バンクの検討とあり、やるまでには至っていません。千葉県内の田舎の街では当たり前のようにあり、その成約数はかなりの数に上っています。</p> <p>また持ち主不明者の家は数年たっても見つからない場合財産管理人制度など、役所が管理し、その物件は裁判所経由の競売にかけるといった手段もあります。競売の問題点はその家が固定資産税などの市税を滞納している場合です。その借金が次の主に行く場合があり、市税の滞納分は市として免除するというのはいかがでしょうか？どうせ持ち主が現れないのなら税回収は望めませんので、それならば市場に出回るような条件にすべきかと思えます。空家等マッチング事業と出てきますが、高齢者は今より1万5千人増えます。この場合近くの公民館がない、潰れた、統廃合などで将来足りなくなる場合があり、こうしたマッチングで空き家を借り、地域の集まりの場所として使用は可能でしょう。その場合固定資産税は市は半額にするなど減税措置や耐震化への補助率のUPなどあわせて考えるべきでしょう。</p>	<p>いただいたご意見は、空家等対策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>	
112	部門別計画 第4章第1節 2 住宅	<p>助成制度の周知とありますが耐震化の助成はそれに関連したリフォーム助成をあわせても2つくらいしかありません。耐震診断相談は別ですが、その2つでも結局は3分の1しか出ないので持ち主は放置しがちです。重点区域(八千代台地区の駅から600m以上離れた家)の重点箇所に対しては助成の比率を上げ、耐震化を促しやすくする必要があります。</p> <p>習志野市は助成率が高いです。いち早く空き家が貧乏な子育て世代に住んでもらえる物件だと気が付いたのでは？持ち主が耐震化をして安く貸し出せばそこには必ずきます。習志野市も仕事を持つ市であり、八千代市や船橋市、千葉市と交流人口が多いので労働者もよく動きます。それをつなぎとめる安い家の創出に取り組んでいるのでは？八千代市もやるべきでは？</p> <p>あと空き家のシェアハウス化をして若い層の取り込みも必要です。若い層なら駅から600m以上離れていても多少遠くても安ければ必ずきます。看護師や保育士不足とありますが病院や保育園の近くの空き家を市が借りあげ耐震化し、安い値段で保育士専門のシェアハウスなどにして貸すという手もありますよ。給料上げるだけが手ではなく、自衛隊のように福利厚生で安い給料をカバーするパターンもありますよ。シングルマザー同士のシェアハウスや同じ趣味の人が集まるシェアハウス、中にはボルダリングする場所を作ったシェアハウスなども市内には存在します。</p> <p>また耐震化だけしてあとはDIYし放題の家として貸し出すパターンもあります。DIYは今女性に人気で、DIYシェアハウスやDIYしていい空家など色々なパターンがあります。セーフティネットとして貧困者同士が住むシェアハウスを市として用意するなど今まで市営住宅などはどうしても子供がいる世帯や老夫婦などが対象として若い貧困者(ネカフェで過ごすような人やホームレス)やコロナや就職氷河期世代の家を失った貧困者は対象でなかったのでは非この機会に空き家の有効活用として考え実行してください。</p> <p>確かに駅から600m以内の空き家は更地にした途端に新築が立ちます。八千代台では多いです。しかしそれ以上離れた駅ちか物件以外の物件は上記のような工夫が必要かと思えますし、それは若い活力を地域に呼び込んだり人口減対策にもなります。</p>	<p>いただいたご意見は、空家等対策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>	
113	部門別計画 第4章第1節 2 住宅	<p>耐震化での補助だけでなく、断熱化も同時に促してみてもどうでしょうか？一緒にやる家庭は少なくないと聞きますし、CO2削減対策としても政府は断熱化対策は推進しています。日本エネルギーパス協会の掲げる断熱耐震化住宅はこれからの新築物件には法的に義務化されるでしょう。本来2020年施行でしたが今延期されているだけです。近年中には施行されます。断熱でしょうするエアコンやストーブなどのエネルギーの省力化が見込まれ、CO2削減に大きく寄与する環境対策にもなります。断熱化は結局耐震化と手順がほぼ同じで足場組んで、荷物どかして、壁はがすとか補強のついでにとか同時にやることで一つ一つより費用は少なく済みます。ですのでこの断熱化も一緒にする場合補助率UPや断熱化の助成金も併せてできるなどしてはどうでしょうか？</p>	<p>いただいたご意見は、住宅に係る施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>	
114	部門別計画 第4章第1節 2 住宅	<p>近隣市にも沢山仕事がある地域は労働者にとって無茶な条件で働く必要も少なくなり、ブラック企業にしがみつかなくていいという、仕事上での鬱は仕事の少ない地域よりは割合として少ないかと思えます。その労働者にとっても選びやすいという環境は習志野市や船橋市などと同様に八千代市もしかりです。あとは相手にする層をどこに定めるか？でしょう。今まで八千代市は中流階級以上の人を呼び込む新築物件に力を入れてきたのでは？当たり前仕事があり、ローンも組め、子供もいるというある意味恵まれた層ばかりを。しかしそろそろその層ばかりを受け入れるには限界を感じているのでは？出生率も下がるばかりですし効果はでていません。10年ごとに起きる不景気や災害などで中流層のローン破綻者がその都度でています。そんな不安定な世の中でしっかりと仕事を続け高いローンを組める人達ばかりの相手はいささか持続可能な考えではありません。稼ぎの悪い層、派遣同士の結婚世帯など、これからは違う層も狙うべきなのではないのでしょうか？そういう意味で空き家対策は一石二鳥なのでは？</p>	<p>いただいたご意見は、空家等対策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>	
115	部門別計画 第4章第1節 2 住宅	<p>管理不全の空家等の割合 目標値で「減少」ではなく数値化するべきです。</p>	<p>現在策定中の「八千代市空家等対策計画」の目標値と整合を図っております。空家はあくまでも個人が所有する財産であり、所有者が適切な管理を行う義務があります。このため市が具体的な数値目標を設定することが困難であり、同計画では、基本理念に基づく適切な維持管理の促進という観点で現状値を基に目標設定しております。今後、同計画を推進する中で、より適切な指標設定が可能かどうか研究してまいりますと考えております。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
116	部門別計画 第4章第2節 1 総合交通	総合交通 項目に、「持続可能な公共交通ネットワークの形成」が増えたのは良いことですが、この策定・実現のためには、『立地適正化計画』ができていないとネットワークの形成根拠が不明確であり、ぶれることが懸念されます。そのためにも『立地適正化計画』の作成は必須です。 また、総合交通およびゼロカーボンシティを宣言した八千代市としては、自転車による交通の施策(シェアサイクル等)も重要ですので項目として記述すべきです。	立地適正化計画は、市街化調整区域において、市街化区域編入を目指す区域があることなどから、土地利用の実態を把握しながら、策定を検討してまいりたいと考えております。 また、自転車による交通の施策のご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	
117	部門別計画 第4章第2節 1 総合交通	総合交通 「立地適正化計画」に則った総合交通計画であり整備だと思えます。その計画無しで、どのように計画しているかの説明を求めます。	立地適正化計画は、市街化調整区域において、市街化区域編入を目指す区域があることなどから、土地利用の実態を把握しながら、策定を検討してまいりたいと考えております。 また、地域公共交通計画につきましては、今後、地域公共交通の必要性及び地域の輸送資源等の把握を行い、計画の策定に向けた調査及び検討をしてみたいと考えております。	
118	部門別計画 第4章第2節 1 総合交通	総合交通の指標 何々しやすいと感じている市民の割合が指標となっているが、50%を超えない目標設定は数値が低すぎると思われる。なぜににくい・不満に感じている方が半分以上でも良いとする目標設定としているかの説明を求めます。	目標値は現況値を考慮した上で設定しており、現況値が50%から乖離している指標については、50%に満たない目標値となっているものもありますが、目標値を超えるよう取り組んでまいります。	
119	部門別計画 第4章第2節 2 道路環境	第4章快適で環境にやさしいまちづくり 第2節総合交通・道路環境の整備 八千代台南・勝田台線をもしぶち抜いて16号線までつなげられれば実質上の296号バイパスになります。この道は県道の計画線でもあるのでは？八千代台の銚子丸から千葉市に向かう道は現在進行形で整備中です。県もこのラインは重視しているのでは？その逆側は16号線です。ここも千葉市が途中に入っていますが、県や八千代市が協力して千葉市と交渉してみたらどうでしょうか？千葉市も最近この近くの鷹の台ゴルフ場前の道路を拡張工事したりと注目はしているはずで。16号線にでるには大和田地区の人はこの鷹の台ルートか296号線ルートしかありません。この八千代台南・勝田台線が完成すれば296号線の渋滞緩和になるでしょう。 大和田駅南口前に作ったロータリーにつなぐことも検討してもらいたい。大和田駅の乗降口の問題など。このロータリー側に改札を持ってくと反対側はどうするか？ですがまず無人駅も視野に駅員の削減、乗り降り切符販売等のA1自動化。反対側には地下道を掘るなど考えられます。	いただいたご意見につきましては、総合交通や道路環境に係る施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
120	部門別計画 第4章第2節 2 道路環境	京成沿線沿いは高架化は無理だったら今度は地下道を掘る手はあります。八千代台西口から幕張に行く道の途中で地下道を掘って踏切の下を通したところありますよね？あのイメージで例えば八千代台なら大和ボクシングジムの踏切のところとか、逆に交番の先の駐輪場の先の踏切の下とかいくつか考えられます。下を掘るには道の長さが足りないかも知れませんが。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。	
121	部門別計画 第4章第2節 2 道路環境	アンケートでも道の渋滞解消という意見が多かったです。たぶん新川大橋と市役所を結ぶ道らへんは特にかと。いつも使う道が便利になっているといい税金の使い道だと皆が思いますよ。費用対効果が高いかと思えます。 あと人を集めるだけ集めて道を整備しないから混むんだというお叱りもあり、渋滞解消や歩道の整備がいかにか高いニーズか伺えます。	アンケートの他、自治会要望ややちご意見箱等においても道路整備に係る要望は多く、ご意見のとおり道路整備に対するニーズは高いと承知しております。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。	
122	部門別計画 第4章第2節 2 道路環境	物事は大きくとらえることにより大きな費用対効果となる場合があります。人口増で税収増の中、経費とカウントされる道路工事費をけちると最悪不交付団体になり、一気に220億円の借金が増えることでしょうか。だからといって多額のお金は一気に費やせませんが、220億円借金が増えると経常収支比率は105%？かそれ以上になり、八千代市は県内どころか一気に全国ワースト5に入る財政状況になるでしょう。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
123	部門別計画 第4章第3節 1 生活環境	<p>第3節環境との共生・保全 地域猫活動の支援</p> <p>この予算って効果ありますか?そもそもコロナ禍で失業してる人たちへの支援がなんも変わっていないのにここに新たに予算付ける自体が信じられません。ここに予算付けるなら失業者対策への予算や施策をもっと増やしてください。それが条件です。</p> <p>どんな優先順位で予算付けてるんですか?今回わかったのは各部署の人は自分の部署の予算しか知らないという事。全体を見て何が優先順位か?つけて決めていないという事。全体の予算の使い方自体把握してない人が多いという事。にもかかわらず市民には全体を一気に見せて判断しろとバブコメが出ますがいざ全体を見て話しをすると各部署の役人はチンパンカンパン。。道理で変な予算が付くわけです。市民に求めるならまず市庁舎内で予算全体の使い方を把握すべきではないのでしょうか?</p> <p>去勢費用を出してもきりがないですよ?お金ばらまくだけのような気がしますが野良猫は独居老人が飼っていて飼い主が死んだら放置のパターンが多いです。よって今後も独居老人自体が増えるのですから今の法や条例では増える一方です。去勢してもすべてを把握できるわけもなく、見逃した猫は猫で増殖します。なのできりがないと言っているのです。</p> <p>対策として</p> <p>①条例でペットを捨てたら今よりかなり厳しい罰則をつけること。 ②独居老人の親族も責任がある事にする。 ③猫を買うとき、増えた時には耳にマイクロチップを埋め込み管理できるようにする。住民票かマイナンバーカードでもその情報を載せること。(飼い主がマイクロチップの費用負担) ④それでも野良猫が増えるなら捕まえて全国でほしがっている人にネットなどで掲示してあげる。全国でそういう猫を欲しがっている人。上げたい人のネットワークを作る事。</p> <p>などが考えられます。不用意に去勢手術費だけを上げ続けても意味ないです。猫活動はあくまでもボランティアだからまだ市民合意が取れるだけで、市費を講じるとなると疑問です。今でさえ1%支援でこじてるのですから。お金あげる前に条例などで整備できるところがあるでしょうか?市がまず市でしかできないことをすべきです。条例の厳罰化は市でしかできません。この問題はお金をあげても根本解決にはなりません。</p>	<p>地域猫活動では、エサやりをルール化することや糞尿の管理により、エサの散乱、ゴミあさりや糞尿の被害が減ります。また、繁殖を防ぐための不妊去勢手術により、発情によるケンカや鳴き声がなくなり、最終的に野良猫が減少し、生活環境が改善されることから効果があるものと考えております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	
124	部門別計画 第4章第3節 2 自然環境	<p>第4章快適で環境にやさしいまちづくり 第3節環境との共生・保全 2 自然環境</p> <p>再生可能エネルギーの推進として公共の施設の上に太陽光パネルを乗せるのはいいが、管理は市の職員が行うべき。災害時を考えれば太陽光温水器を市の福祉施設につける方が再生可能エネルギー回収効率が良い。</p>	<p>いただいたご意見は、自然環境に係る施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>	
125	部門別計画 第4章第3節 2 自然環境	<p>公用車を電気自動車にして、市役所、各支所に1台ずつ配置すれば災害時に避難所にて使えるのではないか。 またガソリンスタンド協力してもらい市内でも充電スタンドを増やして見てはどうか。</p>	<p>いただいたご意見は、自然環境に係る施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>	
126	部門別計画 第4章第3節 2 自然環境	<p>環境との共生・保全</p> <p>ゼロカーボンシティの宣言をしたので、その実現について記述すべきです。指標についてもそれを見据えた数値とすべきです。</p> <p>現況の目標値は小さすぎると思いますので、バックキャストで決定すべきです。なぜこの排出CO2量の目標値としたかの説明を求めます。</p>	<p>第4章 快適で環境にやさしいまちづくり 第3節 環境との共生・保全 2 自然環境 基本方針の冒頭部分に以下の内容を追記します。また、指標の「市が事業所として排出しているCO2量(市民等が排出するごみに起因するものを除く)」を以下のとおり修正します。</p> <p>○基本方針 「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言した本市においては、」 ○指標 市の事務事業による温室効果ガス排出量 現況値 51,746t-CO2/年 目標値(令和6年度末) 49,159t-CO2/年</p>	○
127	部門別計画 第4章第3節 2 自然環境	<p>自然環境</p> <p>八千代市はゼロカーボンシティ宣言したのだから、2050年までに何をいつまでに実行するかを入れるべきです。</p>	<p>現段階では、スケジュールは定まっておりません。今後検討してまいります。</p>	
128	部門別計画 第4章第3節 2 自然環境	<p>施策として自治体新電力立上げ、エコスクールへの取組み、公共施設の屋根貸し、RE100(再生可能エネルギー100%)への取組み等を掲げていくことを提案します。また、市庁舎はじめ公共施設の対応が大きな課題になっていると思いますが、今後の公共施設のZEB化についても施策として掲げていくべきと考えます。</p>	<p>現在策定中の「八千代市第3次環境保全計画」の中で検討してまいります。</p>	
129	部門別計画 第4章第3節 2 自然環境	<p>ゼロカーボンシティを実現する。プロジェクト組織をたち上げ、全国に遅れをとらない八千代市にしてほしい。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	
130	部門別計画 第4章第4節 1 一般廃棄物	<p>資源循環型社会</p> <p>ごみ焼却施設で発電すれば、再生可能エネルギーになります。循環型社会、ゼロカーボンシティを目指すのであれば、計画に入れるべきですのでぜひ再検討願います。</p>	<p>現在策定中の「八千代市第3次環境保全計画」の中で検討してまいります。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
131	部門別計画 第5章(全般)	第5章「産業が元気なまちづくり」についてですが、この項にあらたな歳入確保策の取組みが十分でないように感じます。これらの点については、市内にある人材・資源・施設等をこれまで以上に最大限に活用した「地産地消」のプロジェクト「地域資源・公有資産活用」「市民協働」「民間活用」の取組みだと考えます。「市民の市内における起業・創業の推進」「地産地消の自然エネルギー事業の創出・推進」「新川エリアマネジメントや地域資源を活用した観光事業の推進」など、新たな税収や歳入創出に繋がる産業・経済・財政政策の軸にできると考えます。検討ください。	人口減少や少子高齢化の進行により、産業を取り巻く環境は厳しく、後継者問題などの多くの課題が挙げられていることから、問題解決のために新たな計画の策定に取り組む必要があると考えています。地産地消、地域資源の活用についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。	
132	部門別計画 第5章第1節 1 農業振興	認定農業者数の定義(誰がどのような考え方で認定するか等)を記載して下さい。	注釈として用語説明を記載するようにいたします。	
133	部門別計画 第5章第1節 1 農業振興	第5章産業が元気なまちづくり 第1節農業 1 農業振興 新規就農者は農業法人の一従業員としてきちんとした給料で募集するか大規模農業を継ぐ人がいないだけのすべてがそろっている場合のところに連れてくる労働者というのならまだ生き残る可能性はありますが、旧態依然のような儲からないけどと経営よろしく!!的なやり方では新規就農者はやってこないでしょう。借金を返すのに半生を使いますよ。大規模農家に耕作放棄地を集約して頑張っていくてもらうやり方が一番効率がいいですし現実的です。	高齢化や農業人口減少に伴い、担い手不足が進行するため、新規就農者の確保・育成は必要な施策であることから、新規就農者の確保・育成に取り組んで参りたいと考えております。 また、担い手の農地確保の意向を把握するとともに、貸与を希望する農地の掘り起こしに取り組み、担い手の効率的な経営拡大を支援し、農地の集約化に取り組んでまいりたいと考えております。	
134	部門別計画 第5章第1節 1 農業振興	農業振興 第4次計画でもほとんどが目標未達の状況です。現状案の踏襲では目標未達となります。新たな視点での取組みが重要ではないかと考えます。 農家所得を上げるため、ゼロカーボンシティを目指すための両面から荒廃農地に営農型太陽光発電設置の推進等の施策が必要であり有効と考えます。ぜひ再検討願います。	第5次総合計画に基づいた計画として、現在八千代市第2次農業振興計画を策定中であり、同計画を策定、実行していくことにより、目標の達成に努めたいと考えております。 営農型太陽光発電の推進につきましては、関係部署と連携を図り、近隣市の導入の状況も確認しながら、本市の農業振興に適しているか否か、検討してまいりたいと考えます。	
135	部門別計画 第5章第1節 1 農業振興	「農業」についてですが、「ソーラーシェアリング」の取組みは、耕作放棄地活用はじめ、農業振興になるとともに、「ゼロカーボンシティ」「RE100」などにもつながっていきます。施策として検討ください。	営農型太陽光発電の推進につきましては、関係部署と連携を図り、近隣市の導入の状況も確認しながら、本市の農業振興に適しているか否か、検討してまいりたいと考えます。	
136	部門別計画 第5章第2節 1 商業	小売業の年間商品販売額が現況値と目標値が165,995百万円となっているが、人口が増加するにもかかわらず市として発展しないことにならないか、考え方があれば記載をして頂きたい。 又、第4次のP189では目標値(平成32年度末=令和2年度末)では、139,082百万円となっており、約20%UPしている。	少子高齢化の進行により産業を取り巻く環境は厳しい状況であることを考慮して、最新の統計値を現状維持とした目標値を設定しています。	
137	部門別計画 第5章第2節 1 商業	第5章産業が元気なまちづくり 第2節商工業 街づくり 八千代カレーややちパン企画や蕎麦企画はわからなくはないですが、ターゲットはどの層か?価格帯は?八千代市のこういったパンや蕎麦やカレー企画は何をまずしたいのか?目標を明確にしてはどうですか?単に話題性と八千代を知るきっかけ、お店を知るきっかけ程度のキャッチーな目的ではそこに本物の味がなければ持続可能ではないです。八千代市の味と言ったらこれ!!というくらいのヒット商品があれば八千代市のいい宣伝になるでしょう。 ①どんな層にターゲットを絞って販売するのか? ②売れるストーリーを絵描きましょう。 ③そしてチープでもいいのでとにかくおいしいか独自のまねできない癖になる味とか本物のおいしさをまず用意すること。 ④ターゲットにあった価格帯にすること 八千代市の部活動をしている人から将来五輪で金とか世界選手権で優勝など世界的プレーヤーがどこかのスポーツで出て不思議ではありません。誰もがおいしいという味を何年もかけて高校生とプロがコラボし1作品を仕上げていくという息の長い商品開発をして本物のおいしきでまずは八千代市の味と言ったらこれ!!というくらいの市民だれもが愛せる商品を作るべきでしょう。その後八千代市から何年かかるかわかりませんが世界的選手が出ればその人が発言してもらえればその時が一気にブレイクする瞬間でしょう。これが売れるストーリーです。	やちパンプロジェクト等につきましては、市内の飲食店を中心に本市への関心を深めていただく良い機会ともなっているほか、毎年これらのイベントを幅広く周知し、継続的に実施することで、市内外から訪れるファンの方が増加している状況を考慮いたしますと新たな関係人口の創出にも寄与しているものと考えております。売れるストーリー等に関するご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	
138	部門別計画 第5章第2節 1 商業	パンコラボは八千代市の農産物を使うまではいいですが、ここに歴史を混ぜてみてはどうでしょうか?歴史に裏付けされればそれは近隣市には絶対真似できない付加価値がつけます。八千代市の伝統料理を取り入れるなどこの街にしかないという誇りがもてる商品なら愛着は沸きやすいのでは?	歴史に裏付けされた商品開発に関するご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
139	部門別計画 第5章第2節 2 工業	1事業所当たりの年間出荷高現況値=1,907百万円と目標値(令和6年度末)=1,926百万円からほとんど伸びていない、一方、第4次のP190では現況値=1,284百万円と目標値(平成32年度末)=1,296百万円から第4次の目標値=第5次の現況値となるのではないかと、毎年出荷高がそれなりにUPになっているのではないかと、考え方があれば、記載をして頂きたい。	当該指標における目標値は、最新の統計値に対し、前計画同様の1%増を目標値にしています。	
140	部門別計画 第5章第3節 1 就業・雇用	<p>第5章産業が元気なまちづくり 第3節 労働環境 1就業・雇用について 子育て対策、お年寄り対策とそこまではいいのですが、最近話題になった40歳以上のニートが60万人以上いるという問題です。八千代市にもいるでしょう。フリーターの数はおそらくニートの数倍はいるでしょう。いずれにしてもこのままニートが増え続ければ将来生活保護費の申請が山のようにでて財政に直撃します。こうしたニートやフリーターの再就職、就職訓練対策をすべきかと思えます。八千代市はハローワークに行ってくださいといいますが、そんなものはとっくにやっていますし、ネットで転職サイトに何社も登録し探しています。それでもなかなか40歳すぎたらみつからないのです。そのあたりをもう少し考えてみたらいかがでしょうか？</p> <p>中高年は体力も落ちてきています。しかし独り身もしくは子供が巣立った年代はそんなにガンガン稼ぐ必要は少ないです。なので給料こそそこでのいいので職業訓練したらつづける仕事を創出してもらいたいです。勿論将来のキャリアを描ける道</p> <p>現在個人情報保護法の観点上前の会社に本人確認やそれに付随する確認行為は禁止されているはずですが。本来は会社の人事はいたがいないかすら言うてはいけないのですが、この法律に罰則がないが為に今も違法行為は野放し状態になっています。聞いてもいけないし、答えてもいけないはずですが、それで次の会社には悪評を流す人事もいるので前職の経験がつかえなくなり、結果一からはじめなきゃいけない中高年が増加し、結果ニートや生活保護者につながり、国や市の財政を圧迫します。この個人情報保護法で人事は前の会社に情報を聞いてはいけない、もしくは前の会社の人事は答えてはいけないという部分に何かしらの罰則を設けるべきでしょう。国がやらないなら市が条例を課してみたらどうでしょうか？</p> <p>市内の会社にそれを課すだけでも市内のニートが前の会社の人事におびえることなく経験や職歴が使い、また市内の転職者が安心して転職できるのではないのでしょうか？結果、市内のニートで生活保護をうけていた人間が働きにでて財政はマイナスからむしろ納税的にはプラスになると思います。市内に居をかまえていたら引っ越すのは面倒ですので市内から近隣市等に通える範囲の仕事を探すはずですが。逆に引っ越すのが面倒だからずっとニートになっても生活保護をうけても引っ越さないとなり、八千代市の社会保障費は増えるという訳です。個人情報保護法への罰則条例の制定や、企業への成年以上の雇用年齢制限の禁止という条例(これは労働基準法関連ですが)を定めるだけでもこの社会問題は大きく変わってきます。八千代市が先例となって動けば他の近隣市も動くかと思えます。何故なら八千代市は「住み続けたい街八千代」を掲げているのですから。何も住みやすいのは子育て世代やお年寄り世代だけではないかと思えますし、この2つの世代への施策は近隣他市でも散々やりつくして税金のバラマキ合戦と化しています。それでは近隣他市にまいたつて子育て世代引き抜き合戦には勝てません。事実どの市も膠着状態かと思えます。そこで八千代市は40歳以上のニート対策、もしくはニートまでとはいかないがなかなか仕事にありつけない中高年が仕事にありつけるように対策をいち早くしたならば市として脚光をあびるかもしれません。住みやすい街は中高年やニートにもあてはまります。ニートにするなら転職をやすくして納税額をむしろ増やす対策。たかが条例の制定ですがこれを制定するだけでもかなり違うかと思えます。近隣他市を出し抜けます。(一時期ですが)子育て施策のように税金のバラマキ合戦ではなく、知能を使ったお金のかからなくかつ社会問題を解決していく市として近隣他市にもリーダーシップを取り近隣他市にも広めたらどうでしょうか？何事も一番最初にやった街というのは後世まで語り継がれますしいイメージがずっと付きまといまいます。近隣他市も個人情報への罰則条例を制定すれば八千代市から近隣他市への会社への転職もしやすくなります。何故なら過去を暴かれずにそのまま過去の職歴が使えますから。八千代市近郊に動められれば八千代市にいるニートは引っ越さないかと思えますよ。急がば回れです。その結果住民税などは八千代市のままと。</p>	<p>青少年の雇用の促進等に関する法律に基づき、厚生労働省所管の地域若者サポートステーション事業を、県と市の協働で実施しています。就職氷河期世代(2020年現在で概ね35歳から49歳)の無業者を含む若年無業者を支援することは自立の可能性を広げるだけでなく、将来生活保護等に陥るリスクを未然に防止し、地域社会の支え手とするとともに、我が国の産業の担い手を育てることにつながりますので、引き続き取組を継続してまいります。</p>	
141	部門別計画 第5章第3節 1 就業・雇用	<p>八千代市にある企業なら八千代市民の中高年を優先する求人を出してはどうでしょうか。確実に八千代市民なのでから住民税は入ります。転出の大きな理由は転職就職でというのが大半を占めます。あとは女性の場合結婚。なので八千代市にいさせるためには八千代市に就職、八千代市民と結婚してもらおうのが理想では?と思えます。このままニートが増え続けたら将来的には生活保護費という市の財政負担が莫大なものになっていきます。ならば人手不足解消策としても再雇用、職業訓練を今から考えればいいのでは?と思えます。人手不足と嘆く前にまだまだ使え余っている人材はいまいます。外国人を呼んでくる前に日本人の活用を今一度考えていただきたいです。なのでリーディングプロジェクトにProject8としてお一人様(独身者)対策、無職の中高年の雇用、社会的孤立対策を掲げてもらいたいです。</p> <p>それか第6章産業活力都市をめざしての労働環境に入れてもらえませんか?この「産業活力都市をめざして」の事業費が少なすぎかと思えますよ。何故一番働いて税金を納める人間が冷遇されているのか?よくわかりません。</p> <p>以前に失業者対策は何をしているのか?と聞くハローワークに行ってもらってます。との話。それは何にもしていないのと同じではないかと思いました。年に何度かある近隣他市で行われる合同説明会のお知らせのチラシを置く。と、まあ普通の人ではまず気が付かないような対策で、これだけ40歳以上のニート問題があるのにこれだけとはびっくりです。対策が薄すぎです。この問題をほおっておくと生活保護受給者が増えるかと思えますが。。失業者として放置して生活保護費をかけるのと、社会復帰をする教育訓練なり、条例の設置等で働いて稼いでもらい市に納税してもらうのではマイナスとプラスで全く費用対効果が違います。子育て対策やお年寄り対策などにかけるお金も結局は納税が無くてはできません。ならなんでももう少しニート対策や中高年対策をしないのでしょうか?この市はその辺りの問題の深刻さ重要度さへの認識が低すぎます。</p> <p>中高年の雇用対策は税金を稼げる対策です。他のリーディングプロジェクトでこれだけ税金が稼げ費用対効果がある施策はないかと思えますが。。</p>	<p>主に「中高年」や「子育て中の女性」の再就職の促進及び就職後の定着を図るため、国及び県と連携して生活就労相談から職業相談、職業紹介等、再就職に向けて、就職支援セミナー等のさまざまな支援を行っています。ご意見のありました無職の中高年が社会的に孤立しないよう、引き続き取組を行ってまいります。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
142	部門別計画 第5章第3節 1 就業・雇用	<p>市は失業者対策をすといつた事は直接はないとい、だからやらないの話。意識レベルはおそらく近隣他市や全国的にも平均的なことかもしれません。その意識の低さ失業者、ロスジェネ世代への態度が結果現在の就職氷河期対策の遅れやひきこもりの増大による生活保護費の将来的な増大へつながっており、社会問題化を助長しております。一度大きな視点からも失業者対策や就職氷河期対策をしてみたいかでしょうか？地域の対応の鈍さが一つ一つ積み重なってこの社会問題化だと思えます。</p> <p>上記の対応策として市庁舎建替えにて現在の新館がまだ利用方法が決まっていないことからこの新館を活用する事を切に願います。</p> <p>新たに失業者対策、就職氷河期対策係科課を創設し、対策用の部署を立ち上げること。そして新館の1階にはシングルマザーなどに対応したマザーズハローワークを誘致して使用する。</p> <p>2Fは空けとして新市庁舎建設後既存のハローワークが使用、3Fからは引きこもり対策をしているNPOやシングルマザーの悩み聞きや就職推進しているNPO、就職氷河期世代の相談にのっているNPOなど単に失業者といっても多種多様なのできめ細かい対応の為色々なNPOを誘致してきてその部屋なりブース提供してみたらどうでしょうか？</p> <p>また生活保護の仕方すらわからない失業者や残金がほとんどない方、明日の飯もままならない人への食事の無償提供をしている大人食堂の誘致、また市内外の中小企業にどのような人材なら雇うかをヒアリングしてより実践的な就職につながるプログラムや資格の勉強講座を民間に委託して開いてもらうなど民間にも開放してみたいかでしょうか？</p> <p>佐倉市の佐倉ミレニアムセンターでは職業相談室の同フロアに毎日のように会社説明会用の部屋が用意されており、説明会がおこなわれています。こうした説明会用の部屋を提供する。</p> <p>また失業者同士が情報交換ができるフロア、カフェルームみたいなのがあってもいいかと思えます。それは直接話をしなくても掲示板にこの業界はどうだったとかあそこの会社はブラック企業だったとか情報を紙に書いて貼っただけでも助かります。業界毎に別けて。</p> <p>市庁舎建て替えが予定通りなら新館ではなくて教育委員会の跡地とか、上下水道事務局跡とかの箱物を借りてやるのでもいいかも知れません。土地は売っぱらったら取り戻すのに当時の何倍もかかります。なら無駄にならないように長寿命化再利用してみたいかでしょうか？</p>	<p>青少年の雇用の促進等に関する法律に基づき、厚生労働省所管の地域若者サポートステーション事業を、県と市の協働で実施しています。就職氷河期世代(2020年現在で概ね35歳から49歳)の無業者を含む若年無業者の支援することは自立の可能性を広げるだけでなく、将来生活保護等に陥るリスクを未然に防止し、地域社会の支え手とするともに、我が国の産業の担い手を育てることにもつながりますので、引き続き取組を継続してまいります。</p> <p>いただきましたご意見のうち、まだ利用が決まっていない市庁舎「新館」というのは、市庁舎「別館」のことを指していると思えます。市役所庁舎整備に伴う別館及び教育委員会庁舎の活用方法については、現在、公共施設再配置等検討部会において検討を進めているところであり、今後、検討を進めていく際の貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>なお、現上下水道局庁舎については耐震性能が不足していることから解体し、跡地の活用について、新庁舎建設等基本設計では、来庁者用駐車場及び、公用駐車場として整備する計画としております。</p>	
143	部門別計画 第5章第3節 1 就業・雇用	<p>八千代市は市独自で失業者の支援事業はしないのでしょうか？民間の専門学校に委託でもいいのではないのでしょうか？それは職業訓練校がやっているといいたそうですが、あれは失業保険が切れている人はまずうけませんし、お金もかかるのでつける資格がありますが、実際は授業料も払えないのでいけません。なのでハローワークや関連機関ばかりに丸投げしている今の八千代市のやり方ではだめだということです。</p>	<p>主に「中高年」や「子育て中の女性」の再就職の促進及び就職後の定着を図るため、国及び県と連携して生活就労相談から職業相談、職業紹介等、再就職に向けて、就職支援セミナー等のさまざまな支援を行っています。今後も引き続き、国及び県と協働で取り組みを行ってまいります。</p>	
144	部門別計画 第5章第3節 1 就業・雇用	<p>統合失調症(誤判断でも)の方は手厚くお金が出て支援を受け、失業者は受けられない。なんか変だと思えます。誤判断の場合ただの失業者ですからね。それがわかって就職継続支援A型事業をうけている統合失調症もどきの普通の健常者もたくさんいますよ？そういう抜け道みたいなのお金を税金を払うのはなんか違います。仮にほんとに統合失調症でも知的障害者と一緒に授業でほんとに社会にでる技術が身につくのでしょうか？ひどい事業所だこのほぼ治った統合失調症の人にPCスキルなどがある場合講師として授業を代わりにさせるという詐欺まがいなことをしている事業所もあります。ここまでするとひどいものです。表ではそれは社会復帰にむけて授業をもらうことで治療になるとか何とかいうのですが、もはやそれはその事業所が手抜きでただの人と分かっておきながら使って自分らが楽しんでお金を稼ぐという話です。こうした事業所には税金は出すべきではないです。だから尚更就職継続支援A型事業所はその人の症状にあわせて3つにわけるか統合失調症の治りかけの人は新たに普通の失業者と同じところで転職できるスキルを身につけられる支援をうけられるようにすべきです。残念ながら今、八千代市にはその普通の失業者が転職できるスキルを身につけられる支援所はないということです。なんでもハローワークや職業訓練校に丸投げしすぎです。職業訓練校自体プログラムは10年15年変わらないものが多く、そこ出身では到底転職できないという現実もあります。国の施策自体が間違っているのです。なので最近の職業訓練校の一つに民間の専門学校に委託する方法もあります。ただ残念ながらいくらスキルや資格を取っても経験がないという理由で会社に入らないパターンが多く、(特に女性の事務職など)企業側がきちんとしたスキルチェックや、お試期間にてその人の力量を見極めるインターン制度なども受けられない限り職業訓練校に行っても駄目でしょう。</p> <p>八千代市内のも沢山企業があるのですから商工会議所などがかけあい、インターンシップやお試し採用など経験がなくてもとりあえず様子見ができる制度をすすめてみたらどうでしょうか？</p>	<p>就労継続支援A型事業の利用者及びA型事業所の運営についてのご意見は、今後の事業運営の参考とさせていただきます。</p> <p>また、昨年度、厚生労働省千葉労働局が実施している若年者地域連携事業において、インターンシップマッチングフェアを共催しており、八千代商工会議所及び佐倉市も後援という形で連携しております。今後も引き続き、求職者と企業との出会いの場を提供してまいります。</p>	
145	計画の推進 1 市民にわかりやすいまちづくりの推進	<p>阿蘇地区の中小一貫校問題で誰が正しいことを言っているのか？議会傍聴だけではわかりません。住民投票条例が八千代市にもあれば、白黒はつきりしてわかりやすい透明性のある市民の意見が反映した政治になるのでは？と思いました。</p> <p>市民意識調査では市政に対して透明性がない、信用ならず、意見の反映がされてないとの意見が多くありました。これを解決する手法の一つとして住民投票条例の設置を望みます。(第5次総合計画前期基本計画案のP138の市民ニーズの的確な把握と市政への反映への意見)</p>	<p>地方自治制度の根幹は代表民主制であり、住民の意思の反映手段として、住民の直接選挙を通じて選ばれた長や議会が中心的な役割を果たすことを前提としており、住民投票は住民がその意思を直接表明する代表民主制の補完的な制度となります。行政への住民参加の機会を拡大や住民意思の反映については、住民投票制度を含め、様々な面から検討していく必要があると考えます。</p>	
146	計画の推進 1 市民にわかりやすいまちづくりの推進	<p>市民参加のあり方についてご意見させていただきます。</p> <p>市民参加に関して米国アーンスタイン女史や千葉商科大学学長 原科幸彦氏(執筆時は東京工業大学 教授)が市民参加の梯子を提唱しています。</p> <p>原科氏は行政の責任はレベル④(相談)意味ある応答までと言っております。(最終的な意思決定は行政が行う)八千代市の場合はレベル③(情報提供)形だけの応答までです。</p> <p>レベル④(相談)が達成できるように住民に対して必要な情報提供を心掛けて欲しいと思えます。</p>	<p>より多くの市民に対して必要な情報の提供ができるよう、新しい市民参画制度の創設も含めて、検討してまいります。</p>	○

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
147	計画の推進 1 市民にわかりやすいまちづくりの推進	「市民にわかりやすいまちづくりの推進」 どの様に考え、どのように推進していけば良いかのわかり易い条例が必要です。例えば、千葉市が作成している「千葉市市民自治によるまちづくり条例」と類似の条例を作成するとわかり易くなります。	本市におきましては、平成14年に「自治基本条例」策定に向けて骨子案を策定し、パブリックコメントにて市民、議会及び職員の意見等を収集し、庁内に条例案の検討委員会を設置する予定でしたが、市民等からの意見が少なかったことを受け、中断している状況です。自治基本条例については、その必要性について改めて考えてまいります。	
148	計画の推進 1 市民にわかりやすいまちづくりの推進	「第5章 計画の推進のために」に関連する意見 地域コミュニティ推進計画が廃止となりました。この計画の中の施策はこの「第5次基本構想・基本計画」の中で主に引き継がれるはずになっていますが、地域コミュニティ推進計画の中にあつた「地域担当職員配置」「地域コミュニティ醸成」「まちづくり市民会議」「自治基本条例策定」など特徴的な取組みがいずれも計画には掲載されていません。これらをきちんと明記してください。	平成23年策定の「八千代市地域コミュニティ推進計画」に明記されていたいくつかの特徴的な取組みにつきましては、同計画を終了するに当たり、今後はコミュニティ活動を推進していく中で地域担当職員制度を事業として、検討・創設していければと考えております。	○
149	計画の推進 3 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信	シティープロモーションに入ると思いますが「やっち」というキャラクターについて 結論としてやっちは佐倉市のカムロちゃん同様引退し、二代目八千代市キャラクターを公募する。どうしても嫌ならその設定を変える!! イメージキャラクター「やっち」ですが設定は「なんだかよくわからない動物」ですが、これは八千代市が「なんだかよくわからない街やちよ」といっているのと同じです。これでいいのでしょうか？八千代市民はこれを知らずに騒いでいる人が大半なのは？これが未来永劫続くのでしょうか？あまりにも八千代市の特産物や歴史に一つも絡んでいないので観光には使えません。思い入れの仕様がなです。何かしらの特産物なり歴史上の人物伝説、八千代びななどの伝統工芸品などに絡んでいけば商工会議所などは観光なり特産物なりと絡めて売り出せますが、これではあまりにも何にも絡んでいないので売りようがないです、とある農家の方々が以前怒っていたのも思い出されます。にんじんり梨なりバラなり何かしら売り物に絡むキャラクターにしてくれたら売りようもあるのに、これではなんの売りようもない!!と怒っていました。このキャラクターは本当に市民の意見を聞いたのでしょうか？もう一度キャラクターコンテストをして2代目八千代市イメージキャラクターを決めてはどうでしょうか？ 第二回目の公募をすればいいだけの話かと思えますよ。市からの回答としては公募できたものだから。の一点張り。たった一度の公募で決まったら未来永劫今後何十年もこのキャラは変えてはいけないのでしょうか？その考え方が八千代市は何の町？という根本を考える思考をストップさせているかと思えます。 今のままでは思い入れようがありません。八千代市に思い入れができるキャラを選ぶべきでしょう。成田市のうなりくんのように飛行機+うなぎという売りにしたいものをキャラクターに混ぜるのが必須でしょう。 うなり君の場合飛行機=成田空港ウナギ=特産物千手札=新勝寺	市イメージキャラクター「やっち」につきましては、平成24年に市制施行45周年記念事業の一環で、市民公募及び市民投票により決定したキャラクターであります。これまでの8年間で多くの市民や市内企業・団体等に浸透してきた馴染みあるキャラクターであると考えております。このキャラクターを引き続き活用し、シティープロモーションを推進する取組の研究・検討をしてまいります。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
150	計画の推進 3 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信	<p>やっち利権があり、一部の方々の自己満足の為にやっちを存続させていくのはいささか疑問があります。どうしても残したいのならせめてやっちの設定を変えてみたいかがでしょうか？</p> <p>八千代市には伝統工芸ですすきの穂でみみずくの人形を作ったものがあります。このみみずくの人形は外見は色こそ違えどやっちそっくりです。この人形は江戸時代くらいに貧乏な親子がいて親が病気で働けない代わりに子供がこの人形を作って売って親の薬代にあてたという歴史的言い伝えの元現在に伝わる伝統工芸です。これをやっちの設定とすれば、やっちは歴史と伝統工芸の町八千代となり、市民の八千代市への興味、歴史への関心呼び起こし、郷土に誇りをもてるキャラクターになるのではないのでしょうか？</p> <p>ちなみにみみずくは浮世絵の魔除け(疱瘡絵)の絵柄として書かれました。当時流行っていた疱瘡今ではコロナですが、これの魔除けキャラがみみずくです。</p>	<p>市イメージキャラクター「やっち」につきましては、平成24年に市制施行45周年記念事業の一環で、市民公募及び市民投票により決定したキャラクターであります。このキャラクターを引き続き活用し、シティプロモーションを推進する取組の研究・検討をしてまいります。</p> <p>また、八千代市の伝統工芸につきましても、市の魅力として発信してまいります。</p>	
151	計画の推進 3 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信	<p>八千代市在住の外国籍に関する住民は、6000人を超えて人口の3%を占める状況になっていると思います。</p> <p>しかしながら、人口統計では国籍別、年齢別、地域別など居住状況を公表もしておらず、この総合計画でも実態を把握したうえで、問題確認、地域住民との共生状況、八千代市における産業への貢献性などの現状把握もされないまま、単に村上団地に設置した多文化交流センター活動の維持を表明しているのみです。</p> <p>日本人の国際理解教育についても、単に関心があるかどうかなどの意識調査のみで、日本語教室の活動についてもボランティア活動に依存しているだけとしかみえない行政の現状について、どのように認識しているかも全く分かりません。</p> <p>外国籍に関する住民の増えたことに伴い、その家族である児童・生徒は増加していると想像しますが、将来貴重な人材となる子供たちへの教育体制は十分なのか、不安が大きいです。</p> <p>総合的に、もっと具体的に現状分析、認識をすることともに、関係する省庁、民間団体との協議を重ねたうえで、総合計画に明確な目標を共有し、年次ごとにその進捗状況を確認できるものにするを強く望みます。</p>	<p>本市の外国人住民の現状や課題、日本人の国際理解教育、外国人の子どものための教育支援等、外国人住民に関することは、重要な課題として認識しており、令和3年3月末に策定予定である次期多文化共生プランに基づき、施策を推進してまいります。</p>	
152	計画の推進 3 多様性のあるまちづくりの推進	「多様性のあるまちづくりの推進」にパートナーシップ条例等の策定は必要ではないでしょうか。検討ください。	現在、策定中の「第2次やちよ男女共同参画プラン」において、調査・研究に関する取組を予定しております。	
153	計画の推進 4 持続可能な行政経営の確立	指標の公債費負担比率、財政調整基金残高、市債残高についての改善策(一助としての市消費税徴収率を改善無し)の考え方は是非、入れて頂きたい。大型工事(市庁舎建替え及びごみ焼却センターの大規模修繕等)との関連性(何も策を施さなければ財政はさらに悪化する)も含む。但し、発生しては困る大規模災害発生時にはその対応が優先される。	「八千代市財政運営の基本的計画」及び「八千代市行政改革ビジョンアクションプラン」において、経費節減の徹底、将来負担の適正管理、財政調整基金等の適正管理を目標達成に向けた取組みとして掲げており、それと連携を図りながら、指標の改善を図ってまいりたいと考えております。	
154	計画の推進 4 持続可能な行政経営の確立	4.持続可能な行政経営の確立 公共施設等の一体的なマネジメントの推進についてですが、先ず旧屋外プールの解体はいつになったらやるのでしょうか？解体費用がいつたりまた消えたりといったどうなっているのでしょうか？八千代市がもし床面積削減を唱えるのならこうしたプール跡を真っ先に有効活用するか売っぱらうかの方針を出しているのでは？旧屋外プールも結構な面積ですよね？それはいつまでもやらずに他の施設はどんどん統廃合。なんか違うような気もしますが、面積削減論はあくまでも目安であります。あくまでもいかに安く有効活用するか？再利用するか？このプール跡地の再利用もいくつかの会議で出ていますね？フットサル会場にしるか駐車場にしるか、駐車場にしてそれこそお金取ったらどうですか？市民体育館利用者専用として。あまりに利用率が悪い場合は2時間まで無料にしてみるとか固定費のかからない運用方法はいくつかあります。あの場所はそもそも地盤が悪かった為にプールにひびが入り使用ができなくなっていったという経緯を考えるとフットサルやテニスコートにすると同じくひび割れが考えられ、維持費がかかるかと思えます。立派な駐車場でなくていいので砂利でも敷いて活用する方法もあるかと思えます。今のままだけでも放置しているのは得策ではないです。よね。	<p>旧市民プールの解体につきましては、安全面や防犯面、公共施設の有効活用という観点からも早期の実施が望ましいところですが、多額の解体費用が想定されることから、予算計上に至っておりません。</p> <p>なお、旧市民プールの跡地活用につきましては、老朽化が進む市民体育館の対応と合わせ、現在検討を進めているところでございます。</p>	
155	計画の推進 4 持続可能な行政経営の確立	野球場の前の駐車場ですがここも2～3時間までは無料としてあとは有料とするのも手ではありません。市民意識調査やワークショップには無料の駐車場を望む声も少なく、将来の年金受給者の年金は今のお年寄りよりも少ないのであるべくお金がかからず市民団体や運動、活動ができるようにしないと社会参加率が下がり、不健康になり結果市の医療費や介護費が増大するかと思います。	八千代総合運動公園駐車場の有料化につきましては、無料時間の設定についても検討項目の一つとしており、貴重なご意見として参考にさせていただきます。	
156	計画の推進 4 持続可能な行政経営の確立	<p>市民野球場についてですがこの問題点はまず耐震構造の問題。東日本大震災でひびが入り修繕はしたが信用は得られず千葉県高校野球の予選会場から外された経緯があります。</p> <p>二つ目に使用方法の範囲が狭いこと。野球関連しか市の条例で使用できないこと。その為季節により利用率が悪くなるという事。この野球場をもう少し儲ける仕組みに変えないと維持管理費等のお金だけがかさみます。野球の方が優先として、他に開いているのなら野球以外の使用方法も市条例を改定して許可してみたらどうでしょうか？昔花火大会の機敷席という案もありましたが、要はそのような他の使い方です。大みそかにプロジェクションマッピング等を使った年越し音楽祭や円形を利用したオペラ、演劇、ロックコンサート、それこそ八千代市が誇る鼓組のライブや、今八千代市が力を入れ始めているフィルムコミッションの撮影の場として提供など野球にとらわれなければいくらでもあります。まあ普段はあくまでも野球をする人が優先ですが。</p>	<p>市民球場の野球以外の使用方法につきましては、この施設が住宅地と隣接していることもあり、コンサート等の大きな音の出るイベントの開催は難しいと考えますが、その他の可能な利用方法につきまして、いただいたご意見を参考とし、今後検討してまいります。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
157	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	<p>少年自然の家ですがここは結論から言うと廃止でいいかと思います。千葉県内でもこのような教育をしている市は数市しかなく、ほんとにその効果があるかも疑問です。現在は市内の小中学生が畑を耕す授業もしているところもある話なのでそういう授業を全市内の小中学校がやればそれぞれそ八千代市の自然を身をもって感じられるのではないのでしょうか？</p> <p>そもそもたった1泊2日でたくましい精神を学べるというコンセプトには無理があるかと思います。ただ、八千代市の自然を学ぶ機会はいくらでも必要なので、提案として自然の家の展示物を道の駅か農業交流センターに持っていき展示するとか交流センターなら使われてないブースがあるのでそこに展示して自然を学ぶ講座なども交流センターの会議室なりで開いたらどうでしょうか？もしくは道の駅が老朽化で立て直すとか補強の話がありますので道の駅をリニューアルする際に自然の家の展示物を並べるコーナーや講座が開ける小ホールか会議室を増築して自然の家の機能を一部移して複合化施設にしてみたらどうでしょうか？</p>	<p>「少年自然の家」の今後については、保護者等に説明しご意見を伺うことが大切であり、その上で最終判断を行いたいと考えております。</p> <p>なお、体験活動については、教科と関連付けながら充実してまいりたいと考えております。</p>	
158	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	<p>これからの時代は複合施設の時代です。単独目的の為にだけ建てている箱物は地方に行けば行くほどありません。みな財政難で複合化が進んでいます。単独使用は昭和の遺物でしょう。公共施設の統廃合はどんどん進めるべきでしょう。しかしそこにあった文化的なものまで一色単に消してしまうのは考え物かと思えます。それを引き継いで複合化をはかるのが理想です。</p> <p>少年自然の家を16億円も出して耐震改修して残すだけの価値があるのでしょうか？おしゃれな宿泊施設や珍しい形のテントでの宿泊と他市の事例を見ているがそれはガキ大将でも珍しい形のテントはやっていましたよね？で、そんなに繁盛したのでしょうか？という話です。文化施設は確かに元を取る事業だけではありません。しかし商売を入れてうまくいけばいいですが失敬して毎年赤字垂れ流しの負の遺産にならなさいいいですが、以前あったグリーンピアのようにならなさいいいですが。。イメージは星野リゾートでも実際はグリーンピアではシャレになりません。星野リゾートと新川のほとりの古い建物と一緒にイメージでくくるのは正直痛いですが。</p> <p>また一般人の宿泊となると肝心かめな小学生の受け入れのための事前打ち合わせなどの時間が削られて安全面などの確保が難しくなるのではないのでしょうか？今でも職員は相当入念な打ち合わせをしているとの話です。その苦勞や大変さをよくわからず宿泊商売までしてやっていきますか？子供たちの安全はないかしろになりませんか？ロケーションは全国のリゾート地と違い格段に悪いですよ？勝算はあるのでしょうか？この財政難に赤字垂れ流し事業は許されませんか？</p> <p>また儲ける少年自然家というのは他の県で少年自然の家を廃止した後、リゾートコテージとして利用したパターンでもあり、それは少年自然の家が一旦廃止しないとできず、かつその他県の例はロケーションも八千代市とははるかに違い、何故そこを保品地区の自然を比べるのか？と思うくらいです。</p> <p>また年間2〜3千万の収益と言っていましたか？それくらいでは人件費維持管理費にもならないかと思えます。ほぼ人件費で消える可能性が高く、16億もの回収は半分もできないでしょう。</p>	<p>「少年自然の家」の今後については、保護者等に説明しご意見を伺うことが大切であり、その上で最終判断を行いたいと考えております。</p>	
159	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	<p>少年自然の家を単品の目的で使おうとしているのならおそろ危険です。自然を知ってもらうだけキャンプファイヤーができるだけおしゃれな宿泊施設だけならそんなに客は来ません。少年自然の家をもし仮に複合的な使用をするなら歴史と文化を知ってもらう拠点とか旅籠か休憩所という観点という考えはあります。そもそも少年自然の家の場所は城跡だったのですから。そもそもそれを何故今まで少年自然の家に泊りに来た小学生に教えなかったのでしょうか？非常にもったいないです。自然と歴史文化を知るのにはもってこいの場所だったのですが。。八千代市は北に行けば行くほど伝承文化歴史が濃く、保品地区は昔の政治の中心地であり、歴史と伝承文化の濃く残った場所であり周りには八千代びなや花火の玉屋なども存在しています。ちょっとしたミニ歴史観光地としては使えないことはないですが、16億円もの大金を回収できるだけの事業になるかと言われるとそれは難しいでしょう。歴史を売りにしている地域は全国に多々ありますがそれで食っていく地域は多くはないです。佐原観光協会でも指定管理者制度でその会社はかつかつの経営をせまられています。歴史観光でお金が落ちるのは土産屋や飲食店などで役場関連が利益を上げられるのはかなり全国区の地域だけかと思えます。</p> <p>少年自然の家にカフェを仮に作ってもぼつぼつ程度で地域全体としても盛り上がりや店舗数、仕掛け、観光案内の仕掛けなどがなければ到底利益にはつながらないでしょう。市民のマインドが余程同じ方向を見ていないと歴史を使った町おこしは難しいというのが現実でしょう。八千代市の場合でもとても深い歴史があることすら大多数の市民は認識すらしていませんのでマインド以前の問題でしょう。</p>	<p>八千代市少年自然の家には、「おおびた遺跡」から発掘された出土品が展示されておりました。また、児童が遺跡や古墳などに興味もてるよう、掲示物や活動プログラムを工夫しております。</p>	
160	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	<p>昔は保品地区にはかなりの数のお店が立ち並んでいたらしいですがその復刻でもしない限り盛り上がるのは無理でしょう。それも何年もかけない無理です。そこに連れてくるまでの動線も難しいですし、少年自然の家だけがひとり気を吐いても16億円の価値までは見いだせないのが現状になるでしょう。大規模改修だけの値段でこれに人件費などがのれば更に大きな経費がかかるでしょう。観光業として発展させるのは相当念入りに仕組みづくりや打ち合わせ、地域の了解や共通マインドの形成イメージの共有など多くのことが必要です。それくらい市として観光業をやっていくのは難しく大変だということです。16億円プラス人件費管理費と市街の少年自然の家小学生を連れて行くお金どちらか安く済むか？その結果何を教えられ何を残せるのか？それを明確にすべきかと思えます。今小学5年生しか市外の施設にいったいないのは賛成です。小学4年では火を扱う飯盒炊飯などはまだ危険で危なっかしい面がありかたや小6は修学旅行があり、今は中学受験する子も増えているようなので大きな行事は修学旅行で十分なのではないのでしょうか？そう考えると小5はある程度の火の扱いもできる年齢であり修学旅行もないのでちょうどいい学年かと思えます。なので小5だけが市外の少年自然の家に行く案はいいと思います。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
161	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	市内の少年自然の家に何故小4～小6まで3年間もいかなかったのでしょうか?3年間はながすぎなのではないかと思いました。八千代市の自然を感じる施設は確かに大切ですが八千代市の自然というより森の中に連れて行かれたというイメージで八千代の自然でなくてもよかったのでは?とも思いました。八千代市の自然を感じるやり方は他にも知恵を絞ればあるのではないのでしょうか?お金のない八千代市が借金を増やしてまで子供に年一回1泊2日の体験学習で与えられる心の豊かさはどのくらいなのでしょう?それと引き換えに借金を負わされる子供の将来を考えるのも大切なのではないのでしょうか?お金がないなら知恵を絞るべきではないのでしょうか? とある議員が子供にききたいいい施設だとの回答だったらいいですが、確かにいいか悪いかの思いだけを聞いたらそうでしょう。しかし財政難という事は伏せていませんか?子供にもきちんと市の財政難や税金の使い道をきちんと説明すべきかと思えます。	発達段階に応じた体験活動を得るために4年生から実施してきたものです。	
162	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	少年自然の家の思い出は確かにいい思い出があり何とか残せないか?色々な観光資源等掘り起こして考えましたが残念ながら結論は廃止となりました。少年自然の家のアスレチックがあった場所にはまだ調査の入っていない円墳があります。また昔、江戸時代などに半町ばくちなど賭博をした跡らしいすり鉢状の場所があります。すり鉢の底の部分でばくちをしたら周りから見られないからだそうです。こっそり隠れて通ったとされる道もあり、そういった史跡の部分は説明文の立て看板でも建てて保存してもらいたいというのがささやかな希望ではあります。	「少年自然の家」の今後については、保護者等に説明しご意見を伺うことが大切であり、その上で最終判断を行いたいと考えております。 また、少年自然の家の周辺に多数の文化財が存在していることは認識しており、引き続き文化財の保護と活用に努めてまいります。	
163	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	4.持続可能な行政経営の確立 健全な財政運営の推進 財政問題について 今の97%台を3年続けるだけでも財政は県の監視下の置かれるという話もあり、この財政問題は近々の課題でしょう。不要不急の案も多く、これらを削減していかないとあれもこれもではだめでしょう。財政は破綻しますよ。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。	
164	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	街の活性化及び災害対策として街のいたるところでWiFiが使えるようにする。 進んだ千葉県内の市(田舎の地域ですが)ではまず公共の施設では半分以上で無料のWiFiが繋がります。またWiFiスポットも街中に多く、マクドナルドなど各企業さんにも呼び掛けているようで、街のあちこちでWiFiにつながる場所を増やしていけば今の若者にもうけますし、災害時にも使えます。また防犯カメラにも見え、1石3鳥です。 街のWiFiスポット地図を市として出しているところも少なくないです。	いただいたご意見や他市の事例等を参考にしながら研究してまいります。	
165	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	「少年自然の家」の廃止については専門家だけではなく多くの市民からの意見は収集したのでしょうか。	少年自然の家については、老朽化等への対応として八千代市公共施設再配置等推進委員会にて、サウンディング型市場調査やエリアマネジメント調査結果等をもとに協議・検討を進めました。	
166	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	持続可能な行政経営の確立 指標 公共施設でのサービス、また、設備や管理が適切と感じている市民の割合の目標値が低すぎる。最低でも50%以上とすべきです。	当該指標の目標値につきましては、市民満足度調査により把握した現況値を考慮した上で設定することから、目標値を改めます。	○
167	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	「持続可能な行政経営の確立」について、財政の最大の課題でもある「経常収支比率」健全化に向けた施策や目標がありません。計上するように提案します。	経常収支比率につきましては、「八千代市財政運営の基本的計画」において目標値を設定しており、経費節減の徹底、将来負担の適正管理等の取組を通じて、改善を図ってまいります。	
168	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	公共施設マネジメントの中で「公有資産の民間活力による最大限の活用」をあげるよう提案します。サウンディング市場調査や、課題解決型公募などの施策や目標も計上頂きたい。検討ください。	ご提案いただいた「公有資産の民間活力による最大限の活用」については、「公共施設等の有効活用の推進」の内容に含まれるものと解釈しており、民間活力の活用についても検討してまいります。	
169	計画の推進 4 持続可能な行政 経営の確立	地産地消の自然エネルギー活用をして、新市庁舎をたて、市民が納得いく新市庁舎をつくることにはげんでほしい。市民の中には、新しい知識を持ったいい意味での知識人が多くおられます。市民と行政の人達その他の人々で力を合わせ、素晴らしい八千代市に造り上げてください。市民活用を大いにしてください。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
170	ゾーニング計画	ゾーニング計画 将来のまちづくりには多方面から検討し、取り纏めることは重要です。その為には、立地適正化計画を作成する必要があります。 立地適正化推進計画の作成済／作成中は、令和2年7月現在、千葉県約20万人以上の8市のうち6市。八千代市と市川市が取り組んでいない。まちづくりに必要と思えるのに八千代市が取り組まない理由は何ですか。 各市の状況です。 作成済み公表…佐倉市17万人、成田市13万人 作成中…千葉市98万人、船橋市64万人、松戸市49万人、柏市43万人、市原市27万人、流山市20万人 作成なし…市川市50万人、八千代市20万人 立地適正化計画ができていないと例えば、「コンパクトで歩いて暮らせるゆとりとにぎわいあるまちづくりの推進(国補助金)」を受けられるのではないのでしょうか。	本市ではこれから市街化区域編入を目指す地域もあるなど、土地利用の実態を把握しながら、立地適正化計画の策定を検討してまいりたいと考えております。	
171	ゾーニング計画	「ゾーニング計画」に関連する意見 まだ廃止決定とされていない「少年自然の家」の記述が削除されているのはどうかと思います。最終判断していないというのであれば追記してください。追記しないのであればだれのどのような判断で記載していないのか明らかに回答願います。	八千代市公共施設再配置等推進委員会の検討結果を踏まえ、掲載を控えております。	
172	地域別計画	第1章計画策定について ① (3)主な事業では事業を記載とかいていますが、■主な事業では作成中で空白になっており、言葉の統一をして頂きたい。	令和3年3月末の計画策定時には、作成いたします。	
173	地域別計画	② 作成中はいつ完成してその内容は、第4次との関係性を分かり易く記載して頂きたい。	令和3年3月末の計画策定時には、作成いたします。	
174	地域別計画	③ 将来人口(令和6年度末)と将来世帯数(令和6年度末)を各々合計すると205,041人と95,096世帯となり、P7の令和6年度末の人口205,000人と令和6年度末の世帯数95,000世帯と対応しない単位を第4次と考え方を合わせて頂きたい。尚、単位を1桁とする場合にはその根拠(例えば、作成者の私見とか、過去N年間の平均とか、スーパーコンピューターでのシミュレーション結果とか)を入れて頂きたい。	計画の基本指標と整合性を図るよう修正します。	○
175	地域別計画	地域別計画の八千代台地域について ※八千代台地域の人口と世帯数(第4次総合計画後期と5次総合計画前期の比較) 平成27年9月末 33,705人 15,732世帯 平成32年度末見込 32,800人 16,000世帯 令和元年度末 33,955人 16,594世帯 令和6年度末見込 33,214人 16,789世帯 第4次総合計画後期では、「地域の総人口は、減少傾向にあり、地域住民の年齢構成としては、生産年齢人口の割合が少なく、老年人口の割合が多い状況にあります。」とされていましたが、結果、人口は減少しておらず、世帯数は増加しています。 一方、5次総合計画前期では、「空き店舗や空家の増加が見られるほか…地域の総人口は、減少傾向にあり、地域住民の年齢構成としては、年少人口と生産年齢人口の割合が低く、老年人口の割合が高い状況にあります。」と記載されています。 確かに老年人口の割合は高く空き家も多いのも実態ですが、空家等対策計画にも記載されているとおり、最近では八千代台駅から半径600m以内の建物取壊数、空家等解消数が他地区と比較して突出して多くなっており、空家が市場へ流通し新規の戸建住宅の販売も多くなっており、ここ1～2年は、駅近地域では比較的手頃な価格の新規戸建て住宅街が構築されたり新規マンションの建築・販売が盛んになっており、数字的にはわからないものの、比較的若い世代(30代・40代)の購入による若年層人口の転入が進んでいるような気がしており、「人口が傾向」という推計は妥当か否か疑問なところ。 逆にこれからは、年少人口は若干増えると考えられるが妥当とも思われ、その中で市川学園幼稚園が廃止されるなど、子育て環境の整備がこの地域の課題の一つとも考えられるが如何か。	八千代台地区につきましては、個別計画である第2期八千代市子ども・子育て支援事業計画において、宅地開発などの影響による教育・保育ニーズの増加を見込んでいたため、公立保育園や近隣の幼稚園など既存施設を活用した受け皿の確保を進めているとともに、八千代台保育園に設置した地域子育て支援センターを中心に地域の子育て支援に取り組んでいます。	
176	地域別計画	地域別計画の地域の設定に関して 令和2年10月29日開催の地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定・推進協議会の会議録において(2ページ)『総合計画において圏域をいくつにするかまだ決まっています。しかしながら今回の前期基本計画(素案)では7つの地域が決定しております。どのようなプロセスで決定されたのかご説明ください。 この質問の主旨は7つの圏域設定では無理があると考えているからです。しかも推進協議会の7月17日の会議録で相当白熱した議論があり、その結果として総合計画と調整を図るとの記載があります。従ってどのようなプロセスがあったのかをご提示ください。	平成10年3月に策定しました「八千代市コミュニティ推進計画」において、旧行政区の名称で定めておりました大和田、睦、阿蘇、八千代台及び勝田台に更に村上及び高津・緑が丘地域を加え、日常生活圏となっている中学校区を参考として、初めて「7つの地域コミュニティ」を設定しました。その後、大和田区域(大和田、大和田新田の一部、ゆりのき台、萱田、萱田町)のように、東葉高速鉄道の影響により八千代中央駅周辺に転入者が増加するなど地域特性に変化が生じてまいりました。 当面は今ある地域コミュニティを維持したいと考えておりますが、市民や自治会連合会などのご意見も参考に、地域コミュニティの課題として研究してまいりたいと考えております。 地域別計画の地域の設定につきましては、7地域の設定根拠としていた「八千代市地域コミュニティ推進計画」が令和2年度末で終了することや各部署への業務に対する影響が大きいことなどから、これまでと同様の7地域としているところであります。	
177	地域別計画	地域別計画 主な事業が「作成中」ではパブリックコメントの意味がないと思いますので、記述後に再度パブリックコメントをすべきです。	基本計画は、基本構想を実現するためのまちづくりの基本的な施策を体系的に示すものであり、現況と課題、基本方針、施策内容、指標といった基本的な施策を示す部分について公表できていることから、今般のパブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえて素案に修正を加え、前期基本計画を策定してまいりたいと考えております。 なお、主な事業については、令和3年3月末の計画策定時には、作成いたします。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
178	地域別計画	八千代台地域 主な事業 八千代台駅西口周辺のビルは、老朽化が激しく、空き店舗も目立って来ているので、今後の魅力あるストリートする為に開発が求められています。 特に八千代台自治会館があったビルは空きビルとなり日々劣化しています。このビルは、駅西口再開発のキーポイントとなると思われるので、どのようにするかビジョンを早急に作成する必要があります。	いただいたご意見は、今後のまちづくりを推進していく上での参考とさせていただきます。	
179	まち・ひと・しごと創生総合戦略	「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する意見 ① 総合戦略を総合計画の中に取り込み、横ぐしの目標などを入れて頂いたのはよいと思いますが、その点からこれまで指摘してきた「ゼロカーボンシティ」や「SDGs未来都市」、リーディングプロジェクトに記載を指摘したプロジェクトなども横断的な目標として記載頂きたいと思ひます。検討下さい。 ② 基本目標はよいと思ひますが、具体的な施策の記載が十分ではないように感じます。総合計画側との整合性もとりながら、具体的な施策を上げて頂くようお願いいたします。	いただいたご意見は、総合戦略を推進していく上で、具体的な取組として参考とさせていただきます。 また、具体的な事業については、実施計画に計上し、総合戦略を推進していきたいと考えております。	
180	全体	八千代市第5次総合計画前期基本計画(素案)(以下、第5次と言う)は、第4次総合計画後期基本計画(以下、第4次と言う)をPDCA等を駆使して作成した内容と理解をするが、内容は版を重ねるたびにグレードアップされ見やすさが段々と向上されると考えるが、少なくとも第5次は第4次と比較して同等以上していただきたい。 具体的には、市民憲章・都市宣言は内容が第4次と同等とが分からないが、基本的な内容であるので入れる。	市民憲章・都市宣言については、目次の前に掲載いたします。	
181	全体	市の位置、都市の地目別面積(平成28年～令和元年)、気象概況(平成28年～令和元年)、世帯数及び人口の推移(平成28年～令和元年)、年齢3区分人口の推移(平成28年～令和元年)、人口動態/自然動態・社会動態(平成28年～令和元年)、国籍別外国人人口、産業別就業者数の推移を第4次の記載内容の続きを入れる	第5次総合計画においては、市の概要をわかりやすく簡潔に示すため、(1)プロフィール、(2)市の位置・地勢・気象、(3)産業、(4)八千代市のあゆみ、(5)人口(①総人口の推移(平成元年～令和2年)、②年齢3区分人口の推移(平成2年～令和2年)、③将来人口の見通し)を記載しております。 なお、序論には掲載していない土地の地目別面積、世帯数の推移、人口動態、国籍別外国人人口につきましては、八千代市統計書で確認することができます。	
182	全体	計画の期間を入れる	序論「第3章 構成・計画期間」で記載しております。	
183	全体	八千代市第5次総合計画序論(案)を別冊にした理由を入れて下さい、別冊にしないで第5次の中の先頭等に記載した方が全体像の理解がし易いと思ひます。	第5次総合計画第1編序論として位置付けることとしております。	
184	全体	第4次には「発行にあたって」の記載があるが、第5次でも今後の市民生活に取って重要な内容であり、責任者や作成者の思いや位置づけ・目的等を記載して頂きたい。	第5次総合計画においても「発行にあたって」を掲載します。	
185	全体	資料編として第4次で記載した内容と同等以上の内容を入れる。	第4次総合計画と同様に資料編を掲載します。	
186	全体	これから日本を背負っていく青少年健全育成及びあるべき姿と必須となる男女共同参画社会は目次(第4次にはあり)を作成して積極的かつ具体論を記載する。	青少年健全育成につきましては、現在策定中の「第3期八千代市生涯学習推進計画」において、積極的な推進を図ってまいりたいと考えております。また、男女共同参画につきましては、現在策定中の「第2次やちよ男女共同参画プラン」において、積極的な推進を図ってまいりたいと考えております。	
187	全体	具体的な内容として第4次を踏襲する内容、改善する内容、新規に追加する内容を分けるように記載して頂きたい。	第5次総合計画前期基本計画は、令和3年度から令和6年度までの4年間におけるまちづくりの基本的な施策を体系的に示すものであることから、第4次総合計画から踏襲する内容、改善する内容、新規に追加する内容を個別具体的に記載することは考えておりません。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
188	全体	八千代市第5次総合計画序論(案)の(3)産業の第1次産業の就業者数は1,046人(平成27年国勢調査)となっているが、第4次のP5では1,046人(平成22年国勢調査)と同人数であり、日本全体では第1次産業(特に農業)に従事者は右肩下がりがなっており、本市が日本全体の傾向と異なり現状維持ならば、その理由を全国に発信(本市のセールスポイント)するべきと考える。	いただいたご意見は、市をPRしていく上での参考とさせていただきます。	
189	全体	全体について 八千代市第5次総合計画前期基本計画(素案)の策定に際し、当然、前期である八千代市第4次総合計画後期基本計画をベースとしていると思われ、事務レベルでは、新旧対照表を作成しているのではないかと考えられますが、パブコメを求めに際しては、新旧対照表の全ては必要ないとしても、前期計画との主な変更点を明示して、意見を求めるべきではないでしょうか。(それにより、現状の問題点と今後の方向性が明確になると思われるが如何か?)	いただいたご意見は、今後、パブリックコメントを行う上での参考とさせていただきます。	
190	全体	今後どのように市民と合意形成していくか?今回のようなアンケートの類を現状の比率にしていけるのか?いくつか案を書きます。 八千代市第5次総合計画後期基本計画に役立てていただければ幸いです。 ①2040年頃国民の50%がシングル世帯なのでそれを見越してシングル世代への個別アンケートを取る。(年代別)無作為で出してシングルのアンケートだけ抜き取り数回やればその合計が実際の数値に近づくでしょう。他の層はこの場合捨てる。 ②貧困層(低所得者や就職氷河期世代、一人親層)の意見の吸い上げとして非課税世帯や低所得者層へのアンケートを行う。これもアンケート時年収を何段階かに分けて問題の一つとしてチェックしてもらえば低所得者がわかります。これも①同様複数アンケートを出し、この層のアンケートだけを抽出すれば実際の%になるまで集めればできます。 ③外国人層への外国語でのアンケートの実施(※国別) ④大学生や高校生にも個別でもっと多数のアンケートを送る。若者に来てほしいという割にはその割合が少なすぎです。ほんとに若者から意見を聞く気があるのでしょうか?高校生や大学生らの意見で圧倒的に多かったのがもっと事前に市が何に困っているのか?問題点を知りたかったという事なのでアンケートや聞き取りの際には必ず事前に情報を送っておくべきです。若者が往んでくればいいという意見が多かった割には肝心の若者からの聞き取りが不足している感が否めませんでした。 ⑤すべての世代へのアンケートや市民意識調査やワークショップなど開くときは必ず事前に資料と問題提起の資料(市でとりあえず考えた問題点など)を送り、市民に考える時間を与えること!!その場で大量の資料を見せてさあ考えてくださいではたかが1~2時間のワークショップ等ではいいアイデアは出にくいですし、アンケートなども20年後30年後の未来で起こる状況と問題点を市民も考えやすくする為まずは市側が問題点の例をいくつか考え提示し、市民にどんな問題が起こるのか?想像してきてもらい問題点をあげてもらおう事からやるべきです。	いただいたご意見は、今後、計画を策定する上での参考とさせていただきます。	
191	全体	八千代市でも子供の数がすでに減少に転じています。ここ3~4年とその先とは問題点が大きく転換する可能性があり、そういう意味では前期基本計画くらいまでが子育て施策重視の限界点かと思います。残り16年でおひとり世代対策に大きく舵を切り対応できますか?独居老人対策や今47歳の団塊ジュニア世代所謂就職氷河期世代が2040年には年寄りの仲間入りをします。就職氷河期世代は非正規社員も多く、年金の掛け金を払ってこれないほど貧困世代が多くなります。それらが年金よりも生活保護の方が高い金額なので一斉に生活保護を申請し始めるでしょう。これがいよいよ2040年問題です。市の財政は一気に圧迫するでしょう。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。	
192	全体	健康寿命を延ばそうと市でも八千代健康体操の推進をしていますが、それをやる場所すら今より足りなくなる20年後。。。どこで体操するのでしょうか?市民活動も張り合いや外出のきっかけになりますがそれすらやりづらい世の中になり引きこもり老人がどんどん体調を崩し独居老人の場合ちよつとしたことで介護士などと呼ばれるので市の介護はバンク状態になるでしょう。しかも独居老人の比率もどんどん上がり続けます。 また今回の問題点の一つとして人口ピジョンの子供の推計が正しい加減である事です。その子供らの親世代つまり現役世代は6%下がるのに対して14歳以下の減少率は1.5%に過ぎないという計算である事。これは出生率が1.42の横ばいでは到底無理な数字であり実質出生率が上がっていきたくはこの数値はあり得ません。年寄りの数字はすでに生まれている現状の数値なので確実ですが子供の数は予測は確かに難しいですがこの下げ幅での予測はいささか楽観的かと思われ	人口動態を注視しながら、持続可能な行政経営に努めてまいります。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
193	全体	この市が将来どうしたいのか?人口減を抑えたいのなら移住促進は必要ですが?その対策は残念ながらその比重は限りなく低いです。現在の住み着いている人の問題解決、市民の満足度を満たすものとしては有効なのかもしれません。また将来著しい少子化を招いてもいいのなら子育て施策を重点的にしても問題はないでしょう。つまり今回の総合計画は何年先まで考えますか?という問題なんです。今の問題解決も当然必要ですがそれだけではないですよね?むしろ20年30年いや50年先を見通して人口減少という転換期をいよいよ迎える八千代市がどう方向転換をしていくのか?かじ取りをし、第6次総合計画、第7次総合計画につなげていくかというかなり重要なお話が今回の第5次総合計画なのではないのでしょうか? アメリカのエスキモーは7代先まで考えて物事を決めていくそうです。今の八千代市は何年先まで見通してこの第5次総合計画を作成しようとしているのでしょうか?ここ4~5年先がいい所でとも20年30年先を見据えそこへ向かうバトンをつないでいるとは到底思えません。30年先の対策として一致しているのは高齢者対策でしょうね。	人口減少という転換期を見据えて、前期基本計画の計画期間をその準備期間と捉え、施策を推進してまいりたいと考えております。	
194	全体	待機児童解消するまでは服部市長の子育ての街重視は応援しますが、解消後は国民の50%はおひとり様独居老人の世界になるのでそこに向けて対応してもらいたいです。	高齢者の生活を地域で支えるため、包括的な支援体制の構築や社会福祉基盤の整備とあわせて地域包括ケアシステム推進を図る等、地域共生社会の実現を目指してまいります。	
195	全体	今、国は逆に児童手当に所得制限をかけて抑制した分で待機児童の解消をする方針です。子育て施策だからといって今までのようにお金持ちにも大盤振る舞いできた時代はもう終わりなんです。国や市にはその余裕がなくなってきました。むしろこれからは大盤振る舞いの部分や不要不急部分の削減など子育て施策と言えども聖域なき削減がどんどん必要になることでしょう。そのお金を高齢者対策や結婚、婚活対策や失業者対策や道路の歩道確保などに振り向けるべきでしょう。もうすでに子供の数は減少に転じているのですから。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。	
196	全体	今後は子育て施設が余る時代に入ります。余る施設は高齢者施設に転用などの流れになるでしょう。ただ単に箱物を建てるついでだけでなく、最大限活用できるように転用する、長寿命化するという考え方です。	現在、公共施設等の多くは老朽化が進んでおり、今後、改修・更新等に多額の費用が必要となることから、集約化・複合化等を行いながら長寿命化を図り、既存施設を活用できるよう検討してまいります。	
197	全体	市長が子育て施策重視と言っているからといって、そこに付度するようなやり方は20年後の八千代市民を後悔させることになるでしょう。子育て施策は否定はしません。待機児童解消は物的なものがなければ解消には至りませんから。国ですら児童手当の所得制限をはじめ、余剰な子育て施策を削減し、必要なところへ振り向ける方向に舵を切ったのですから国に続く傾向の八千代市も当然追従してください。	いただいたご意見は、子育て施策を検討していく上での参考とさせていただきます。	
198	全体	雇用の創出は子育て施策にも関連しますし少子化対策にもなります。街の活性化や税収UPで財政問題や他の福祉などへも関連しここにいかに重点を置くことが大切なのか?よくよく考えていただきたいです。	本市では、産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画について、国の認定を受けたことから、各種セミナー等を、商工会議所、大学及び金融機関、周辺市等と連携し創業支援等を行っております。今後も引き続き雇用の創出支援を実施してまいります。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正																																																						
199	全体	<p>提案された第5次総合計画前期基本計画案に対する疑問を纏めましたので、ご検討ください。</p> <p>1. 各章、各節についての疑問点 1-1. 第4次の実施事項、予想結果とその未達の原因、第5次の改善対応をご説明下さい。</p> <p>1章 1節の教育、保育環境、子育て環境について以下の表を第4次総合計画後期と並べて作成しました。この例とした表から第4次(9年9カ月)に何をされたのですか。第5次(4年)では何をされるのですか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">第4次総合計画後期</th> <th colspan="2">指標一覧</th> <th colspan="2">第5次総合計画 前期計画</th> </tr> <tr> <th>H28年</th> <th>R3年目標</th> <th>現況</th> <th>現況値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育園待機児童数</td> <td>42人</td> <td>0人</td> <td>30人</td> <td>31人</td> <td colspan="2">0人</td> </tr> <tr> <td>学童保育所待機児童数</td> <td>173人</td> <td>0人</td> <td>100人</td> <td>134人</td> <td colspan="2">0人</td> </tr> <tr> <td>子育てしやすい街と感じている市民の割合</td> <td>49.1%</td> <td>55%</td> <td>49.9%</td> <td>49.9%</td> <td colspan="2">55%</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記に類する指標(第4次では区分)を下記に示しました。これ等に関しても第4次の実行内容、予想結果とその未達の原因、第5次の改善対応をご説明下さい。</p> <p>第1章1節高齢者支援「高齢者福祉サービスが充実していると感じる比率」 第2章1節義務教育「校舎及び体育館のトイレの乾式化」「外国語教育全時数に対するALT 派遣率」 第2節生涯学習「生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合」 第6節男女共同参画社会「各種審議会等における女性委員の登用率」 第3章第2節防災・減災の指標「自主防災組織カバー率」 第4章第2節総合交通の指標「鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合」「市内のバスが利用しやすいと感じている市民の割合」「市内・市外間の移動がしやすいと感じている市民の割合」「交通弱者に優しい交通環境と感じている市民の割合」 第4章第3節自然環境「市が事業所として排出しているCO2量」 計画推進のため 持続可能な行政経営の確立 「公共施設でのサービス、また、設備や管理が適切と感じている市民の割合」 前期基本計画推進のため:他例を次表に示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">第4次総合計画後期</th> <th colspan="2">指標一覧</th> <th colspan="2">第5次総合計画 前期計画</th> </tr> <tr> <th>H28年</th> <th>R3年目標</th> <th>現況</th> <th>現況値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種審議会等における公募市民委員の割合</td> <td>21.9%</td> <td>25%</td> <td>22.2%</td> <td>23.1%</td> <td colspan="2">25%</td> </tr> </tbody> </table>		第4次総合計画後期		指標一覧		第5次総合計画 前期計画		H28年	R3年目標	現況	現況値	目標値		保育園待機児童数	42人	0人	30人	31人	0人		学童保育所待機児童数	173人	0人	100人	134人	0人		子育てしやすい街と感じている市民の割合	49.1%	55%	49.9%	49.9%	55%			第4次総合計画後期		指標一覧		第5次総合計画 前期計画		H28年	R3年目標	現況	現況値	目標値		各種審議会等における公募市民委員の割合	21.9%	25%	22.2%	23.1%	25%		<p>「保育園待機児童数」及び「学童保育所待機児童数」につきましては、第4次総合計画のおおよそ10年間で、保育所等の認可施設を30施設、学童保育所においては12事業所を開設し、受け皿の確保に努めたところですが、地域によっては見込み以上のニーズがあり、待機児童の解消には至りませんでした。第5次総合計画前期基本計画では、新設整備を最小限に抑えつつ、さまざまな手法を検討し、引き続き、保育所及び学童保育所の待機児童ゼロを目指して取り組みます。</p> <p>また、「子育てしやすいまちと感じている市民の割合」に関する取組として、子育て相談や親子交流のほか、予防接種スケジュールをはじめ子育てに関するイベント情報のスマートフォン等を活用した配信、児童虐待への対応や関係機関との連携強化など幅広く取り組んでまいりました。</p> <p>今後も引き続き、子育てしやすいまちを目指して、これら子育て支援施策に取り組んでまいります。</p> <p>「高齢者福祉サービスが充実していると感じる比率」につきましては、第4次総合計画期間内において、保健福祉サービスの充実のため、生活支援体制整備事業、在宅医療・介護連携推進事業を新たに開始し、既存の事業を含め周知を図ってまいりました。</p> <p>目標未達の要因といたしましては、現況値は上昇したものの、当該期間中は各事業の体制整備に努め、住民サービスに還元されるまでに時間を要したことが影響したものと考えます。</p> <p>第5次総合計画前期基本計画では、引き続き各種制度の周知を図るとともに、現在、介護予防・重度化防止を目的とした短期集中予防サービスのモデル事業を実施しており、効果測定後、事業化を図ってまいります。</p> <p>「校舎及び体育館のトイレの乾式化」につきましては、目標値62.2%に対し、実績は56.4%です。令和2年度は、学校の夏休みを短縮したため、予定していた3校のトイレの改修工事ができず、目標値を達成できなかったものです。第5次総合計画前期基本計画では、学校施設の老朽化への対応を図る中で、合わせてトイレ改修を進めていく考えです。</p> <p>「外国語教育全時数に対するALT 派遣率」につきましては、目標値100%に向けて、関係部局と協議し、令和元年度は、ALT10名を1人当たり175日派遣しました。令和2年度は、ALT12名を1人当たり175日派遣する予定です。令和元年度の派遣率は61.5%です。令和2年度は、長期の休校期間があり、特異な年度であることから、算出しておりません。第5次総合計画前期基本計画では、1校1名のALTの配置に努め、派遣率の向上を目指してまいります。</p> <p>「生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合」につきましては、第4次総合計画期間内では、生涯学習情報提供システムの拡充として、講座・教室情報や団体・サークル・指導者情報などを充実した内容にするのと同時に、市HP・広報やちよ等を活用した生涯学習情報の発信に努めることで、「生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合」19.9%から50%まで向上させる目標としておりましたが、結果として、20.0%でありました。</p> <p>目標を達成できなかった要因として、既存の情報提供手段では、市民に十分な情報が行き届いていないと考えられることから、第5次総合計画前期基本計画期間内では、より効果的かつ身近な場所で情報を得られるよう、市民のライフスタイルの多様化にも合わせ、改善してまいりたいと考えており、生涯学習に係る施策で具体的な内容を検討してまいります。</p> <p>「各種審議会等における女性委員の登用率」につきましては、目標値に満たない審議会等の所管課への働きかけや、千葉県女性人材リストの活用促進を図ってまいりましたが、関係団体からの推薦において男性委員が多いことや、公募委員についても女性の応募が少ないことなどから、登用率が横ばいとなりました。</p> <p>改善対応としましては、委員の推薦母体となっている団体等へ、女性参画の必要性や、必ずしも組織の長を推薦する必要はないこと等についての積極的な情報発信による、ポジティブアクションに関する啓発強化を予定しております。</p> <p>「自主防災組織カバー率」につきましては、自主防災組織が結成されていない自治会や管理組合等に対し、自主防災組織の必要性について積極的に周知・啓発・防災訓練等を実施いたしました。</p> <p>その結果、組織結成数については増加しているものの、人口増加に伴い世帯数も増加しているため、自主防災組織のカバー率については、目標値に達しない予想となっております。</p> <p>第5次総合計画前期基本計画の計画期間中においても、未結成の自治会等へ積極的に周知・啓発等を行い、目標値の達成に向けて努めてまいりたいと考えております。</p> <p>「鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合」「市内のバスが利用しやすいと感じている市民の割合」「市内・市外間の移動がしやすいと感じている市民の割合」「交通弱者に優しい交通環境と感じている市民の割合」につきましては、これまで市民の利便性を少しでも向上させることができるよう、ノンステップバスやICカードの導入に対するバス事業者への補助や、鉄道駅エレベーター設置への補助等を行ってまいりました。</p> <p>今後は、地域公共交通の必要性及び地域の輸送資源等の把握を行い、「八千代市地域公共交通計画」の策定に向けた調査・検討をする等、目標の達成に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>「市が事業所として排出しているCO2量」につきましては、環境マネジメントシステムにより、市職員の意識の啓発に努めてまいりました。一定程度の効果があったものの、小中学校のエアコン導入や昨今の時差出勤によるエネルギー利用の増により、目標の達成は難しい見込みです。</p> <p>今後は、再生可能エネルギーの活用など、CO2排出量の削減に向けた検討を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>「公共施設でのサービス、また、設備や管理が適切と感じている市民の割合」につきましては、八千代市公共施設等総合管理計画に基づいて、公共サービス・施設等の規模の適正化、公共施設等の効率的な施設管理及び有効活用による公共施設等の全体最適化を図るため、アクションプランの各取組を推進しました。</p> <p>今後は令和2年度末までに八千代市公共施設等個別施設計画を策定し、施設ごとの具体的な対応方針を定め、中長期的な改修・更新等の費用の縮減及び平準化を図るとともに、将来にわたり真に必要な公共サービスを安全・安心な公共施設等で提供し続けるよう取り組んでまいります。</p> <p>「各種審議会等における公募による市民委員の割合」につきましては、八千代市審議会等の整理統合及び運営等に関する指針において、委員の選任に当たって、「審議会等への市民参加の推進と活性化を図るため、可能な限り公募による委員の選任に努め、なお、公募による委員の割合は、委員数の25%以上を目標とし、その達成に努めるものとする。」としております。</p> <p>このことから、新規に審議会等を設置する予定の担当課に対して、可能な限り公募による委員の選任に努めるよう促しました。</p> <p>目標としては25%以上を目指していますが、各種審議会等の市民委員定数が決まっていることや新規の審議会等の設置数があり多くないことも関連して、目標値には届いておりません。</p> <p>第5次総合計画前期基本計画では、新たな市民参画手法を導入することも含めて検討し、目標を達成できるよう努めてまいります。</p>	
	第4次総合計画後期			指標一覧		第5次総合計画 前期計画																																																				
	H28年	R3年目標	現況	現況値	目標値																																																					
保育園待機児童数	42人	0人	30人	31人	0人																																																					
学童保育所待機児童数	173人	0人	100人	134人	0人																																																					
子育てしやすい街と感じている市民の割合	49.1%	55%	49.9%	49.9%	55%																																																					
	第4次総合計画後期		指標一覧		第5次総合計画 前期計画																																																					
	H28年	R3年目標	現況	現況値	目標値																																																					
各種審議会等における公募市民委員の割合	21.9%	25%	22.2%	23.1%	25%																																																					

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
200	全体	<p>1-2. 第4次総合計画後期の指標(区分)を削除した理由を説明して下さい。 第4次では目標が未達成にも拘らず、理由の説明もなく削除されている区分があります。 目標達成した指標の場合は、維持管理のマニュアルを作成したのでしょうか。</p> <p>第1章第2節児童福祉「子供が心身共に健やかに発育・発達していると感じている市民の割合」 第2章第6節男女共同参画社会「男女共同参画社会が進んでいると感じている市民の割合」 第3章第1節生物多様性の保全「谷津・里山保全個所数」 第4章第1節消費生活「消費生活情報の提供が適切に行われていると感じている市民の割合」 第4章第2節消防「火災の出火率」 計画推進のために 市政の推進 「透明性の高い市政運営がなされていると感じている市民の割合」 市民参画 「市民の意見が市政に反映されていると感じる市民の割合」 「自立した市政運営が行われていると感じている市民の割合」 健全な財政運営の推進の区分に第4次総合計画前期基本計画にあった「経常収支比率」が削除されています。 削除した理由、及び第5次総合計画前期基本計画に指標として掲げない理由をご説明下さい。</p>	<p>「子どもが心身共に健やかに発育・発達していると感じている市民の割合」につきましては、第5次総合計画前期基本計画における施策体系が、第4次総合計画後期基本計画とは異なることから、「子育てしやすいまちと感じている市民の割合」を指標としたほか、「学童保育所待機児童数」など客観的に成果を計れる指標としました。 「男女共同参画社会が進んでいると感じている市民の割合」につきましては、第5次総合計画前期基本計画では、分かりやすい表現に変更し、「性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できると感じている市民の割合」としました。 「谷津・里山保全個所数」につきましては、第5次総合計画前期基本計画の施策体系を見直す中で、総合計画においては指標として取り扱わないこととしたものです。なお、現在策定中の「八千代市第3次環境保全計画」において、同指標を目標として掲げる予定です。 「消費生活情報の提供が適切に行われていると感じている市民の割合」につきましては、市民意識調査において「わからない」という回答が多かったことを踏まえ、指標そのものを分かりやすくするため、「消費生活センターが身近な消費生活相談窓口であることを知っている市民の割合」としました。 「火災の出火率」につきましては、目標は常に0であるが、放火火災などがある限り、目標に到達することはないことから、目標に到達できないものを目標値として数字を定めることに疑義が生じたため廃止しました。 「透明性の高い市政運営がなされていると感じている市民の割合」につきましては、市民意識調査の結果で「わからない」との回答が多かったことを踏まえ、指標そのものを分かりやすくするため「市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じている市民の割合」としました。 「市民の意見が市政に反映されていると感じる市民の割合」「自立した市政運営が行われていると感じている市民の割合」につきましては、市民意識調査の結果で「わからない」との回答が多かったことを踏まえ、指標そのものを分かりやすくするため「市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じている市民の割合」「行政が自らの責任と判断に基づき行政経営が行われていると感じている市民の割合」としました。 経常収支比率につきましては、「八千代市財政運営の基本的計画」において目標値を設定しており、経費節減の徹底、将来負担の適正管理等の取組を通じて、改善を図ってまいります。</p>	
201	全体	<p>1-3. 第5次総合計画に新たに加えた指標とその理由 第5次総合計画に新たに加えられた指標は、時代の変化、過去の総合計画の改善のためと思いますが、設定の理由をご説明下さい。</p> <p>第1章「子育て支援サイト「ニコニコ☆元気」閲覧数」 「国民年金保険料現年度納付率」 第3章「放置自転車の撤去台数」 計画推進のため 市民に分かりやすい街づくりの推進 「市民が知りたい行政情報が充分提供されていると感じている市民の割合」 「市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じている市民の割合」 地域の視点に立った街づくりの推進 「性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できると感じている市民の割合」 「新川周辺が活性化していると感じている市民の割合」 「今後も八千代市に住み続けたいと考えている市民の割合」</p>	<p>「子育て支援サイト「ニコニコ☆元気」閲覧数」につきましては、「第2期八千代市子ども・子育て支援事業計画」を策定する際に実施したニーズ調査において、おおよそ半数近くの人が子育て支援に関する情報を十分に入手できていないという結果となりました。 このことから、切れ目のない支援を実施していく上では、まずは各種施策が多くの子育て世代の人に認知されることが重要であると考え、第5次総合計画前期基本計画では「子育ての情報提供の充実」を位置付けたところであり、その成果を計る指標として当該指標を設定しました。 「国民年金保険料現年度納付率」につきましては、保険料納付率の向上が、未納者や将来の無年金者割合の減少に結びつくことから、新たに指標として設定しました。 「放置自転車の撤去台数」につきましては、第4次総合計画後期基本計画の指標である「交通安全教室の実施」について、目標を達成したことから、今後は放置自転車対策事業である「放置自転車の撤去台数」とし、放置自転車を減少させることを指標としました。 「市民が知りたい行政情報が十分に提供されていると感じている市民の割合」につきましては、「透明性の高い市政運営がなされていると感じている市民の割合」に係る市民意識調査の結果で「わからない」との回答が多かったことを踏まえ、指標そのものを分かりやすくするため設定しました。 「市政に対する意見や要望を伝える機会と手段が整えられていると感じている市民の割合」につきましては、「市民の意見が市政に反映されていると感じる市民の割合」に係る市民意識調査の結果で「わからない」との回答が多かったことを踏まえ、指標そのものを分かりやすくするため設定しました。 「性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できると感じている市民の割合」につきましては、第4次総合計画後期基本計画の「男女共同参画社会が進んでいると感じている市民の割合」を分かりやすい表現に変更したものです。 「新川周辺が活性化していると感じている市民の割合」につきましては、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第5次総合計画と一体的に策定することとしており、第5次総合計画前期基本計画の指標を総合戦略の数値目標としております。当該指標は、第1期総合戦略の数値目標として掲げていたものであり、第2期総合戦略でも引き続き設定することとしました。 「今後も八千代市に住み続けたいと考えている市民の割合」につきましては、市の認知度の向上や市民の市への誇りと愛着の醸成の度合いを測るために設定しました。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
202	全体	<p>2. 第5次総合計画前期基本計画の現況値、目標値に関してこれ迄4回(約40年間?)推進して、成果報告のない八千代市の最上位計画として第5次総合計画を策定、推進する事で何が得られるのか疑問を感じながら、現況値、目標値の疑問点を下記に示します。</p> <p>行政のお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>1)目標値は4年後の目標指標と思いますが、指標によっては最終の目標値を示して下さい。</p> <p>2)現況値、目標値に%を示す場合、少数点以下の数値は意味ないと考えます。</p> <p>3)～市民の割合」を%で示していますが、目標値は全て50%以上が「住み続けたい街、笑顔あふれる街」に近づく指標の目標ではないでしょうか。</p> <p>4)目標値に「現状維持」と記載されている箇所がありますが、新たに計画を立て実施する事ではないので総合計画に記載する必要がないと思います。業務は現状維持の目的でマニュアルを作る事ですか。</p> <p>5)「現況値」「目標値」に作成中と記載されている箇所がありますが、パブコメ募集する時点で現況値も設定できないのであれば、期間を定めた調査を設けてはいかがですか。</p> <p>6)目標に減少、増加、延伸など数値ではない記載がありますが、PDCAによって推進する計画には不適当な記述と考えます。</p> <p>7)審議会等の市民委員、女性委員の増員計画は%より人数で示した方が理解しやすいと思います。</p>	<p>1)につきましては、今後4年間の各施策の達成度を測るものであることから、最終的な目標値ではなく、4年後の目標値を示しております。</p> <p>2)につきましては、現況値を測る市民満足度調査などの結果を小数点以下まで出しており、整合を図るため小数点以下まで記載しています。</p> <p>3)につきましては、現況値を考慮した上で目標値を設定しております。</p> <p>4)につきましては、社会経済情勢等も踏まえると、目標値が現状維持となる指標もありますが、将来都市像を実現するため、各種施策を展開していきたいとするものであります。</p> <p>5)につきましては、アンケート調査でなければ把握することができない指標の値については、12月実施の市民満足度調査により把握した最新の数値を設定することとしております。</p> <p>6)につきましては、「65歳平均自立期間」について目標値を「延伸」としているのは、国の健康増進計画である健康日本21において健康寿命の指標について「延伸」と表現していること、また、望ましい姿である「平均寿命と65歳平均自立期間の年数の差の縮小」を数値で表すことが困難であることから「延伸」としているもので、表現は適切と考えております。また、「新規戸建住宅に対する長期優良住宅認定件数の割合」について目標値を「増加」としていること、及び「管理不全の空家等の割合」について目標値を「減少」としているのは、現在策定を進める「八千代市空家等対策計画」の目標値と整合を図っているためです。空家はあくまでも個人が所有する財産であり、所有者が適切な管理を行う義務があります。このことから、市が具体的な数値目標を設定することが困難であるため、空家等対策計画では、基本理念に基づく適切な維持管理の促進という観点で現状値を基に目標設定しております。今後、同計画を推進する中で、より適切な指標設定が可能かどうか研究してまいりたいと考えます。</p> <p>7)につきましては、審議会等の新設・廃止などにより、各年度の委員数の総数は変動しますので、人数よりも%で表した方が、より分かりやすいと判断したためです。</p>	
203	全体	<p>3. 第5次総合計画に関して提案</p> <p>第4次総合計画後期基本計画の指標133項目推進したが、結果的に何をしてもどんな成果を得たのか市民には理解できない。そして第5次総合計画前期基本計画の区分122項目を推進して「人がつながり 未来に繋ぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」と言うが、市民はこの計画で何を期待できるのでしょうか。</p> <p>第5次総合計画前期基本計画案の第1章の指標をみても「子育てサイト」に「こ元気」閲覧数「児童虐待に関する研修・講習会受講者数」「福祉ボランティア登録数」「ボランティア・地域活動への参加の割合」「グループホームの利用者数」など増加を目的にしているのは分かりませんが、この為に担当部署が何をするのか、この結果がどのように市民生活を改善するのか理解できません。</p> <p>過去の総合計画を振り返ってみると、支援の企業に多くの費用を払い、市の職員が多大の労力を消費しながら、殆どその成果を市民に報告できないような状況です。この際、総合計画の立案・管理・運営方法を再検討すべきではないでしょうか。</p> <p>多くの課題は管理職が優先順位を判断して通常業務として扱い、第5次総合計画では八千代市の最重要課題に目標を絞り、時間がかかっても市民と会話し理解し合って、財政の改善を進めながら、弱者に配慮した、身の丈に合った街、少しでも現状より住みやすい街の実現を目標にしてはどうかと思います。</p> <p>それには当面の重点項目として財政改善、市民参加の行政、そして自然エネルギーの利用増進と並行した農業の振興を目指してはどうでしょうか。</p>	<p>第4次総合計画後期基本計画の計画期間においては、事務事業評価を休止していたこと、また、総合戦略と一体的なものとして計画を策定したことから、第5次総合計画では、計画の推進状況等の報告を行い、多角的な視点から効果検証の意見をいただく組織として、総合計画審議会の活用を検討しています。</p> <p>なお、リーディングプロジェクトについては、社会経済情勢の変化を踏まえ、特に重点的に取り組むべき施策として掲げたものになります。</p>	
204	全体	<p>3-1. 財政の改善</p> <p>何をしても財力がなければ出来ません。このために経常収支比率の目標値を削除するような事はせず、正面から取り組んで頂きたい。</p> <p>それには過去の行政の間違ひも率直に認め、これから対応する巨額支出の庁舎建替、公共施設の再編及び人件費を含めた財政の改善を検討しては如何でしょうか。</p> <p>* 学校を含めた公共施設の削減計画</p> <p>* 117億円を予想している巨額投資の新庁舎計画の見直し</p> <p>* 経常収支比率改善のため、人件費を含めた費用の削減</p> <p>* テレワークの活用による、庁舎面積の削減</p>	<p>経常収支比率につきましては、「八千代市財政運営の基本的計画」において目標値を設定しており、経費節減の徹底、将来負担の適正管理等の取組を通じて、改善を図ってまいります。また、いただいたご意見を参考に財政健全化に努めてまいります。</p> <p>人件費につきましては、業務量に則した定員管理、業務の効率化による時間外勤務の縮減等により、経費の削減に努めて参ります。</p>	
205	全体	<p>3-2. 市民参加の行政</p> <p>第4次、第5次にも市民参加が記述されているが、これ迄の審議会、検討委員会等の議事録を見ると実現されていません。市民委員も増員されず、会議を開催されたと言うだけで採決も取らない会議が大半ではないかと思います。</p> <p>* 「広報やちよ」の改善</p> <p>相変わらず1面に大きな写真を掲げ、市民に総合計画の内容も知らせずパブコメを募集する編集の改善。</p> <p>市政の問題点を含め、市民の意見と対応などを掲載して頂きたい。</p> <p>* 議会の委員会、各種審議会及び委員会の中継、録画の実施。</p> <p>* 審議会を含めた各種委員会への市民委員の増加</p> <p>* 審議会、委員会の結論は採決をとり、結論を明確にする。</p> <p>* 「やっちご意見箱」の層別分析と対応</p> <p>* 感染症対応としてZOOM を利用した教育、会議の活用</p>	<p>市の行政計画等のパブリックコメントにつきましては、紙面の都合上、市政の問題点等全てを掲載することはできず、募集期間、提出先等の概要を掲載し、計画の詳細については、市ホームページ、図書館等の公共施設等に配架される計画図書を参照して頂いております。今後は、特に必要なものについては、計画の素案について特集記事を掲載する等、周知に取り組んでまいります。</p> <p>審議会を含めた各種委員会への市民委員の増加につきましては、専門性の高い審議会等もありますが、審議会等を新設する際には、市民参加の推進と活性化を図るため、可能な限り公募による委員の選任に努めるとともに、公募による委員の割合は、委員数の25%以上を目標とするよう啓発をするなど、市民委員の増加に繋がるよう努めております。</p> <p>「やっちご意見箱」の層別分析と対応につきましては、年度ごとに手段、性別、用件、地区、内容別に集計した受付件数集計表、寄せられたご意見と回答内容のうち公表を要するものを市ホームページに掲載するとともに、担当課へ情報提供を行っております。</p> <p>学校教育におけるZOOMを含めたビデオ会議システムの活用例としては、長期欠席児童生徒への支援、短学活や保護者会等の試行的な開催の他、教職員の会議や研修会を実施しております。</p>	
206	全体	<p>3-3. その他の重点テーマ。</p> <p>自然エネルギーの活用</p> <p>* 公共施設の屋根に太陽光パネルの設置。</p> <p>* 農業振興を含めてソーラーシェアリングの検討。</p>	<p>自然エネルギーの活用につきましては、現在策定中の「八千代市第3次環境保全計画」で取り組んでまいります。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
207	全体	4. まとめ 「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」を将来都市像として第4次総合計画を9年9か月推進してきました。しかしどの様な成果があったか報告もないまま、令和3年4月から「人がつながり 未来に繋ぐ緑豊かな 笑顔あふれるまち 八千代」を未来都市像として第5次総合計画を推進すると市民に伝え、この基本計画に意見を募集しています。このような曖昧で成果の不明確な総合計画では、市民の行政に対する関心は希薄になるばかりです。 この事は行政の最上位計画と言われている第4次総合計画が3か月後に終了するのに、その成果に関して12月議会でも殆ど討議されない状況から感じました。 この際、総合計画の立案・管理・運営に関して再検討しては如何と考えました。 現状のような総合計画を繰り返しても無駄である事を大半の市民は知り、無関心になっているのではないのでしょうか。総合計画のスタートが1年遅れ令和4年になっても、市の最上位総合計画の立案・管理・運営方法を再検討し、再出発して頂きたいと願っています。	いただいたご意見は、第5次総合計画を推進していく上での参考とさせていただきます。	
208	全体	八千代市の花に指定されているバラですが、市としてバラによる街づくりを目指していることも踏まえると、前期基本計画でバラの活用に関しての言及をより明確な方針として盛り込むべきかと存じます。 バラだけでなく、花や植物は「生活」「観光」「環境」「文化」「教育」など、幅広い分野において可能性があり、その成果も期待できる所でもあります。最近では市民ボランティアによる活動も活発化してきております。しかしながらこれらは個々の活動を中心としており、市全体としての大きな流れにはなっていないように感じます。 これらの個々の活動を、点から線に結び面に広げ、より深く長きにわたり継続していくためには、今日までのバラに関する諸施策の成果を踏まえ、八千代市として今後の目指したい姿を明確化するべきではないのでしょうか。 現在高まりつつある「バラの街」の実現に向けた気運のさらなる醸成と、地元住民や企業・団体が連携し前に進んでいくためには、基本計画に明確な方針を盛り込み、将来のビジョンを共有、地域が一体となってこれを推進していくことが必要だと考えております。	令和2年4月に八千代市、京成バラ園、秀明大学観光ビジネス学部との間で締結した、観光振興に関する産官学の連携協定により、八千代市や京成バラ園のブランド力を高めることに取り組んでおります。また、バラのまちづくりを進めるため庁内に「バラのまちづくり委員会」を設置し、同委員会の中で事業推進計画の策定など今後の方向性を検討しているところであります。 いただいたご意見は、バラを活用したまちづくりを推進していく上での参考とさせていただきます。今後の方向性を定めた後、個別の具体的な計画策定に着手して行けるよう努めてまいります。	
209	全体	第5次総合計画を「拝見しましたが、SDGsを取り入れた以外は第4次計画からの焼き直しの感が否めません。第4次で達成できたものは何だったのでしょうか？ また、第5次ではどこまで実施するのか、期限が入っていません。 第4次の反省を踏まえるなら、実行計画と期限を記さなければ計画にすらならないと思いますがいかがでしょうか？	第4次総合計画後期基本計画で掲げた133指標のうち87指標で達成・向上という状況であり、各種施策に取り組み、将来都市像の実現に向けて努めてきたところです。 また、第5次総合計画前期基本計画の計画期間については、令和3年度から令和6年度までの4年間であり、第5次総合計画序論において計画期間を示しております。 なお、基本計画において位置付けた施策を効果的に実施するため、実施計画に具体的な事業を示すこととしております。	
210	全体	買い掛けるからには、目標と期限、前期の確認が必要ですね。PDCAサイクルも出来ないのに第5次計画なんて笑止千万です。無駄な経費は市民に還元してください。 出来るなら、1年かけて第4次を検証した上で次の計画を立てるべきだと考えます。	第5次総合計画は、令和3年度を計画の始期としており、PDCAサイクルの適切な運用を図ってまいります。	
211	全体	肝心要の新規事業計画、財政見通しがそれぞれ作成中、調整中となっていて記載がなく空白です。これではコメントの仕様がありません。	財政収支の見直しについては、計画策定時に最新の数値を用いて算定いたします。また、基本計画は、基本構想を実現するためのまちづくりの基本的な施策を体系的に示すものであり、現況と課題、基本方針、施策内容、指標といった基本的な施策を示す部分について公表していることから、今般のパブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえて素案に修正を加え、総合計画を策定してまいりたいと考えております。なお、主な事業については、令和3年3月末の総合計画策定時に記載いたします。	○
212	全体	八千代市は今回のパブコメで当初素案の構成を変更する予定はありますか？そのように対応する予定であればその旨を明示して改めてパブコメを実施してください。	いただいたご意見を踏まえ、必要に応じて修正いたします。	
213	全体	前期基本計画は市長選挙後1年をかけて再作成(改正)する予定がありますか？	現時点において、改定の予定はございませんが、社会経済情勢等の変化や市民ニーズへの対応など、必要に応じて見直すものとしております。	
214	全体	前期基本計画(素案)では総合計画審議会の意見はすべて反映していますか。12月3日開催の会議録が公開されていないため各委員の意見が全て反映しているか確認ができません。	総合計画審議会の委員からのご意見や答申を踏まえ、素案を修正してまいります。	
215	全体	前期基本計画の確定までのプロセスを提示してください。その上で前期基本計画が確定するまでに再度市民の意見を反映させる仕組みはありますか	今般のパブリックコメントで寄せられたご意見、総合計画審議会の委員からのご意見や答申を踏まえて素案に修正を加え、庁内組織の総合計画等策定会議において検討し、令和3年3月末までに策定する予定です。	
216	全体	12月15日開催のまち・ひと・しごと創生懇談会では前期基本計画(素案)の何を議論したのですか？どのように会議が実施されたのか会議録が公開されていないため確認ができません。	総合計画における第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけについて説明し、総合戦略の4つの基本目標及び各基本目標に対する施策について協議いたしました。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
217	全体	八千代市国土強靱化地域計画(素案)は前期基本計画(素案)と調整をするためにどのようなプロセスが実施されましたか経過が非公開のため確認できません。	第5次総合計画との整合性を図るため、国土強靱化地域計画の素案を庁内に周知し、総合計画と国土強靱化地域計画の策定を並行して進めてまいりました。	
218	全体	公共施設等個別施設計画は総合計画の中でも極めて重要な課題解決の要素を構成しております。しかしながら前期基本計画(素案)において関係性が全く触れられておりません。 位置づけを明確にしてください。公共施設等総合管理計画との調整は当然ですが、個別施設計画は中長期計画の骨幹となりますので調整は必須と考えます。	公共施設等個別施設計画については、公共施設等総合管理計画の実施計画として位置づけるもので、総合計画との整合を図りながら推進してまいります。	
219	全体	第2次多文化共生プランは令和2年度で終了になるため次期多文化共生プランの作成は喫緊の課題と認識しております。また総務省よりコロナ対応も含めた重要な課題であると令和2年9月10日付けで自治行政局国際室より強いトーンで発せられております。多文化共生プランは前期基本計画においてどのような位置づけになるのかその経過を含めてご説明ください。	第4次総合計画において多文化共生は、「教育文化都市をめざして」という柱に位置づけていましたが、第5次総合計画前期基本計画においては、全庁横断的な取組として「計画の推進のために」に位置づけています。 また、昨年9月に総務省が改訂した「地域における多文化共生推進プラン」との整合を図りつつ、令和3年3月末までに次期多文化共生プランを策定する予定です。	
220	全体	市民との意見交換はもっと積極的に行ってください。説明会はオンラインも考慮ください。システム・媒体は何でもかまいません。このご時世でオンラインが不可能というのは市の怠慢です。	いただいたご意見は、市民参画を推進していく上での参考とさせていただきます。	
221	全体	今後のまちづくりは市長の公約により大きく変わります。今年の5月に市長選挙があります。もし市長が変わる場合は改訂版の作成を希望します。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。なお、策定基本方針では基本計画の期間は4年としていますが、計画期間内であっても必要に応じて見直す旨を明記しております。	
222	全体	第4次総合計画として「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市八千代」を将来都市像として約10年推進してきたわけですが、その成果あるいは反省点等の報告がなく、市民はよくわからないまま、第5次総合計画のパブリックコメントが実施されています。 第5次総合計画に対して期待しながら今回見させていただきましたが、市民が一番近いところの「主な事業」などはほとんどが「作成中」で内容がわかりません。指標の決め方にも疑問が多く感じられます。このような状態が繰り返されるので「透明性の高い市政運営がなされていると感じている市民の割合」が、わずか13.5%となっていると思います。 厳しい言い方をさせていただくと、あまり意味のないパブリックコメントが繰り返されるので「市民の意見が市政に反映されていると感じる市民の割合」がわずか11.1%となっていると思います。このままでは、市民の行政に対する信頼は薄れるばかりです。 市政の最上位計画である総合計画がこのような形でパブリックコメントに出されたことに、行政に対し大変な不安と危機感を感じます。きちんとした回答がなされることを期待しています。 ぜひとも、しっかりとした総合計画をまとめていただき、再度パブリックコメントにかけていただくことをお願いいたします。	今般のパブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえて素案に修正を加え、計画を策定してまいります。 なお、第5次総合計画においては、総合計画の推進状況等を報告し、効果検証の意見をいただく組織として総合計画審議会の活用を検討しているところです。	
223	全体	本市「八千代市」の命名の由来でもある「千代に八千代に」に込められた想いにもある、千年も幾千年も「未来へつづく八千代」につながるようなリーディングプロジェクトおよび施策体系を策定して頂けるように要望します。 「第5次総合計画前期基本計画(素案)」はまだまだ十分といえないと思います。今回のパブコメでの市民意見を最大限反映してより充実した「八千代の未来ビジョン」として頂くようお願い致します。	今般のパブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえて素案に修正を加え、計画を策定してまいります。	
224	その他	全国には100万人以上(子供から大人)の引きこもり防止対策の相談窓口を拡充(例えば地域単位)する。	本市では福祉総合相談室と八千代市社会福祉協議会で引きこもりの方やそのご家族からの相談を受けております。また、学校での相談体制(スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家)を充実するとともに、福祉、医療機関等と連携し、不登校児童生徒に対して早期に支援してまいります。	
225	その他	電子化の最大のポイントはマイナンバーカードの普及に尽きると 생각합니다。国にお任せではなく、公共サービスの提供で一番恩恵を受けるとする市単位で、他市以上に普及推進を図り、先進的な市を目指すべきではないか。	マイナンバーカードの活用などについて、基本計画への追記を行います。 マイナンバーカードの取得促進に関しては、国の方針に基づき、市が令和元年度に策定し、令和2年度に改訂した「マイナンバーカード交付円滑化計画」により、申請のサポートや出張申請受付等に取り組んでおります。今後につきましても、ご指摘の点を踏まえ、カードを取得しやすい環境を整えて参りたいと考えております。	○
226	その他	地方税・保険料等の納付手段の多様化 滞納対策の一環としても納付手段の多様化が必要と考えられ、最適な公共サービスの提供に加えるなど。他の先行市町村同様、早期に地方税・保険料等へのキャッシュレス決済の導入を図ってほしい。	行政におけるデジタル化につきましては、行政サービスの更なる利便性の向上及び行政事務の効率化に向け、ICTの効果的な活用を推進するための指針及び計画を策定し、具体的な取組を行う予定です。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
227	その他	今回の市民意識調査やパブコメ、ワークショップ、やワールドカフェなどはある一定層の偏った意見だという事を審議会並びに職員の方々(わかってはいるとは思いますが)も頭に入れて、判断してほしいなと思いました。 ます第11回八千代市市民意識調査の有効回収率が30.7%という事。これはしくも市議会選挙の投票率34%以下でありほぼ近い水準であること。八千代市の市議会選挙に投票に来る人は多くは各既存政党の支持者が多く、その他無党派はかなり少ない水準です。66%という過半数以上の無党派や関心なきサイレントマジョリティ「物言わぬ多数派」であり、八千代市の市政はたった34%の人により動いているという現実。 今回の市民意識調査やパブコメ、ワークショップやワールドカフェなどはまさに同じ層である可能性は高く、八千代市公共施設再編に係る有識者会議での意見とも一致します。しかし市は無作為で選んでいるもしくは平等に呼びかけているので市側がこれ以上のサイレントマジョリティを引っ張り出すのは難しく、ある意味市の限界と言わざるを得ません。	市政に参加しやすい行政運営の確立に向け、市民の参画機会を充実し、市民ニーズの適切な把握と市政への反映に努めてまいります。	
228	その他	今回の市民意識調査やワークショップは問題提起の仕方と現状の問題点、未来の問題点がしっかり提起されておらず、市庁舎内でまず2040年だったら2人に1人はシングル世代でありその時どんな問題が起こっているのか?まず役所自ら考えてみるべきです。 今回のワークショップなどでは将来の問題提起が漠然としすぎです。一概に人口が減ります。どうしたいですか?と言われても仕事も家ももった子育て世代と子が羽ばたいていった持ち家老夫婦ばかり集めて聞いているいたらそりゃあ今の不平不満を言うでしょうね。それではいつまでも子育てとお年寄り対策の街が続きますよね? 今回の問題点として現在の苦情要望と未来の問題点や要望がごっちゃになっているという点もあります。勿論現状の待機児童解消は近々の課題であり、高齢者対策は人口ビジョンP43では今より2040年は8%増(1万5千人増) 2045年では10%増(1万8千人増)のお年寄り国になっており、今よりもお年寄りのコミュニティスペースや養護老人ホームなどが必要になる事を意味していますので高齢者対策はむしろ今のペースで間に合うのか?と思うほどです。現状のお困りごとと将来のお困りごとは分けるべきかと思いますが。	いただいたご意見は、今後のワークショップ等を行う上での参考とさせていただきます。 なお、高齢者対策に関しましては、八千代市高齢者保健福祉計画に基づき、中長期的な視点も踏まえ、施策の推進に取り組んでおります。	
229	その他	今回のアンケート等のやり方の変更な問題点として市民意識調査など最後にどういう八千代市にしていきたいのか?という設問が出ますが、なぜか「子育て施策」だけ大まかなくくりになっていること。その為、市民意識調査にてP157の図ではと真ん中、不満もなく、よくやられていて満足もしている、重要度もまあまあという最も安定した問題ない位置に来ています。が何故かその後のP225やP226の八千代市が力を入れて取り組むべき施策についてではいきなり子育て施策が上位におどりてます。子育て施策といっても待機児童解消なのか?教育費の補助なのか?子供医療費補助?小中学校の充実なのか?そもそも範囲が広すぎなので必然と上位に来ます。このような大まかなまとめ方では何回やっても子育て施策が上に来ます。人口ビジョンの子供の減少スピードは実際はもっと多く早いでしょう。その親が6%減少しているのですから、最低限6%減で予測していたほうが現実的です。また生涯未婚率が上がってきており子供を作る以前の問題になっています。その加速度次第ではもっと子供の数が少なくなるでしょう。おひとり様同士をくっつけるなど婚活対策をしないかぎり改善は難しいでしょう。図ではほぼ真ん中で不平不満はない方の施策にも関わらず。今までの細かい分析は何だったんだ?となります。 実際は待機児童解消が終われば一旦この子育てで分岐し重点を置くのは終わりにした方がいいです。子育て施策はきりがありません。待機児童解消のあとは医療費補助をもっとしろですか?教育費補助ですか?子供の遊び場作れですか?どれだけお金をかけても青天井のように言いだしたらきりがありません。	いただいたご意見は、今後のアンケート調査を行う上で参考とさせていただきます。 なお、子育て支援施策は、待機児童対策をはじめとした親の子育てに対する負担や不安の軽減を図る施策だけではなく、その目的の一つとして、障害や虐待、貧困などにより社会的支援が必要な子どもに適切な援助等を講じることで、子どもの健やかな育ちを保障する目的もあることから、引き続き、市の財政状況も踏まえ、優先順位を見極めながら、必要な支援を行ってまいります。	
230	その他	就職あっせん事業が重要な事か?市はもっと自覚すべきです。市として企業に働きかけたらどうですか?保育所待ちの人は仕事開始時期を融通してもらおうとか子育て失業者には率先して企業か採用するように言うとか、給料の件は能力給制度の導入が鍵だと思っています。若くてもガンガン稼げるシステムです。能力給制度の導入を市内企業に促すとか市としてやることはあります。それらにいくつも応じた企業にはその数に応じて多少の法人税等の減税をすとか市としてやることはあるはずですが。	国と市がそれぞれの強みを発揮し、一体となって雇用対策を進めることで、住民サービスの強化につながることから、船橋公共職業安定所と覚書を締結し、市役所内に相談室を設け、効果的な求職者の就職の促進及び利便性の向上を図っております。	
231	その他	八千代市は何が何でもHPと広報八千代とか自治会の回覧板ばかり押ししますがいい加減その効果は一部の人を集めるだけという事に気が付くべきです。 また、ツイッターやブログと言った若者からの意見ですがこれも自分から情報を取りにいかないといけないので基本興味のない人は永久に検索はしませんし、たどり着くことはないでしょう。今も昔も紙媒体が最強という事になります。あるスーパーがネットで広告と紙でのチラシ、ツイッターなどで特売の宣伝し、どれを見てきたのか?と若者男女問わず聞いたところ7割以上がチラシだったそうです。実験的に行ってやはり紙媒体が未だに強かったという結果です。なので活用するなら紙媒体です。と言っても広報やちよはは限界です。そこで八千代市の広報班やシティブロモーション課の方々へ言いたい事です。大切なのは同じ紙媒体でも見せ方という事!!特に街中のポスターでの広報の仕方は是非、大手広告代理店で「キャッチアイ」などの見せる手法を勉強しに行ってもいいと思います。	広報やちよは、市民に市政情報を提供する重要な手段として発行しておりますが、インターネットによる情報通信網が発達し、スマートフォンの普及が進む中、情報を入手する手段が多様化していることから、ツイッター等のSNSを活用した市政情報の提供についても積極的に進めているところで、紙媒体の重要性については認識しておりますが、広報紙の見せ方の工夫につきましては、今年度実施いたしました「広報やちよに関するアンケート調査」にて市民の皆様から頂いたご意見等を参考に、今後の紙面づくりに活かして参りたいと考えております。 広報紙以外の紙媒体による広報についても、どのような広報手法があるか研究して参ります。	
232	その他	シティブロモーション課の若い目線はどういう条件なら八千代市に来たくなるのか?考えてもらいたいです。	いただいたご意見は、移住・定住の促進及びシティブロモーションに係る施策を推進していく上で参考とさせていただきます。	
233	その他	今後の市民意識調査やワークショップのやり方について 一にも二にも市庁舎内でもう一度20年後の人口割合を見て問題点を洗い出す作業をしていくべきでしょう。市役所の役人ですら問題点がわからず、市民に聞くときはふわっとした意見を求めるのはもうやめましょう。まず市役所の人間が問題点を認識し、洗い出し、事例として市民に聞いていく。それ以外の抜け落ちたところを市民も一緒になって考えてより現実性の高い問題提起、問題意識の共有をはかるべきでしょう。	いただいたご意見は、今後の市民意識調査やワークショップ等を行う上での参考とさせていただきます。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
234	その他	<p>八千代台駅前開発に伴う小学校等の統廃合の件</p> <p>将来的に八千代台小学校と八千代台西小、八千代台西中の統廃合という噂は聞きますが、市境の西中に統合は地理的に不便なものもありますが、災害防災という観点から考えると西小、西中あたりは谷底であり、地盤は弱く、地震にて液状化する可能性も高く、一昨年の台風が八千代市に直撃していたら排水路の氾濫等も考えられます。こういった観点から考えると避難所どころか非常に危険な場所なので統廃合は八千代台小学校へ集めるべきかとは思いますが。。。八千代台駅西口の大規模開発の件がまだいきているのなら西中に統廃合の件も選択肢にはありでしょう。その場合大規模開発を取るか災害対策を取るかの難しい選択でしょう。</p> <p>ちなみに西中付近は今新たなマンションが建ち子育て世代がいますがそれは20年後は少子高齢化の今の八千代台になる可能性があるという事です。逆に八千代台は今高齢化に伴い空き家を更地にして土地がまとまったら高層マンションなどがどんどん建ってきています。ひょっとしたら皮肉にも20年後はそこそこ新陳代謝が進み各年代のバランスのいい地区になっているかもしれませんね。それでもその地区から小学校をなくすのでしょうか？それなりのメリットが市民合意を得るには必要でしょう。またなんだかんだいっても駅周辺なので西中付近含めた八千代台地区は新陳代謝を繰り返し、少子化による小学校統廃合までいかない可能性はあります。</p> <p>また八千代台駅前開発は何か何でも八千代台小をつぶさなくてはできないことなのでしょうか？市民意識調査やワークショップなどにあつた多くの意見で道が狭いか歩道が欲しいとかむしろそっちの要因の方を解決する駅前開発であってほしいと思います。昔の間隔での道端設計なので狭い所は思い切って車侵入禁止などにしてみたらどうでしょうか？八千代台北東地区から駅に向かう道はどこも歩道がない場合が多く狭い道も多いです。この歩きづらさが八千代台駅周辺へ続く道の特徴の一つではないのでしょうか？希望通りやエルムの前の道、西口なら本町通りなどはメイン道路として通りやすいのですが(希望通りは買取不足の所は狭いです)駅から東南公民会館へ続く道とかアピアと公園の間の道、などひかれるんじゃないか？という道も沢山あります。そういった道を今後どうするのか？も期待したいです。</p> <p>八千代台駅前開発構想はいいのですが地権者との交渉が難航しそうですね。つべこべ言っている間に独自の建て替えがぼつぼつ出てきています。スピード感とリーダーシップを強く発揮しないと進まない話なのでは？このペースだと道端そのままに古いビルなどは建て替え高層化するのみで終わるかと思います。やるならスピード感をもってやるべきでしょう。ちなみに八千代台小学校にあった虎の絵が描かれたブロック塀が数年前に撤去されましたがその中には当時の小学生の手紙が入っていてタイムカプセルだったのですが知らずとは言え、撤去されなんの告知もなかったのは残念です。</p>	<p>いただいたご意見は、八千代台駅前の整備にあたっての参考とさせていただきます。</p>	
235	その他	<p>市庁舎建て替えの件</p> <p>結論から言いますと総合的な観点から言いますと建て替えの方針のままで良いかと思えます。</p> <p>市庁舎については今後は交付税が減る事が予測され、来年度以降も予算措置は難しいと思われる。更なる延期がアリならこの際思い切って新築+1部改修案(耐震化を満たしている新館を活かす)案も考えました。</p> <p>しかしその場合①建築設計費用がまた一からかかる。②その話し合いの時間がどのくらいかかるかわからない、という問題があり、また一から新築のような時間とお金がかかるのならそのまま建て替え案で言う方が時間的な速さは早いと思えます。①の建築設計費用は仕方がないにしても②の話し合い、設計が終わる時間が新築の小改定より早く終わらなくてはただ単にこの問題の時間が引き延ばされるだけの問題になります。</p> <p>建て替え案は議会では小規模な訂正にとどめ設計図を書き直すという事も市長は言っていましたね？問題はそれが終わる期間です。あと追加予算。</p> <p>もし、奇跡的に野党が一致団結して鎌ヶ谷市役所のような必要箇所だけ新築案としてすぐにまとまり、市民説明など済ませ、設計までの時間が新築の小規模改修案より短い時間もしくは同時間で済むなら提案する価値はあるでしょう。しかしこの時点で野党内でも大規模改修案と鎌ヶ谷市役所案とでわかれているのが現状です。</p> <p>まずは野党間の合意形成ができるのか？国会を見ているとその時間だけで大幅な時間を使ったあげくまとまらないパターンが多く、市政でも同じく難しいのかもしれない。</p> <p>また逆に建て替えの小規模な訂正は時間と予算をなるべくかけずにやる事が必須条件です。最初の設計費と同じ時間同じ予算使うなら鎌ヶ谷市役所案を考える時間とお金があるという事になりますので他の案を考えないという整合性にかかけます。</p> <p>まあ大規模改修案にしてもどの案にしても建て替えと同じくやはりおかしな設計箇所が出てくるでしょうから小規模な訂正は同じように時間をかける可能性は高いでしょう。大規模改修案の弱点はどこかに一旦人をうつす箱物が必要という事です。それを借りるか？建てるか？しないといけないという点です。</p> <p>新築+1部改修案だと新築した所にある程度は移動できる点がいいのかもしれない。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
236	その他	<p>この市庁舎問題の一番の問題は市庁舎で働く人の命とそこを訪れる市民の命がかかっているという事。大規模改修でも耐震化はできましたがまあ、いずれにしろ第一は命であるという事には変わらず、それを考えたら今後どの手法が最も早く実行されるのか?が第一条件になってくると思います。しかし財政の厳しい中やれるかどうか?その後の財政に大打撃をくらわすのなら方向転換もやむなしとも思いましたが、財政課に聞く①八千代市の債務は500億円台から400億円台へ削減へ向かっていること、②経常収支比率は確かに悪いが重要なのは財政健全指数(将来負担率等)の方だとのこと。その数値ではなんとか大丈夫との回答もあり(財政課全体の意見かどうかはわかりませんが)その言葉が本当なら最短時間で実行できる現在の建て替え案が最も市民の命を考えベターな策と判断いたしました。</p> <p>大規模改修も一から話し合い→市民への説明→建設設計→建設という手順とお金をかける訳であり削減額は大きいですが市民の命を天秤にかけると時間がかかりすぎだと思えます。人の命に値段はつけられないということです。</p> <p>また大規模改修案で緊急防災災害地震復活の話が出てきますがこれは令和3年までかろうじて延長され、いつなくなるかわからないものなのでそれを考慮に入れて考えるのは計画上危険かと思えます。延長期間に建設設計までいけばいいですが行かない場合、時間がただ延ばされ、かつ設計費もかかるという弱点があります。削減額以上の痛手になりかねません。</p> <p>今回の件はコロナ対策の考え方に似ているなど私は思います。命を重視するなら経済活動はとめる!!でも経済でも人は死ぬから経済活動は止められない。経済と命の両立だ!!と言ったところ、現在は最悪な時期と重なり感染者は増えると言った最悪な結果となっています。人の命を考える時にある程度の出費は目をつぶるべし!!的な考えでこの度、国は第三次補正予算は組まれたかと思えます。命より経済だ!!(この場合借金削減)と言ってあくまで大規模改修や鎌谷市役所案を進めるのなら方が一関東大震災がきて多くの市民や市役所員がなくなった時、誰がどう責任を取るのか?その補償や損害賠償支払い方法や責任の明示をして言うべきかと思えます。やみくもにお金がかかるから、財政難だからと言って、また一から考え直し、設計しなおし、振り出しに戻るのならそこまで考えてから言うのが大人の責任かと思えます。あの時もう少し早く建替えていたら命が助かったと言われるくらい時間がかかるならそれはかなりのデメリットです。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	
237	その他	<p>プレーキの利かないGotoキャンペーンという車を走らせ、アクセルしか踏み事しか考えず、その結果、感染者が拡大し、その運用方法の見直しが迫られている政府と言っていることは同じように思えますが?皮肉にもこの市庁舎の件は与野党逆転していますが、いざという時の補償や罰則(この場合責任の明示)を考えずに時間のかかる他の案を推すことは停まるルールのないGotoキャンペーンをやるのと大差ないと思えます。</p> <p>大規模改修もしくは半分建替え、半分改修案にする場合、最悪の事態をきちんと考えて提案すべきでしょう。</p> <p>また熊谷千葉市長は自身の著書でこういっています。物事は論じる時期が決まっております。それを過ぎてから設計やなんやらが決まってから物事をひっくり返すのはやみくもにお金がかかり、時間をかけることになると、つまり議論してある程度決定してしまった事をひっくり返すには結果多大な赤字を生み出し、それは市民への迷惑になると。市財政にとっても損になると。なので熊谷氏は千葉駅南口の開発はすでに一部着工し始めていたので止めなかったとしています。そこまでいってしまった案件をひっくり返すほうが全体としては余計に赤字になると。つまり議論できているうちに物事は決めるべきであり、その期間を逃した案件はもう潔く認めるしかないと言っています。ちなみに議論に間に合ったモノレール延長の話などは否決したのは有名な話です。</p> <p>市庁舎建替えも同じかと思えます。すでに1億数千万もの建設設計費用がかかっています。ここから白紙に戻すことがどれだけ膨大な赤字になるのか?という話です。そういう一般的な話も踏まえたうえでこの市庁舎建替えの話は判断すべきでしょう。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	
238	その他	<p>就職氷河期世代から見たらその福祉とやらが自分らに回ってくるのか?と考えたら今回のパブコメ全体を見ればまずほとんど回ってこないだろうと容易に想像できます。事実このパブコメでは就職難対策やおひとり様対策、婚活などの項目自体がほとんどなく、たった17%の就職率のハローワークに丸投げ案が第4次総合計画から継続して進化することなく放置されており、その様を見ると、削減分の福祉とやらは自分らには関係ない話だろう～となり、とてもじゃないけど大規模改修案などの大転換には賛成しかねます。</p> <p>また大衆迎合的な正義に何も知らずに乗っかって自分らには何の得はないとわかっているからです。</p> <p>今回のパブコメで野良猫の対応みたいな項目が追加されましたが、それも大事ではありますが、それを第5次総合計画に載せる程か?疑問ではありますし、就職氷河期世代の就職対策はここ10年以上なんも変わらず放置され、野良猫退治はいよいよ最上位の計画にまで載ってくる始末。就職氷河期世代や失業者対策は野良猫退治以下なのですか?このコロナ禍での失業者よりも就職氷河期世代の失業者よりも野良猫退治の方が上ですか?何を基準としてこの計画を考えているのでしょうか?働く人が税金を納めそういう人を増やすからこそはじめて色々な福祉などができるわけで、猫より下なのか?と今回のパブコメをみて悲しく思います。野良猫の対応を載せるなどでは言いませんが失業して人間の対応もそれ以上に多く進化させて沢山載せてください。</p>	<p>現在、青少年の雇用の促進等に関する法律に基づき、厚生労働省所管の地域若者サポートステーション事業を、県と市の協働で実施しています。就職氷河期世代(2020年現在で概ね35歳から49歳)の無業者を含む若年無業者を支援することは自立の可能性を広げるだけでなく、将来生活保護等に陥るリスクを未然に防止し、地域社会の支え手とするとともに、我が国の産業の担い手を育てることにもつながりますので、取組を継続してまいります。</p>	
239	その他	<p>大規模改修案になっても積立金はそのままにすべき。積立金の取り崩しはなしで。大規模改修でも5～60億円はするのだからいずれにしろ積み立ては必要。計画的につみたてていかなければいつになっても福祉だなんだと取られ新築どころか大規模改修すらできません。八千代市はもう少し計画立てて物事を決めた方がいいです。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
240	その他	<p>旧八千代台東第二小跡地の活用についてですがこの活用を決めるにあたって予算を決めずにワークショップを開いてきてはだめかと思えます。予算の上限を設けてワークショップは開くべきです。</p> <p>朝倉市では市民にあらかじめ予算とテーマを出して書類審査に通ったものを採用する方式があり、書類審査では実際に条例や法にひっかからないか？市民が役所に入念に聞いて調べて提出するのでほとんどが現実的な案の為、書類審査は通るそうです。現実可能か？それは法的にも、予算的にも、周辺の理解があるか？等やっている地域はあるのですから八千代市でも取り入れてみたらどうでしょうか？</p> <p>旧八千代台東第二小跡地ワークショップは予算の上限や財源を確保せずに希望だけ聞く形なので今どうしよう？となっているのでは？この失敗を糧に今後は他の地区では朝倉市方式の導入を希望します。</p> <p>またこの場合はウォーキングには最適なのでライトアップさえあれば会社帰りの人らが利用しやすくなると思います。一部の団体が年単位で貸切るやり方ではスポーツの振興は永久になされないでしょう。ウォーキングは老若男女問わずおひとり様でも気軽にできます。八千代台地区はどこも安心して散歩できる道が少ないです。なのでここを使えたら大きいかと思えますよ。</p>	<p>いただいたご意見は、今後、事業に取り組む上での参考とさせていただきます。</p> <p>また、旧八千代台東第二小学校跡地活用に係るご意見につきましても、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	
241	その他	<p>小中一貫校は本当に必要か？結論から言うところこの計画が残念ながら始まっているのでやる方向でいくのが今までかかってきた他校の人件費、維持管理費等を考えるとベターな案になります。</p> <p>少し結論を出すのが遅すぎた事、それにより3校分の経費圧縮が遅れ、数年分として見ると結構な額がこの過疎化が進む地区に投入し続けられ、他の八千代台地区などからみたら何故？こんなに無駄な経費がかかり続けこの地区だけある意味優遇して予算がついているのか？という不公平論に発展します。</p> <p>また数年の間、余る小学校の利用方法を各市議は提案してきたにも関わらずこの地区の人達は考えようとしなかった事も市税が本当に平等に各地域に投入されているのか？財政健全化は考えられているのか？と思われても仕方がない所まで考えさせてしまった事。</p> <p>また、3小学校+阿蘇中の人数でも八千代台小の人数に数十名足した程度との話。その人数では文科省の基準内かと思えますし、かわいそうという話にはなりません。その人数でやっている八千代台小学校はかわいそうではないのか？という話になりますよね？阿蘇地区ではのびのび有り余る場所で少数の小学生が学び、片やその三倍の人数で学ぶ。。そこに公平性があるのでしょうか？</p> <p>以上の理由が小中一貫やむなしという結果となりました。今後は米本南小学校は余るのは確定なのでまずは米本南小の使い方を考えるべきでしょう。</p> <p>しかし問題点は多く、中でも教育委員会の強引なやり方も多々見られ、この計画を進めるならそれらの行動に対してのきちんとした説明かできなきゃ深く謝罪などしないことには地域でもしこりは一部の人の中には強く残り続けるでしょう。まあ一部の人から反感買う覚悟でしっかり説明したうえで進めるとい覚悟と我慢強い忍耐さえあればやれるでしょう。</p>	<p>いただいたご意見は、今後、小学校3校の跡地活用に関する検討を進めていく際の参考とさせていただきます。</p>	
242	その他	<p>今までの教育委員会の経緯として3校を1校にするところまではまだわかります。ただ入り方がもう決まったから説明会を開きます的な上から目線であった当時の教育委員会の態度がまず良くなかったかと思えます。そこで今みた3校を2校にしては？という答えを引き出すまで粘り強く説明会なりワークショップを開催し続ければ3校を1校案と2校案どっちがいいか？それこそ住民投票にまで持ち込めたはずですが。</p> <p>この阿蘇米本地域にどれだけの将来性を買って税金投入を許容するか？八千代市全市民が対象の住民投票で正々堂々決めれば文句はなかったのだからうなとも思いました。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	
243	その他	<p>この問題自体八千代市がどうしたいのか？阿蘇米本地域以外の八千代市住民にも聞いてみるのもいいでしょう。その地域の人は確かに残せたら全部残すという選択肢になりがちでしょう。</p> <p>しかし税金は同じです。こここの区域の人ばかりに聞いても偏る可能性もあり、今後は冷静な他地区からの意見も取り入れるべきでしょう。何よりもここまでこじれている問題は阿蘇米本地域住民で一回住民投票したら白黒はつきりすると思います。しかし八千代市には住民投票権すらありません。そういうシステムを敷いているデメリットがここに来てこの手の問題を長引かせている一因になっているかと思えます。これを機に八千代市でも住民投票ができるように制度を改めてみてはどうでしょうか？</p> <p>今の小学校はすべて耐震化してしまったのですから3校を1校にしても20年近くは他の2校は使用しないと耐震費用が無駄になります。現在出ている案は米本南小か阿蘇中に小中一貫校を建てるというものですが、他の3校はこれからどうするのでしょうか？</p> <p>それを決めないでとりえず中途半端なものを建てちゃえ～では税金の無駄遣いすぎます。考えも稚拙です。20年後に向けて小中一貫校の構想なら耐震化分は消化でき、理解はできますが、今の教育委員会のいきなりやっつけ仕事でやりましょうではちとおかしいのでは？と思われても仕方がないでしょう。</p> <p>20年あればしっかりとしたものができると思いますし今より財政を立て直す時間も、財政的に積み立てる時間もありません。物事は何事も計画的に進めるべきでしょう。</p>	<p>貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
244	その他	<p>何故統廃合するしないばかり議論するのでしょうか?統廃合したあと残る校舎の使い道をもう少しみんなで考える時間をとればよいのでは?残った校舎をどうするか?夢のある使い方を皆で考え出せば逆に統廃合の話が前向きに進むのではないのでしょうか?</p> <p>今までは反対ならまるで考えず賛成なら小中一貫校だけを考えていましたね。その中間とか多様性を認める考えはありませんし余った学校をどうするか?という現実的な議論すらないのは賛成派も反対派も現実から目を背けているかのようには思えます。余った学校の使い道こそじつは今後米本団地をどうしたいか?どの層を残すか?重要視するか?などが詰まっております。米本団地の大きな意味での行く末を考えることになるのではないのでしょうか?もし若者目線やまだまだ盛り上がり期待する人たちが多ければ米本団地やその周辺の高齢化した住宅などが所有者移転により生まれ変わる余地が出来ます。今の阿蘇米本団地は完全に高齢化しており八千代台とよく似ています。しかしそれはいずれ施設に入ったり継ぐ人がいなくなったりで空き家や建て替えになるのでは?</p> <p>八千代台ではもういちいちあるのですが、建て替えた先からどんどん新たな子育て世代が入っています。つまり高齢化率が高い地域は新しく住民が来る地域になる一歩手前の段階であり新たに生まれ変わる可能性を秘めています。八千代台駅周辺もどんどん新しいワンルームマンションなどが増え、意外ですが20代付近の若者率が上がっているとのこと。なので今後米本団地をどうしたいのか?というビジョン次第では学校を減らさなきゃよかったねというくらいある程度の子育て世代が入るかもかもしれません。まあ米本団地は古すぎて鉄筋コンクリート造にもかかわらず16号線の音がうるさいのでこのあたりをなんとかする対策次第では化けるかもかもしれませんね。</p> <p>16号線の防音壁をもう少し高くするとか団地自体を防音性に富んだマンションに建て替えるなどあるかと思えます。米本団地は16号線にダイレクトに渋滞なく出れるので千葉市や四街道市、柏市や印西市、成田市などに車通勤がしやすく、そういうメリットは大きい地域です。印西の巨大イオンモールにも10分程度でつきますし春は新川の桜がみれ、農業交流センターでのイベントも見れます。立地的には車通勤の働き手には大変いい場所です。その場所を今後みすみす過疎化して人口減少させておしまいなのではないでしょうか?確かに少子化ですがその場所の持つポテンシャルを考えて今後のこの地区の街づくりのイメージを膨らませていかかでしょうか?せつかくインフラ整備がなされているところを終わらすのはもったいないかと思えます。西八千代北西部開発のように一からインフラ整備をしてその元を取るのには相当な年月がかかります。つまり無の所から整備するよりはすでにある地域を再開発の方が断然お安く済むという話です。米本団地の人口減?でも意外と部屋は埋まっていますよ?もつとがらすきかと思いましたが、便利な3階以下の階は盛況ですし、4~5階も外国人労働者や夜勤者などが安いという理由ですんでいる人も少なくないです。車で近隣の工場などに務めているのかもしれないですね。米本団地は意外に働き手世代にとっては好立地でもあるのです。</p> <p>こういう背景を考えると余った学校の使い道に若者や労働者目線の使い方も混ぜるとこの団地の将来が少しづつ変わっていくと思いませんか?ネットカフェなんてあったらいいな〜とか独身労働者ならでは意見など活発に取り入れてみてはいいかでしょうか?学生や若者がその街を変えたいならいくらでもあります。北千住は大学ができた為大学までの道のりに若者向けのおしゃれなカフェや店が立ち並びいまではインスタ映えするとい学生以外の人も多く訪れるようになって観光化しています。米本団地もトロの中におしゃれなカフェや店、インスタ映えする店や施設を増やしてみてもどうでしょうか?仮に学校が余るならその余地はありますね。秀明八千代大学の学生が住む部屋を団地内に増やすとかやり方はいくつかあるかと思いますが。。その街を復活させるか落ちぶれさせるかはやり方次第かと思えます。</p> <p>今の現行のままだと団地は16号線の車の音がうるさく、自衛隊の飛行訓練の音もうるさく日中家にいる人はあまりいい物件ではなく、一時期の仮住まい的な場所ならありかと思えます。部皆建てエレベーターなしでも学生の借り上げ寮なら部皆も多少の苦でなんとか借りてはいるかもしれませんね。日中の音がうるさくても働き世代なら日中いない人なら問題ありません。(夜勤は別ですが)何が何でも子育ての街や地域にとらわれないのならここは学生とおひとり様働き手の街に変貌させてもいいのかもしれないですね。</p>	<p>いただいたご意見は、米本団地の活性化を推進していく上での参考とさせていただきます。</p>	
245	その他	<p>小中一貫校政策は子育てでも街を標榜する八千代市と真逆な結果になっていますね。子育て世代をむしろ追い出している結果になっているとか。いないとか。</p> <p>この統廃合計画のおかげで子育て世代が近くに小学校がないなら出ていこうって出て行っているという事例も議会で明らかになりました。これが本当なら何のための統廃合なのか?その地域をより過疎化させ高齢化させるのがこの統廃合なのではないか?ということになりますが、しかし一方で小さなお子さんを持つ家庭は世帯収入が伸びる時期でもあるので世帯収入が伸びた時点で家の購入やもっと家賃の高いマンションへの引っ越しなども元々あるのかもしれないですね。そのあたりの情報を10年くらいさかのぼって調べ冷静に分析する必要はあるでしょう。例年より統廃合の話が出た時期での子育て世代引越し率が異常に高ければやはりそれが子育て人口を減らす要因とせざるを得ないでしょう。今後の冷静な分析が必要です。</p>	<p>子どもたちのよりよい教育環境を整える観点から総合的に判断し、現阿蘇中学校での義務教育学校設置を決定いたしました。</p>	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
246	その他	箱物には抵抗はあるがまだ使える施設を夢のある形で丁寧に使っていく事は誰もが前向きになれる話題なのではないのでしょうか？ 過去議会ではその使いみちを決めては？とか地域のコミュニティーセンターにしては？などのアイデアをだしましたね？そういうのを地域や八千代市全区域の外からの目で考えていく事も同時にみてはどうでしょうか？ワークショップを開くなどして。。。子育てとお年寄りばかりの目線の使い方だと若者は確実に出ていきます。もっと躍動感ある若者もわくわくするような使い方の提案を希望します。 ポルダリングの壁をつけるとかスケートボードの練習場を作るとか若者が飛んだり跳ねたり遊べる使い方の提案それがないと米本団地やこの地区は衰退するでしょう。	いただいたご意見は、米本団地の活性化を推進していく上での参考とさせていただきます。	
247	その他	阿蘇米本地区を将来的にどうしたいのか？団地の老朽化で立て直すのか？それとも統廃合して人口自体を少なくするのか？それにより今後の子供の数も違ってきます。少子化が更に進めば20年後小学校の統廃合どころか、阿蘇中を隣の地区と統廃合なんて話になっている可能性も否定はできません。そうなる中小一貫校は真の遺産みたくなります。20年後30年後を見据えた街づくりと人口推計に基づいて統廃合は考えるべきでしょう。 50年100年先を見据えた街づくりを本来はすべきでしょう。人口ビジョンでは50年先くらいまで出ているのですから。	いただいたご意見は、米本団地の活性化を推進していく上での参考とさせていただきます。	
248	その他	1～2年は今後の統廃合で余る学校についての市全体でのリモートワークショップを開くとかバブコをとるとか、地域住民だけでなく八千代市民全体で考える期間としてはどうでしょうか？ 米本団地の20年後をデザインしてみませんか？という地域おこしではないですが米本団地の立地場所は再生のポテンシャルはあるかと思ます。	いただいたご意見は、米本団地の活性化を推進していく上での参考とさせていただきます。	
249	その他	文科省の基準では3校を1校まではわかります。小中一貫校は果たして本当に必要か？という点もあります。少なくともPTAでの総会を開き正々堂々多数決をPTAに参加している保護者全員でやればいいのではないのでしょうか？最低でもそのくらいのことはずすべきです。来れない人は委任状を出すなどして。 それともその総会で多数決をしたら否決される可能性があるから総会すら開かないのでしょうか？それなら今回の件は論外です。 県内4校目だからやるのでしょうか？目新しさに目を奪われ場当たり的に予算を投じて失敗を続けた過去の大阪市や大阪府の箱物によく似ています。本当に小中一貫校はそんなに地域をよくするものなのでしょうか？そういう意図で作った学校の地区の人口は増えていますか？福島県の小中一貫校の例は元々中学校の統廃合から話が始まり小学校6校の統廃合それでもあまるので最終手段として小中一貫校とした例もあり、必ずしもこれをつくったらバラ色という例だけではありません。やむにやまねずそうなったパターンもあり、阿蘇中学校が30年後中学の統廃合の可能性もあるわけです。しかもその福島の例では余った学校は無償で民間に貸すという儲けどころか赤字垂れ流しで使わせている可能性があるらしく、余った学校の使い道をろくに考えなかった最悪の末路と言わざるを得ません。走りながら考えるのは構いませんが、市行政は計画行政であり行き当たりばったりで場当たり的な事はできません。この福島県の例のようにノープランだからもうどこでもいいから使ってくれ～という状態を八千代市でも生みかねません。 人口ビジョンでは20年後はお年寄りが1万5千人増えると出ています。今より公民館などの施設の予約がでにくくなる時代です。統廃合で余った学校はまず少年自然の家を使っていた団体が優先的に使える教室を確保し、阿蘇米本地区以外の人でも公民館などの利用予約がとれない人が使えるような公民館のような使い方をするなどして、耐震補強の年数分は使い切る事をお勧めします。また方が一米本団地などが再開され人口が増え、子供の数が増えた時の事を考え、学校という形状を残したままの使用法を考えておけば、いざとなったらまた再度学校として使えます。分離型小中一貫校としてね。 もったいない精神で色々な使い方を時代に即して使うやり方です。学校を一度つぶし、再び作るとなると相当なお金がかかりますので、廃校=売っばらうという考えはやめた方がいいかと思ます。子供が増えてもお年寄りが増えても施設はいりますので。長寿命化で使い切るのがベストかと思ます。	阿蘇・米本地域4校PTA連絡協議会から、現在の阿蘇中学校の位置での小中一貫校の設立を求める市長宛要望書、教育委員会及び市議会への請願が提出され、採択されており。今後も設立準備委員会で保護者・地域の皆様の御意見を丁寧にお伺いしながら、市の事業として進めてまいります。 また、子どもたちのよりよい教育環境を整える観点から総合的に判断し、現阿蘇中学校での義務教育学校設置を決定いたしました。 なお、跡地活用につきましては、関係部局と連携しながら、設立準備委員会の保護者地域連携部会の中で、協議を進めてまいります。	
250	その他	八千代市はもし、就職氷河期世代対策として公務員公募をするなら普通の一般職(総合職)がいいでしょう。	現時点では、就職氷河期世代対策としての職員採用は考えておりませんが、貴重なご意見として参考とさせていただきます。	
251	その他	八千代市には福祉センター内と市役所内に就労自立促進事業をやっている課があります。福祉センターの地域振興課地域づくり係に社会福祉法人「くらしサポートチーム ふらっと」という委託団体がいますが、そこが就労自立促進事業を担当しています。就労自立促進事業の問題点をあげます。 ①ハローワークだけが支援ではない!! ②こうした就職支援相談にのる相談員はちゃんと自らも転職活動で苦労した人を選ぶべき!! ③この課では就職氷河期世代になっておらず、この世代は社会のセーフティーネットをすり抜け落ちている!! ④この手の課が市内に何故か2か所もあるのはおかしいのでは?1か所にまとめてもっと周知をしては? ⑤生活保護になるまでが激しい。	生活保護受給者等就労自立促進事業は、自治体とハローワークが連携して就労支援を行う事業です。 市(生活支援課・福祉総合相談室・子ども福祉課)や八千代市社会福祉協議会(くらしサポートチームふらっと)の支援員が支援を必要とされる方の希望を聞き取り、ご本人が希望すればこの事業に繋いでいます。	
252	その他	高野川の改修は、23億かかるので毎年いくらかずつの積立を行うように計画的に考えるべき。ここを整備すれば今整備中の296号バイパスが完成する。佐倉市にも係わる事業であるため、工事費の一部を出してもらうなどはできないのか。	高野川と296号バイパスは関連性が高く、高野川の整備は重要な課題となっていることから、様々な手法を検討し、事業費の削減に努めてまいります。 なお、高野川の溢水対策の一つとして、佐倉市においても八千代市と同様、宅地開発等をする場合には、雨水の貯留施設を設けて雨水流出抑制を行っております。	

No	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
253	その他	八千代中央図書館にたまに行きますが、新聞を読むコーナーの机で堂々と勉強をし、本来の使い方をする大人が新聞を読もうとするとあっちいけ!!という態度をする小学生がいることが多くあります。席が空いていたらまだいい方で実際は子供らで占拠されていることが多いです。図書館はいつから子供だけの場所になったのでしょうか?ルールすら守れないなら使う権利はありませんし何故図書館の職員は注意しないのか?よくわかりません。他市の図書館はちゃんと職員が注意してますよ?これは何年も前から言っていますが未だに改善されません。一体どうなっているのですか?	いただいたご意見は、図書館の運営あたりの参考とさせていただきます。	
254	その他	市民意識調査では自分より1歳下の膝も悪くない老人がタクシー券をもらえ、膝の悪い自分がもらえないのはおかしくないでしょうか?というアンケートがありました。介護や福祉の判断基準はいついどうなっているのでしょうか?何をもって判断しているか?もう少し透明性のある判断方法を考えるべきかと思えます。予算も多く、かかわる職員も多いので細かいところまでチェックが足りず、時には不正も起こるのではないのでしょうか?オンブズマンが八千代市にも必要かと思えます。	法令・要綱などに基づいた事業執行をしております。また、議会や監査においても、予算の執行を含む業務執行の適正性について、審査が行われております。今後も、適正な業務執行が行われるよう努めてまいります。	
255	その他	前々から里山保全の象徴としてどこか1カ所でもモデルケースを策定しないかと提案してきましたが、全く動きがありません。第5次計画でも、第4次と変わらないのは残念です。市役所にはそれぞれのエキスパートがいるはずなのですが、全く機能していないのではないですか。	里山保全につきましては、現在策定中の「八千代市第3次環境保全計画」で取り組んでまいります。	
256	その他	審議会等一覧 区分2「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇談会」 区分3「八千代市まち・ひと・しごと創生懇談会」 が掲載されております。どちらも原則公開とされております。しかしながら会議が公開されているのは後者の区分3のみです。前者の会議の実態はどのようになっているのでしょうか。	区分2「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇談会」については、第1期総合戦略を策定するために設置された会議体であり、今後開催する予定はありません。	
257	その他	総合戦略に登場する人口ビジョンは令和2年3月に改訂されました。前回平成28年3月作成の人口ビジョンはパブコメが実施されていました。しかし今回改訂の人口ビジョンではパブコメが実施されていません。なぜでしょうか。	令和2年3月に改正した人口ビジョンは、平成28年3月作成の人口ビジョンと推計方法を変えておらず、時点を修正したものであることから、パブリックコメントの対象にはならないと判断したためです。	
258	その他	人口ビジョンは住民基本台帳をベースにした推計値です。それでは実際に居住している人口(定住人口)によるピークはいつ頃と推計しているのかご説明ください。八千代市は両者の差異が大きい自治体であると認識しています。かつ世代間によるバラツキも存在しています。現状を客観的に正しく捉えることが肝要と考えます。	国勢調査に基づく人口については、市で推計しておりませんが、国立社会保障・人口問題研究所で実施している推計など、人口動態について注視し、行政運営にあたってまいります。	
259	その他	基本構想には「市民にわかりやすいまちづくりの推進」とあります。その中で「市民が主体であるという意識を高め」とありますが、市の第5次基本構想・総合計画の策定においては非常に限られた人数との意見交換または一方通行の声であったように感じます(ワークショップ、ワールドカフェは少人数ですし、市民アンケートは一方通行です)。本パブコメ後に総合計画確定前に、説明会等の市民との意見交換を行う場を強く要望します。コロナ禍のためリアルも含めオンライン開催も要望します。	今般のパブリックコメントで寄せられたご意見を踏まえて素案に修正を加え、計画を策定してまいりたいと考えております。また、コロナ禍における市民参画の手法について、今後検討してまいります。	